



# 取扱説明書

## ビジネスプロジェクター

EB-L615U

EB-L610U

EB-L510U

EB-L610W

EB-L400U

<b>マニュアル中の表示の意味</b> .....	<b>7</b>	USB機器を接続する .....	27
<b>プロジェクターを使用する前に</b> .....	<b>8</b>	USB機器を取り外す .....	27
<b>本機の特長</b> .....	<b>9</b>	書画カメラを接続する .....	28
長寿命のレーザー光源 .....	9	HDBaseTトランスミッターの接続 .....	28
かんたん投写 .....	9	外部出力機器を接続する .....	29
らくらく無線投写 .....	9	VGAモニターを接続する .....	29
展示スペースで投写 .....	10	外部スピーカーを接続する .....	30
<b>プロジェクターの各部名称と働き</b> .....	<b>11</b>	<b>ケーブルカバーを取り付ける</b> .....	<b>31</b>
プロジェクターの各部名称 - 前面/上面 .....	11	<b>リモコンに電池を取り付ける</b> .....	<b>32</b>
プロジェクターの各部名称 - 背面 .....	12	リモコンを操作する .....	33
プロジェクターの各部名称 - 底面 .....	13	<b>プロジェクターの基本機能を使用する</b> .....	<b>34</b>
プロジェクターの各部名称 - インターフェイス .....	13	プロジェクターの電源を入れる .....	35
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル .....	14	ホーム画面 .....	36
プロジェクターの各部名称 - リモコン .....	16	プロジェクターの電源を切る .....	38
<b>プロジェクターを準備する</b> .....	<b>18</b>	日時を設定する .....	39
<b>プロジェクターの設置</b> .....	<b>19</b>	メニューの言語を選択する .....	41
プロジェクターの設置・取り付け .....	20	設置モードを選択する .....	42
設置時のご注意 .....	20	メニューから設置モードを変更する .....	42
投写距離 .....	22	スクリーンタイプを設定する .....	43
<b>プロジェクターを接続する</b> .....	<b>23</b>	映像の位置を調整する (スクリーン位置) .....	43
コンピューターを接続する .....	23	<b>映像の位置を調整する (レンズシフト)</b> .....	<b>45</b>
コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する .....	23	<b>テストパターンを表示する</b> .....	<b>47</b>
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する .....	24	テストパターンで調整できる項目 .....	47
ビデオ機器を接続する .....	24	<b>映像の高さを調整する</b> .....	<b>49</b>
HDMIケーブルで接続する .....	25	<b>映像の形状を補正する</b> .....	<b>50</b>
コンポーネントビデオケーブルで接続する .....	25	タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する .....	50
USB機器を接続する .....	26	Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する .....	52
USB機器のデータを投写する .....	27	湾曲補正で映像のゆがみを補正する .....	53

ズームリングで映像の大きさを調整する .....	55	プレイリストを再生する .....	82
フォーカスリングで映像のピントを調整する .....	56	映像に効果を加える（エフェクト機能） .....	83
投写映像を切り替える .....	57	コンテンツ再生モードの制限事項 .....	84
映像のアスペクト比を設定する .....	59	<b>映像と音声を一時的に遮断する .....</b>	<b>85</b>
映像のアスペクト比を切り替える .....	59	<b>映像を一時的に停止する .....</b>	<b>86</b>
アスペクトモードの種類 .....	59	<b>画面の一部を拡大表示する .....</b>	<b>87</b>
各アスペクトモードの投写イメージ .....	60	<b>リモコンでポインターを表示する .....</b>	<b>88</b>
<b>カラーモードを設定する .....</b>	<b>63</b>	<b>ユーザーロゴを設定する .....</b>	<b>89</b>
カラーモードを変更する .....	63	<b>プロジェクターの設定をメモリーに保存する .....</b>	<b>91</b>
カラーモードの種類 .....	63	<b>複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクシ ョン機能） .....</b>	<b>92</b>
映像の光量を調整する .....	64	プロジェクターのID設定 .....	92
<b>映像の色合いを調整する .....</b>	<b>65</b>	プロジェクターにIDを設定する .....	92
色相、彩度、明度を調整する .....	65	操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する .....	93
ガンマを調整する .....	65	カラーマッチングを調整する .....	94
<b>明るさを設定する .....</b>	<b>68</b>	ユニフォーミティーを調整する .....	95
光源寿命 .....	69	RGBCMYを調整する .....	97
<b>音量ボタンで音量を調整する .....</b>	<b>71</b>	映像を切り出して表示する .....	98
<b>プロジェクターの便利な機能 .....</b>	<b>72</b>	<b>セキュリティー機能 .....</b>	<b>100</b>
<b>2つの映像を同時に投写する .....</b>	<b>73</b>	パスワードプロテクトの種類 .....	100
2画面投写できない入力ソースの組み合わせ .....	75	パスワードを設定する .....	100
2画面投写中の制限事項 .....	75	パスワードプロテクトの種類を設定する .....	102
<b>PC Free機能で投写する .....</b>	<b>76</b>	パスワードを入力する .....	102
サポートファイル形式 .....	76	操作パネルのボタン操作を制限する .....	103
PC Free使用時の注意事項 .....	77	操作ボタンロックを解除する .....	104
PC Freeのスライドショーを開始する .....	77	リモコンのボタン操作を制限する .....	104
PC Freeで動画を投写する .....	79	セキュリティーケーブルを取り付ける .....	105
PC Freeの表示オプション .....	80	<b>ネットワーク上のプロジェクターを使用する .....</b>	<b>106</b>
<b>コンテンツ再生モードで投写する .....</b>	<b>81</b>	<b>有線LANでの映像投写 .....</b>	<b>107</b>
コンテンツ再生モードに切り替える .....	81		

有線LANに接続する .....	107	異常通知メールの見方 .....	139
有線LANを設定する .....	107	<b>SNMPを使ってプロジェクターを監視する .....</b>	<b>141</b>
<b>無線LANでの映像投写 .....</b>	<b>110</b>	<b>ESC/VP21コマンドを使用する .....</b>	<b>142</b>
無線LANユニットを取り付ける .....	110	ESC/VP21コマンドリスト .....	142
プロジェクターの無線LANを設定する.....	111	ケーブル配線.....	143
Windowsで無線LANを設定する.....	114	<b>PJLinkについて.....</b>	<b>144</b>
Macで無線LANを設定する .....	114	<b>Crestron Connectedについて.....</b>	<b>145</b>
無線LANのセキュリティを設定する.....	114	Crestron Connectedを設定する .....	145
サポートするクライアント・CA証明書の一覧.....	117	Crestron Connectedを使ってネットワークプロジェクターを制御する.....	146
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する .....	117	Crestron Connected操作画面.....	147
USBキーを使って接続する（Windowsのみ） .....	118	Crestron Connected Tools画面 .....	148
<b>モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring） .....</b>	<b>120</b>	<b>プロジェクターのイベントスケジュールを設定する.....</b>	<b>150</b>
Screen Mirroringを設定する.....	120	<b>メニューの設定 .....</b>	<b>153</b>
Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する .....	122	プロジェクターメニューを操作する.....	154
Windows 10でScreen Mirroring接続する .....	122	ソフトキーボードを操作する .....	155
Windows 8.1でScreen Mirroring接続する.....	123	ソフトキーボードで入力可能な文字 .....	155
<b>セキュアHTTP.....</b>	<b>125</b>	画質メニュー .....	156
メニューからWebサーバー証明書を設定する .....	125	映像メニュー .....	158
サポートするWebサーバー証明書の一覧 .....	126	設定メニュー .....	160
<b>プロジェクターを監視および制御する .....</b>	<b>127</b>	拡張設定メニュー .....	163
<b>Epson Projector Management .....</b>	<b>128</b>	ネットワークメニュー .....	168
<b>Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する .....</b>	<b>129</b>	ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定.....	169
Web Controlのオプション設定 .....	130	ネットワークメニュー - 基本設定メニュー .....	170
<b>Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する（コンテンツ再生モード） .....</b>	<b>133</b>	ネットワークメニュー - 無線LANメニュー .....	172
Web Controlのオプション設定（コンテンツ再生モード） .....	134	ネットワークメニュー - 有線LANメニュー .....	175
<b>Webブラウザで証明書を設定する.....</b>	<b>138</b>	ネットワークメニュー - 通知メニュー .....	176
<b>メールでプロジェクターの異常を通知する .....</b>	<b>139</b>	ネットワークメニュー - その他メニュー .....	177
		ネットワークメニュー - 初期化メニュー .....	178

情報メニュー .....	179
情報メニュー - プロジェクター情報 .....	179
Event ID一覧 .....	180
情報メニュー - 光源情報 .....	181
初期化メニュー .....	183
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能） .....	185
USBメモリーを使って一括設定する .....	185
コンピューターを使って一括設定する .....	186
一括設定でエラーが発生したときは .....	187
プロジェクターをメンテナンスする .....	189
プロジェクターのメンテナンス .....	190
レンズを清掃する .....	191
本機を清掃する .....	192
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする .....	193
エアフィルターを清掃する .....	193
エアフィルターを交換する .....	195
困ったときに .....	197
トラブルの対処方法 .....	198
インジケーターの見方 .....	199
ヘルプの見方 .....	202
映像や音声に関するトラブル .....	203
映像が表示されない .....	203
「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される .....	203
ノート型コンピューターから映像を出力する .....	204
Macのノート型コンピューターから映像を出力する .....	204

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される .....	204
映像の一部が表示されない .....	205
映像がゆがむ .....	205
映像にノイズが入る、乱れる .....	205
映像がぼやける .....	206
映像の明るさや色合いが違う .....	206
映像に残像が残る（焼き付き） .....	207
音が出ない、小さい .....	207
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない .....	208
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル .....	209
電源が入らない、予期せず切れる .....	209
リモコンで操作できない .....	209
パスワードが入力できない .....	210
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される .....	210
ネットワークに関するトラブル .....	211
無線LAN認証できない .....	211
Webブラウザを使って設定を変更できない .....	211
異常が起きたときにメール通知されない .....	211
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる .....	212
Screen Mirroringで接続できない .....	212
Screen Mirroringの映像・音声が乱れる .....	212
コンテンツ再生モードに関するトラブル .....	214

## 付録 215

オプション・消耗品一覧 .....	216
スクリーン .....	216
ケーブル .....	216
設置用金具 .....	216
無線LAN用オプション .....	216
外付けオプション .....	217
消耗品 .....	217

スクリーンサイズと投写距離 .....	218
EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W .....	218
EB-L400U .....	219
対応解像度 .....	221
本機仕様 .....	223
接続端子 .....	224
外形寸法図 .....	225
IEC60950-1 A2対応 安全規格対応シンボルマーク .....	226
レーザー製品を安全にお使いいただくために .....	228
レーザー警告ラベル .....	228
用語解説 .....	230
一般のご注意 .....	232
使用限定について .....	232
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意 .....	232
瞬低（瞬時電圧低下）基準について .....	232
JIS C 61000-3-2適合品 .....	232
表記について .....	232
商標について .....	233
ご注意 .....	233
著作権について .....	234

# マニュアル中の表示の意味

## 安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 一般情報に関する表示

 <b>注意</b>	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニュー、設定の名称を示しています。 例： [画質] メニューを選択する ☛ [画質] > [アドバンスト]
▶▶	関連事項を記載しているページを示しています。
☛	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

# プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

## ▶ 関連項目

- ・ 「本機の特長」 [p.9](#)
- ・ 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)

本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「長寿命のレーザー光源」 p.9
- ・「かんたん投写」 p.9
- ・「らくらく無線投写」 p.9
- ・「展示スペースで投写」 p.10

## 長寿命のレーザー光源

レーザーダイオードを使用しているため、メンテナンスの手間が少なく、突然の光源切れにより投写が中断されることもありません。

## かんたん投写

- ・電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- ・映像信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします（オートパワーオン）。
- ・ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。

## ▶ 関連項目

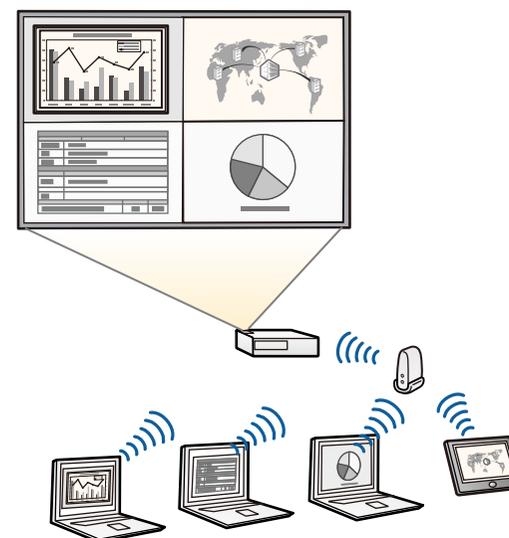
- ・「ホーム画面」 p.36
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.35

## らくらく無線投写

- ・Screen Mirroringを使うと、Miracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続します（EB-L615U/EB-L610U）。



- ・Epson iProjection (Windows/Mac) を使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューター、スマートフォン、タブレット端末の画面を投写できます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。





- 無線LAN経由で投写するときは、本機に無線LANユニットを取り付けてから無線LAN設定をしてください（EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U）。無線LANユニットが同梱されていない場合は、オプション品をお買い求めください。本機と同梱品は『かんたん操作ガイド』で確認できます。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です（EB-L615U/EB-L610U）。
- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>

- Epson iProjection (iOS/Android) を使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook)を使うと、本機とChromebookを無線で接続できます。Epson iProjectionは、Chromeウェブストアからダウンロードできます。



Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

## ▶ 関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.106](#)

## 展示スペースで投写

- シンプルでコンパクトなデザインは、美術館やショールームなどでも目立たずに使用できます。

- コンテンツ再生モードに設定すると、USBメモリーに保存されているプレイリストを再生できます。エフェクト機能で映像の色や形を変えることもできます。
- プレイリストは、Epson Projector Content Managerを使って作成できます。詳しくは、『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。



必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>



## ▶ 関連項目

- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.81](#)

本機の各部名称とその働きについて説明します。

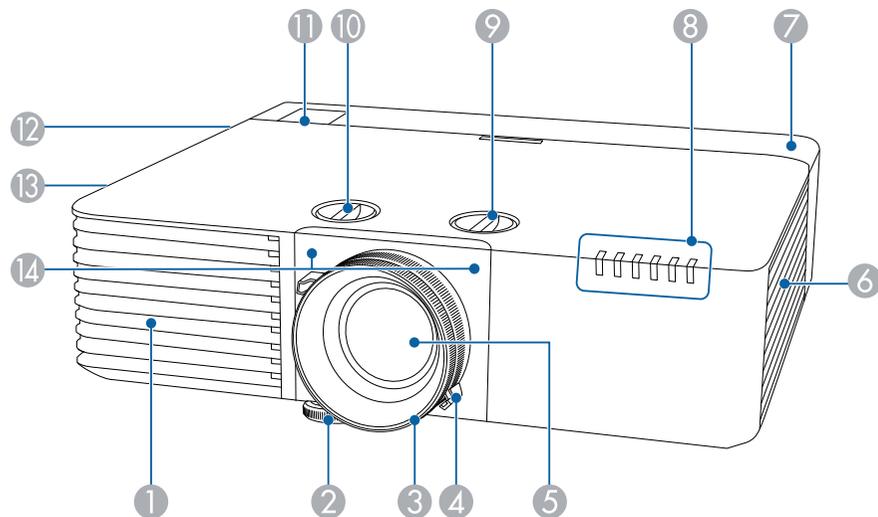
本書では断りがなくEB-L615Uのイラストを用いて説明しています。

▶ 関連項目

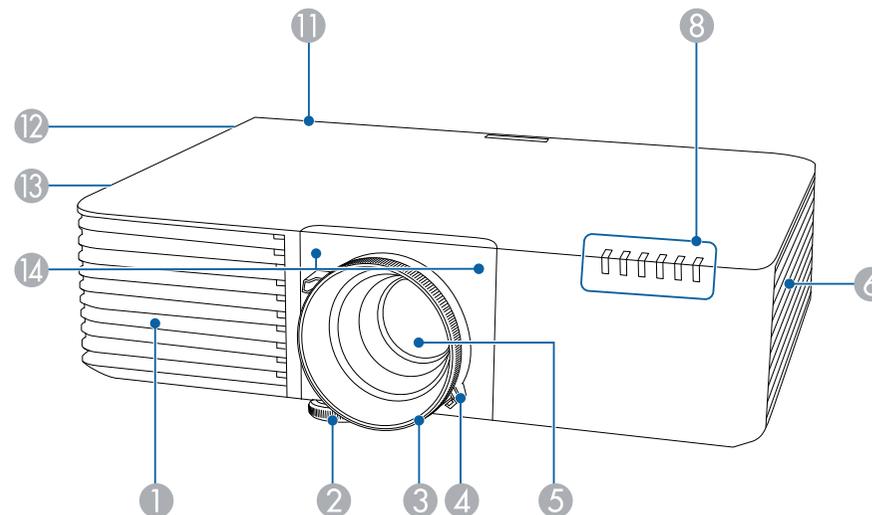
- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面/上面」 p.11
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.12
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.14
- ・「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.16

## プロジェクターの各部名称 - 前面/上面

EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W



EB-L400U



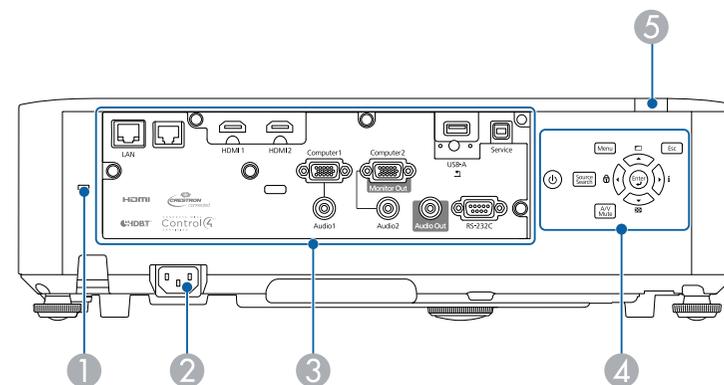
名称	働き
① 吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
② フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
③ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。
④ ズームリング	映像のサイズを調整します。
⑤ 投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑥ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑦ ケーブルカバー (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	ケーブルを接続した背面の接続端子部のカバーです。
⑧ インジケータ	本機の状態を表示します。

名称	働き
⑨ 上下レンズシフトダイヤル (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。
⑩ 左右レンズシフトダイヤル (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。
⑪ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑫ スピーカー	音声を出力します。
⑬ 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #ffffcc;"> <p><b>⚠ 注意</b></p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div>
⑭ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

## ▶ 関連項目

- ・「インジケータの見方」 p.199
- ・「リモコンを操作する」 p.33
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 p.55
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.56
- ・「映像の位置を調整する (レンズシフト)」 p.45

## プロジェクターの各部名称 - 背面

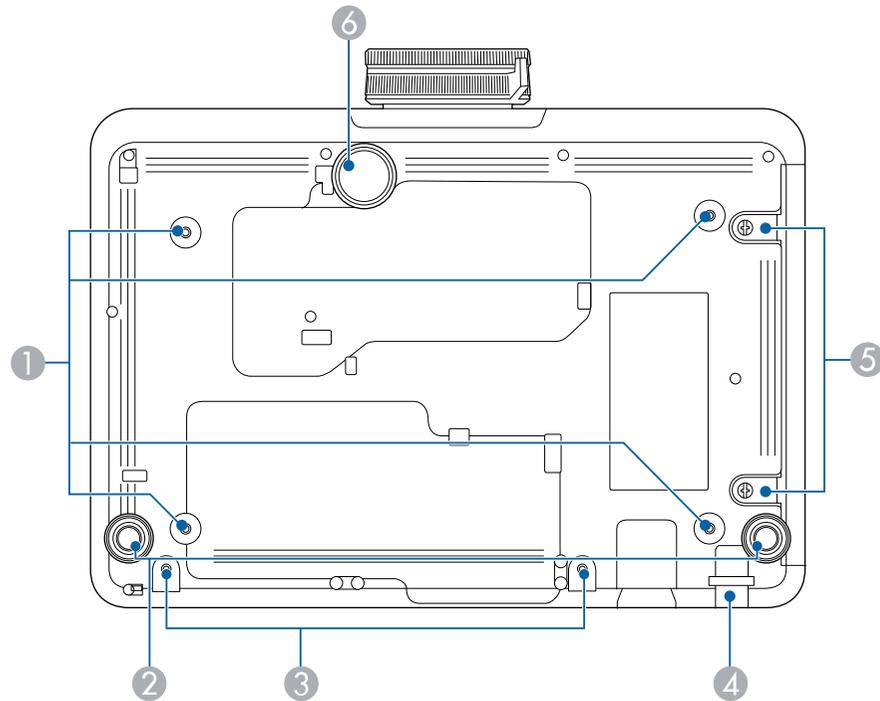


名称	働き
① セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
② 電源端子	電源コードを接続します。
③ インターフェイス	外部機器を接続します。
④ 操作パネル	本機の操作をします。
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

## ▶ 関連項目

- ・「セキュリティケーブルを取り付ける」 p.105
- ・「PC Free機能で投写する」 p.76

## プロジェクターの各部名称 - 底面



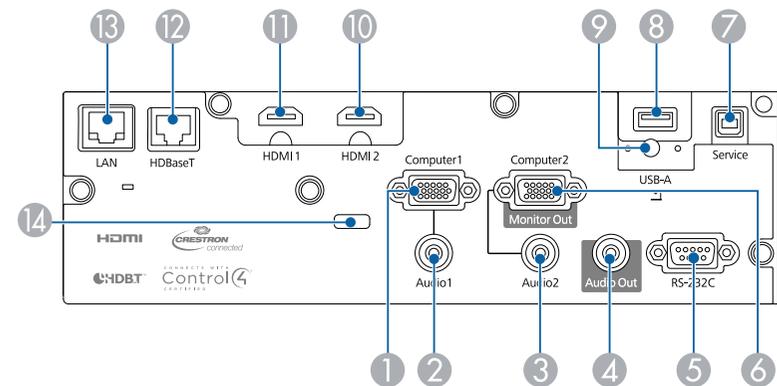
名称	働き
① 天吊り金具固定部 (4箇所)	天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具を取り付けます。
② リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
③ ネジ穴 (ケーブルカバー用) (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	ケーブルカバーを固定するためのネジ穴です。

名称	働き
④ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。
⑤ エアフィルターカバー固定ネジ	エアフィルターカバーを固定するネジです。
⑥ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

### ▶ 関連項目

- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.105

## プロジェクターの各部名称 - インターフェイス

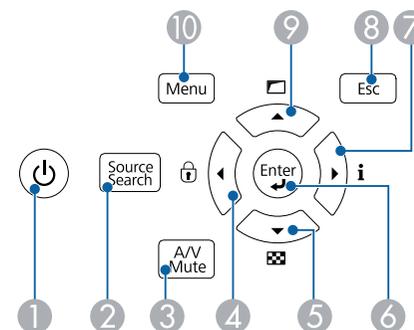


名称	働き
① Computer1端子	コンピュータ映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
② Audio 1端子	Computer1端子に接続された機器の音声を入力します。

名称	働き
③ Audio 2端子	Computer2端子に接続された機器の音声を入力します。
④ Audio Out端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
⑤ RS-232C端子	RS-232Cケーブルを接続して、コンピューターから本機を制御します。(通常はこの端子を使用する必要はありません。)
⑥ Computer2/Monitor Out端子	<p>[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[モニター出力]に設定しているときは、Computer1端子から入力しているアナログRGB信号を外部モニターに出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。</p> <p>[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定しているときは、コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。</p> <p>☛ [拡張設定] &gt; [動作設定] &gt; [モニター出力端子]</p>
⑦ Service端子	一括設定機能でメニュー設定をコピーするときに使います。
⑧ USB-A端子	USB機器を接続して映像を投写します。オプションの書画カメラを接続します。無線LANユニットを取り付けます(EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U)。
⑨ 無線LANユニット固定ネジ(EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U)	無線LANユニットカバーを固定するネジです。

名称	働き
⑩ HDMI2端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCPに対応しています。
⑪ HDMI1端子	
⑫ HDBaseT端子(EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	LANケーブルを接続して、HDBaseTトランスミッターに接続します。
⑬ LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑭ ケーブルホルダー	ケーブル類を固定するための市販の結束バンド(ケーブルタイ)を通します。

## プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



プロジェクター本体には ( ) 内の名称が印字されています。

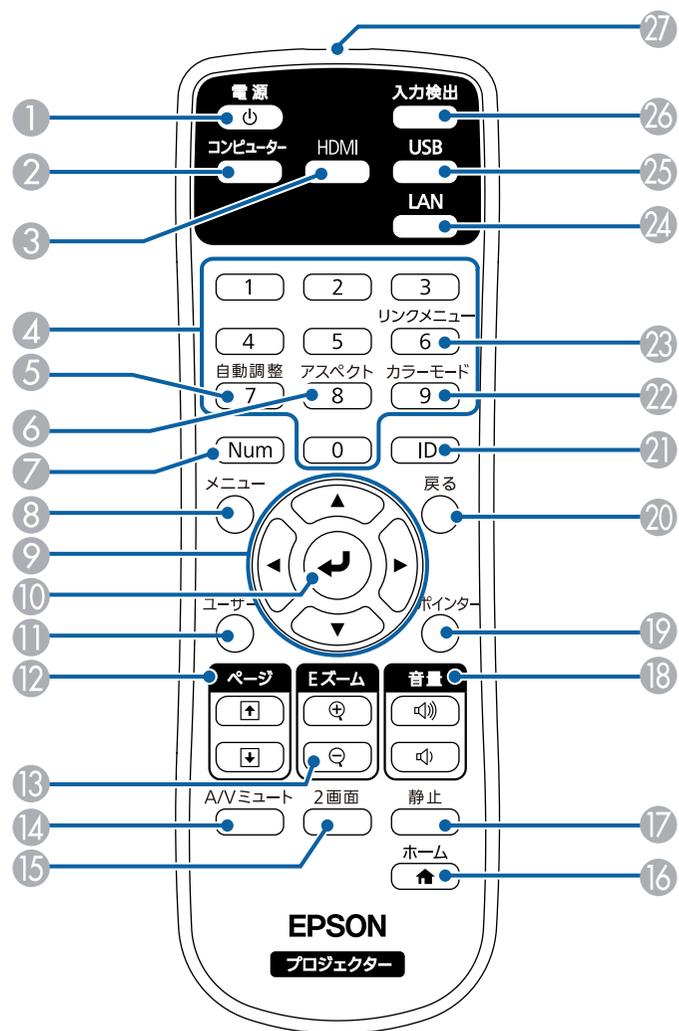
名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。
② 【入力検出】ボタン (Source Search)	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
③ 【A/Vミュート】ボタン (A/V Mute)	映像と音声を一時的に遮断します。
④ 左ボタン	プロジェクターの操作ボタンロック画面を表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑤ 下ボタン	テストパターンを表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑥ 【決定】ボタン 【↵】 (Enter)	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 Computer1端子またはComputer2端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
⑦ 右ボタン	プロジェクターの情報メニューを表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【戻る】ボタン (Esc)	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑨ 上ボタン	プロジェクターの幾何学歪み補正メニューを表示します。 メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。

名称	働き
⑩ 【メニュー】ボタン (Menu)	メニュー画面を表示/終了します。

## ▶ 関連項目

- ・「投写映像を切り替える」 [p.57](#)

## プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
② 【コンピューター】ボタン	Computer1端子とComputer2端子からの映像に切り替えます。
③ 【HDMI】ボタン	HDMI1端子とHDMI2端子からの映像に切り替えます。 HDBaseT端子からの映像に切り替えます (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)。
④ テンキーボタン	【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
⑤ 【自動調整】ボタン	Computer1端子またはComputer2端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
⑥ 【アスペクト】ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⑦ 【Num】ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑧ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑨ 上下左右ボタン	メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑩ 【決定】ボタン	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑪ 【ユーザー】ボタン	[設定]メニューの[ユーザーボタン]で設定した機能を実行します。
⑫ 【ページ】送り/戻しボタン	ネットワーク経由でプロジェクターとコンピューターを接続しているときに、コンピューター上のページを送り/戻しします。 PC Free機能を使用しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。
⑬ 【Eズーム】 +/- ボタン	投写映像の一部を拡大表示します。

名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。

名称	働き
14 【AVミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
15 【2画面】ボタン	投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
16 【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
17 【静止】ボタン	映像を一時停止します。
18 【音量】上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
19 【ポインター】ボタン	投写中の映像にポインターを表示します。
20 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
21 【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
22 【カラーモード】ボタン	カラーモードを変更します。
23 【リンクメニュー】ボタン	HDMI端子に接続された機器の設定メニューを表示します。
24 【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
25 【USB】ボタン	USB-A端子からの映像に切り替えます。
26 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
27 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

- ・「カラーモードを設定する」 [p.63](#)
- ・「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「ホーム画面」 [p.36](#)
- ・「2つの映像を同時に投写する」 [p.73](#)
- ・「リモコンでポインターを表示する」 [p.88](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.76](#)
- ・「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.106](#)

## ▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.59](#)

# プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

## ▶ 関連項目

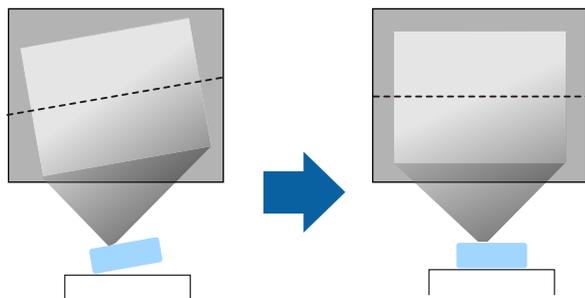
- ・ 「プロジェクターの設置」 [p.19](#)
- ・ 「プロジェクターを接続する」 [p.23](#)
- ・ 「ケーブルカバーを取り付ける」 [p.31](#)
- ・ 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.32](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

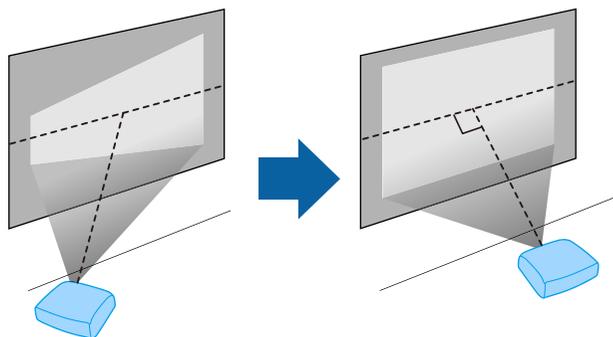
常に特定の位置に固定して使用するときは、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



## 警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。

## 注意

- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[拡張設定]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

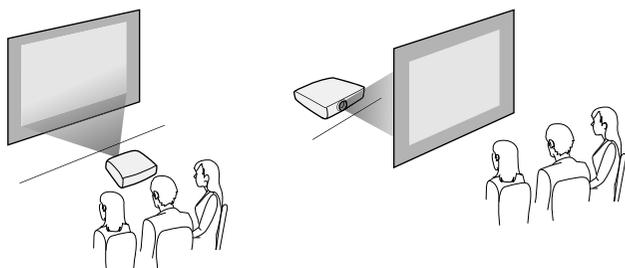
## 関連項目

- 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.20](#)
- 「投写距離」 [p.22](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.50](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.163](#)

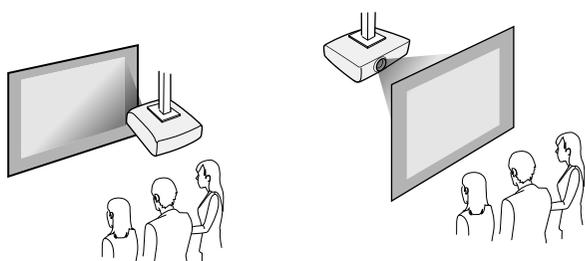
## プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



天吊り投写・リア投写するときは、[設置モード] を変更します。また、必要に応じて [方向ボタン反転] や [OSD回転] の設定を変更してください。

### ▶ 関連項目

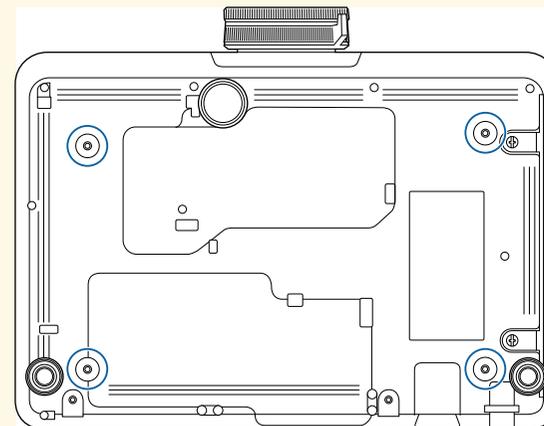
- ・「設置時のご注意」 p.20
- ・「設置モードを選択する」 p.42

## 設置時のご注意

本機は360°あらゆる角度で設置が可能です。垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。設置の際には以下の点にご注意ください。

### 注意

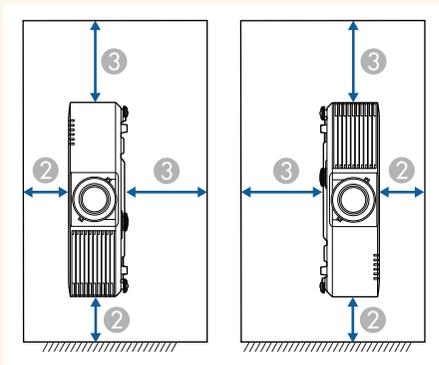
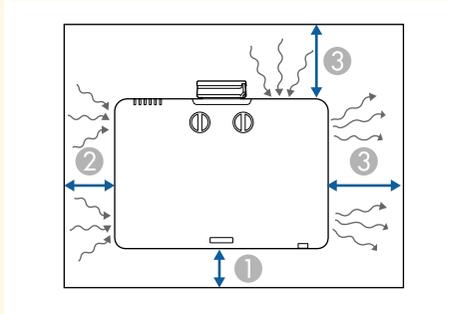
- ・ 本機を傾けて設置する場合は、専門業者にご依頼のうえ、本機に対応した専用の設置用金具をお使いください。
- ・ 正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- ・ 市販のM4ネジ（最大深さ9 mm）を使って、本機底面の天吊り金具固定部（4箇所）と設置用金具を固定してください。



## 設置スペース

### 注意

吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。

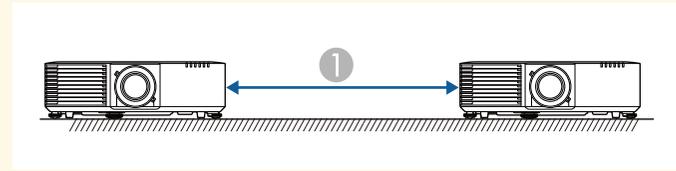


- ① 10 cm
- ② 20 cm
- ③ 40 cm

## 設置スペース（複数台並べて設置するとき）

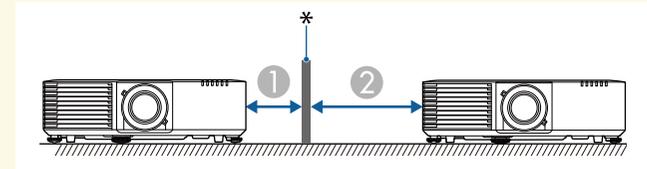
### 注意

• 本機を複数台並べて設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。



- ① 150 cm

• 仕切りを置くときは、以下のスペースを確保してください。

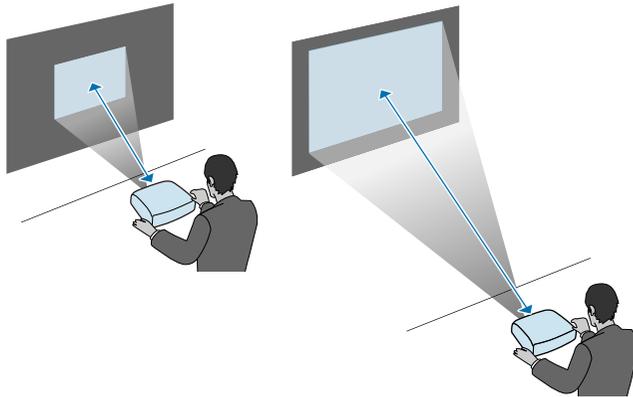


- ① 20 cm
- ② 40 cm
- \* 仕切り

## 投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

下図を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



### ▶ 関連項目

- ・「スクリーンサイズと投写距離」 [p.218](#)

プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

## 注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

## ▶ 関連項目

- ・「コンピューターを接続する」 p.23
- ・「ビデオ機器を接続する」 p.24
- ・「USB機器を接続する」 p.26
- ・「書画カメラを接続する」 p.28
- ・「HDBaseTトランスミッターの接続」 p.28
- ・「外部出力機器を接続する」 p.29

## コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

### ▶ 関連項目

- ・「コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.23
- ・「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 p.24

### コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する

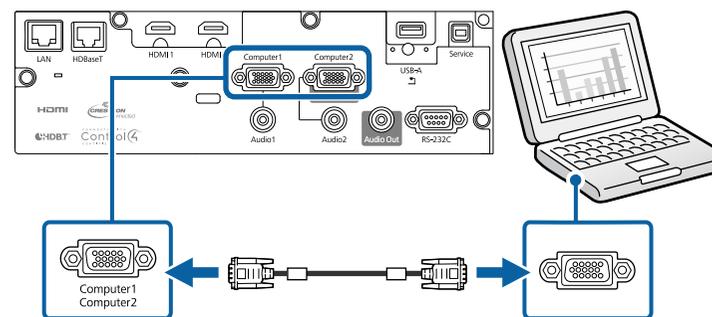
プロジェクターとコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



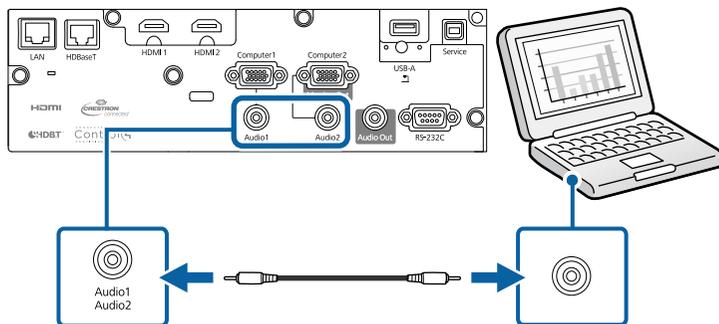
- ・映像出力用のVGA端子を搭載していないコンピューターをお使いのときは、VGA変換アダプターが必要です。
- ・Computer2/Monitor Out端子に接続して投写するときは、[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。
  - [拡張設定] > [動作設定] > [モニター出力端子]
- ・音声入力として使用する端子は、[拡張設定]メニューで設定することもできます。
  - [拡張設定] > [AV出力設定] > [音声出力設定] > [音声出力]
- ・「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1 コンピューターの映像出力端子にコンピューターケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のComputer端子に接続します。



- 3 VGAコネクターのネジを締めます。
- 4 オーディオケーブルをコンピューターのヘッドフォン/スピーカージャックまたは音声出力端子に接続します。

- 5** ケーブルのもう一方のコネクタを、コンピューターケーブルを接続したComputer端子に対応するAudio端子に接続します。



▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

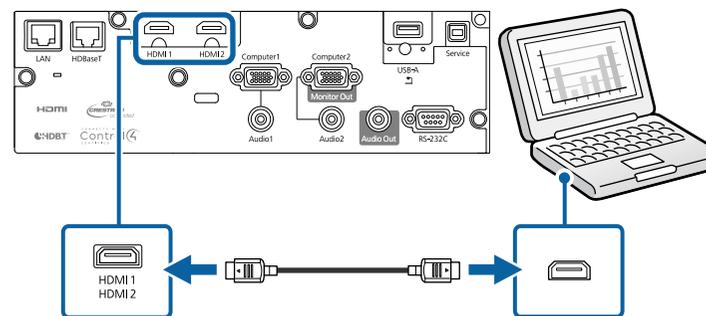
HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。



映像出力用HDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacはHDMI端子からの音声出力に対応していないことがあります。

- 1** コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで本機のAudio端子とコンピューターの音声出力端子を接続します。[拡張設定]メニューで、接続している音声入力端子を設定してください。

- [拡張設定] > [A/V出力設定] > [音声出力設定] > [HDMI1音声出力]
- [拡張設定] > [A/V出力設定] > [音声出力設定] > [HDMI2音声出力]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。



- ・接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- ・使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ・ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
- ・音声が入正しく出力されないときは、[音声出力機器] の設定をご確認ください。  
 ● [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]

## ▶ 関連項目

- ・「HDMIケーブルで接続する」 p.25
- ・「コンポーネントビデオケーブルで接続する」 p.25

## HDMIケーブルで接続する

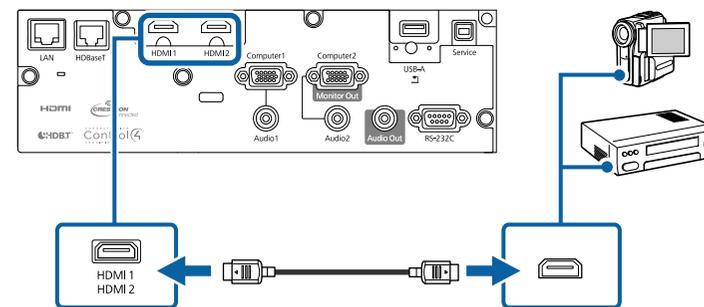
HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

### 注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで、本機のAudio端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。[拡張設定] メニューで、接続している音声入力端子を設定してください。

- [拡張設定] > [AV出力設定] > [音声出力設定] > [HDMI1音声出力]
- [拡張設定] > [AV出力設定] > [音声出力設定] > [HDMI2音声出力]

## ▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## コンポーネントビデオケーブルで接続する

コンポーネントビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、コンポーネントビデオケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続します。コンポーネント端子によっては、コンポーネントビデオケーブルに加えてアダプターケーブルが必要になることがあります。

ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



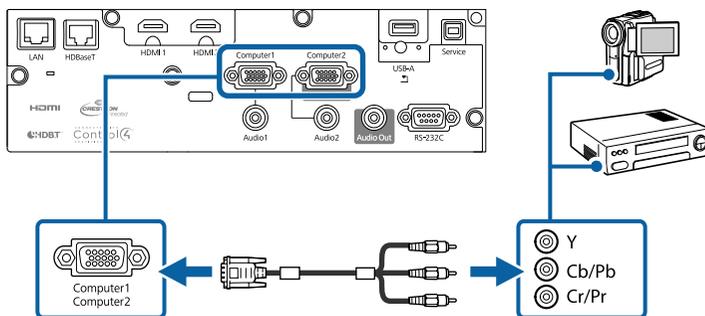
- Computer2/Monitor Out端子に接続して投写するときは、[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [モニター出力端子]
- 音声入力として使用する端子は、[拡張設定]メニューで設定することもできます。
  - ☛ [拡張設定] > [AV出力設定] > [音声出力設定] > [音声出力]
- 「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

**1** コンポーネントコネクタをビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子（緑、青、赤）に接続します。



コンポーネントビデオ出力端子は、通常Y、Pb、Pr、またはY、Cb、Crと表示されます。アダプターケーブルを使用するときは、コネクタをコンポーネントビデオケーブルに接続します。

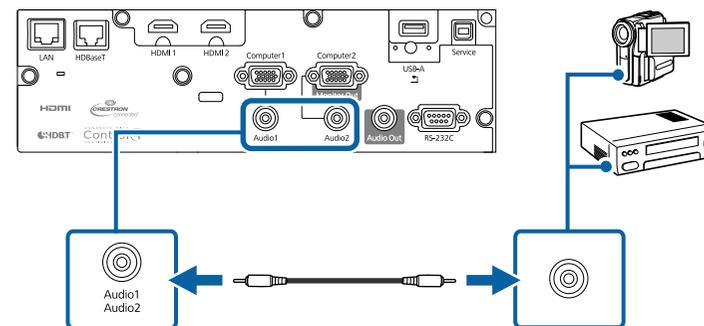
**2** VGAコネクタを本機のComputer端子に接続します。



**3** VGAコネクタのネジを締めます。

**4** ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。

**5** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のAudio端子に接続します。



映像の色が正しく投写されないときは、[映像]メニューの[入力信号方式]を変更してください。

☛ [映像] > [アドバンスト] > [入力信号方式]

## ▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 [p.158](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.163](#)

## USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

## ▶▶ 関連項目

- 「USB機器のデータを投写する」 [p.27](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.27](#)
- 「USB機器を取り外す」 [p.27](#)

## USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくても映像を投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ
- マルチメディアストレージビューワー



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
  - USBマストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマストレージクラスの機器もあります）
  - フォーマット形式がFAT16/32であること
  - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
  - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

USB機器内の映像ファイルを投写できます。

### ▶ 関連項目

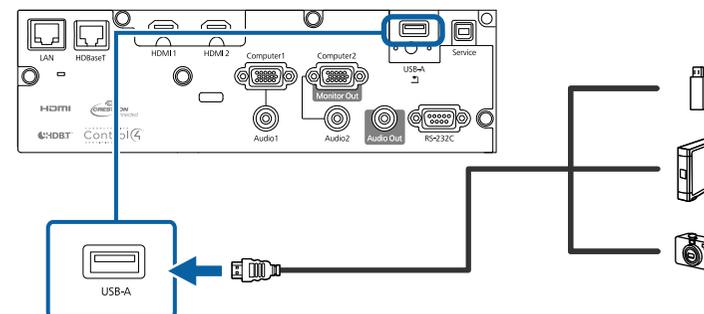
- 「PC Free機能で投写する」 [p.76](#)

## USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1** USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。

- 2** 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



### 注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3** USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

## USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1** USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2** プロジェクターからUSB機器を取り外します。

## 書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

## HDBaseTトランスミッターの接続

100Base-TXタイプのLANケーブルでHDBaseTトランスミッターを接続して、HDMI信号や制御用信号を長距離伝送できます（EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W）。最長約100mのケーブルを使用できるので、ホールやイベント会場などの離れた場所から本機を制御したり信号を伝送したりするときに便利です。誤作動防止のために、カテゴリ5e以上のシールド付きSTPケーブル（ストレート）をお使いください。ただし、すべての入出力機器および環境において、動作を保証するものではありません。



- HDBaseT端子からEthernet通信やシリアル通信をするときは、[拡張設定]メニューの[制御通信]を[オン]にします（[待機モード]が[通信オン]に自動で設定されます）。この設定時は、本機のLAN端子とRS-232C端子は無効になります。
  - ☛ [拡張設定] > [HDBaseT設定] > [制御通信]
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- Extron社製のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを使用するときは、本機のHDBaseT端子に接続します。[拡張設定]メニューで[Extron XTP]を[オン]に設定してください（[制御通信]は[オン]に、[待機モード]は[通信オン]に自動で設定されます）。
  - ☛ [拡張設定] > [HDBaseT設定] > [Extron XTP]
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- HDBaseT端子からの有線リモコン制御は無効です。

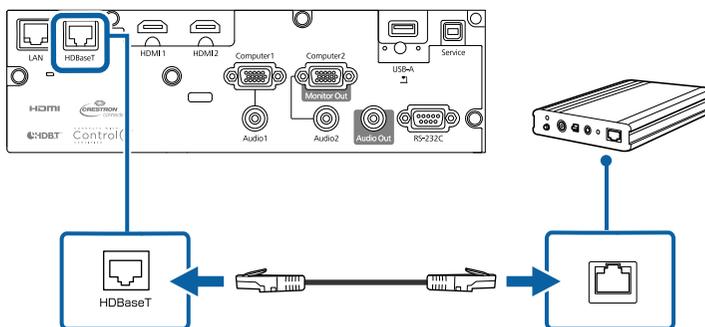
- 1 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を切ります。



LANケーブルを抜き差しするときは、本機とHDBaseTトランスミッターの電源をオフにしてください。

- 2 LANケーブルをHDBaseTトランスミッターのHDBaseT端子に接続します。

- 3** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDBaseT端子に接続します。



接続方法について詳しくは、HDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をご覧ください。

- 4** 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を入れます。

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## 外部出力機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

▶ 関連項目

- ・「VGAモニターを接続する」 p.29
- ・「外部スピーカーを接続する」 p.30

## VGAモニターを接続する

プロジェクターのComputer端子にコンピューターを接続しているときに、接続した外部モニター（VGA）に映像を表示します。これにより、本機からの投写映像が見えないときでも、外部モニターに表示した映像を見ることができます。



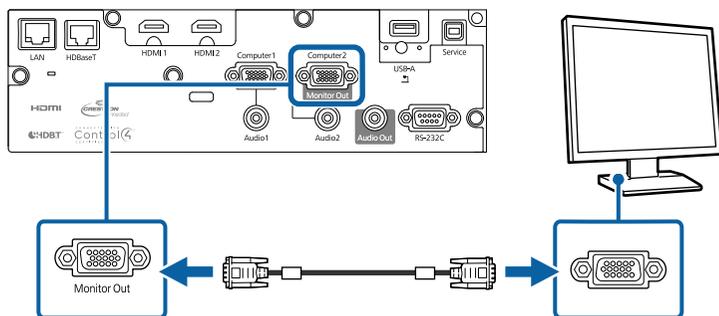
- ・ 本機の電源がオフの場合に外部モニターに映像を出力するときは、[拡張設定]メニューで[A/V出力]を[常時]に設定します。  
 ● [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
- ・ 映像を外部モニターに出力するには、[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[モニター出力]に設定します。  
 ● [拡張設定] > [動作設定] > [モニター出力端子]
- ・ リフレッシュレートが60Hz以下のモニターを使用しているときは、映像が正しく表示できないことがあります。

- 1** 本機のComputer端子にコンピューターを接続します。



- ・ コンピューター端子が2つ以上ある機種では、Computer1端子に接続してください。
- ・ 外部モニターに出力できる映像は、Computer1端子から入力しているアナログRGB信号のみです。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。

- 2** 本機のMonitor Out端子に外部モニターのカベルを接続します。



▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## 外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続して、投写映像の音質を向上できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

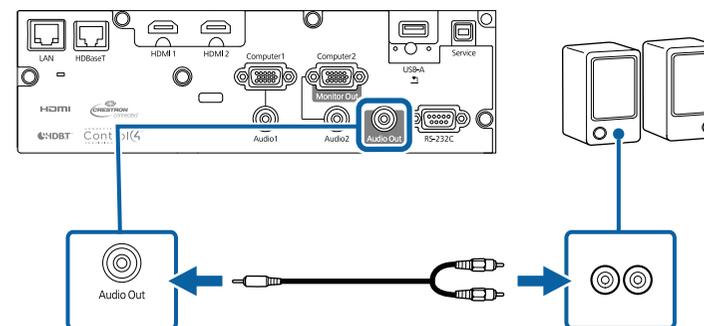
外部スピーカーから音声を出力するときは、[設定]メニューの[音声出力機器]を[プロジェクター]に設定します。[音声出力機器]が[AVアンプ]に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。

- ☛ [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]



- ・ 本機の電源がオフの場合に外部スピーカーから音声を出力するときは、[拡張設定]メニューで[A/V出力]を[常時]に設定します。
  - ☛ [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
- ・ スピーカー付きのアンプも本機に接続できます。
- ・ 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

- 1** 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
- 2** ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
- 3** 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。
- 4** 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機のAudio Out端子に接続します。

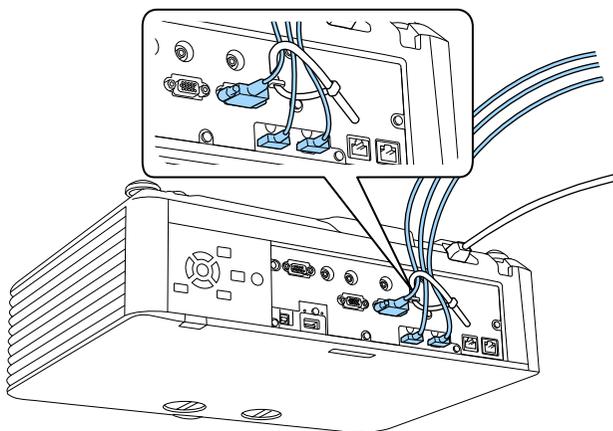


▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.163

本機を天吊り設置するときは、同梱のケーブルカバーを装着して、ケーブル類を目立たなくすることができます（EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W）。

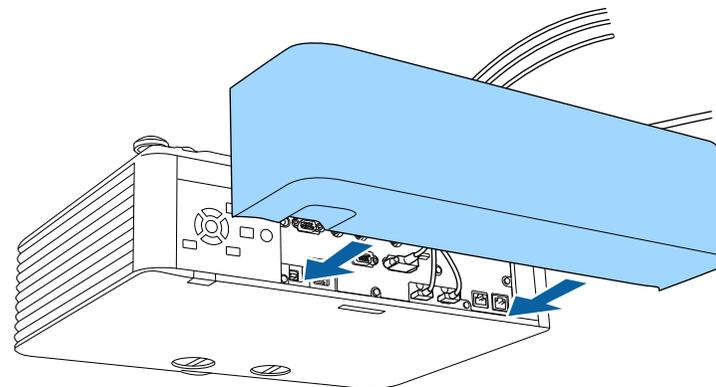
- 1 市販の結束バンドなどをケーブルホルダーに通し、ケーブル類を束ねます。



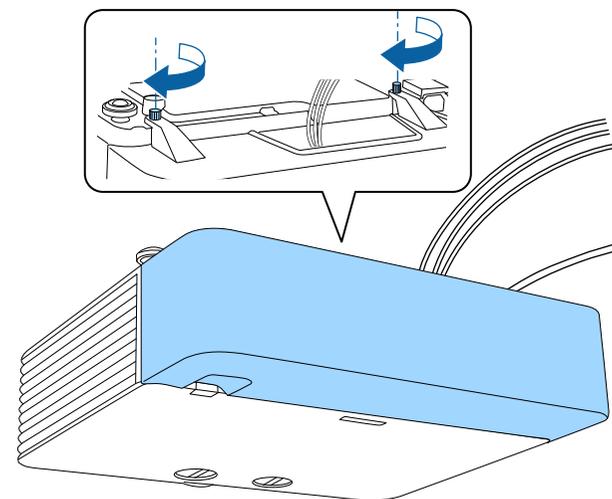
## ⚠ 注意

電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の原因となります。

- 2 ケーブルカバーの切り込みにケーブルを通して、ケーブルカバーをプロジェクターに取り付けます。



- 3 ケーブルカバーのネジを締めます。



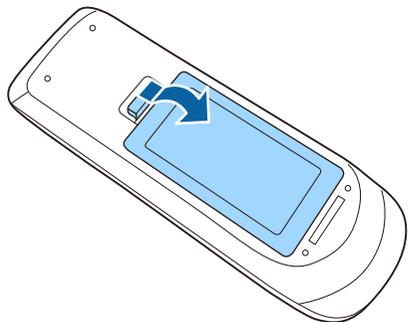
ケーブルカバーを外すときは、ネジをゆるめます。

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

## 注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

- 1** 電池カバーを外します。

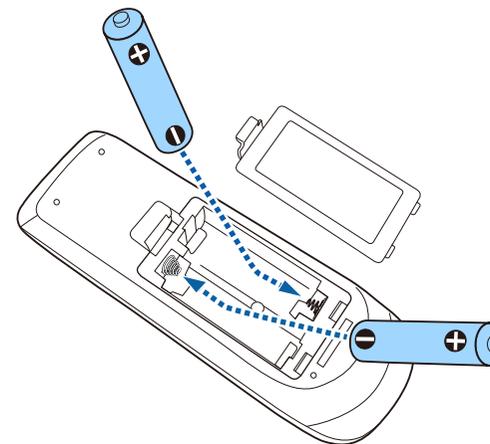


- 2** 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

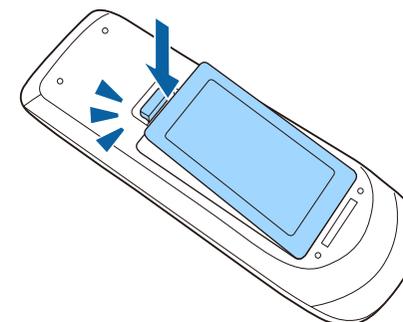
- 3** 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



## 警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 4** 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



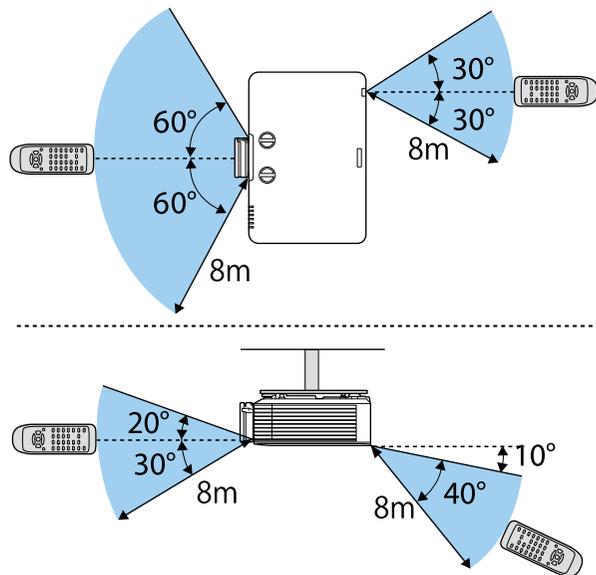
## ▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 p.33

## リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

# プロジェクターの基本機能を使用する

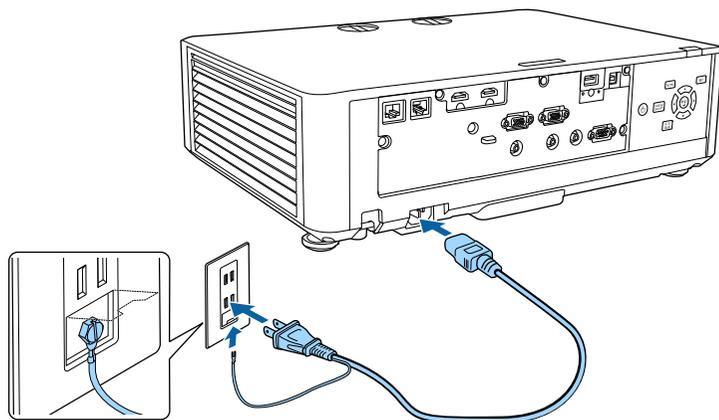
プロジェクターの基本機能を説明します。

## ▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.35](#)
- ・「プロジェクターの電源を切る」 [p.38](#)
- ・「日時を設定する」 [p.39](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.41](#)
- ・「設置モードを選択する」 [p.42](#)
- ・「スクリーンタイプを設定する」 [p.43](#)
- ・「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.45](#)
- ・「テストパターンを表示する」 [p.47](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.49](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.50](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.55](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.56](#)
- ・「投写映像を切り替える」 [p.57](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.59](#)
- ・「カラーモードを設定する」 [p.63](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.65](#)
- ・「明るさを設定する」 [p.68](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.71](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

## 1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



### ⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

## 2 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。



- [拡張設定] メニューで [高速起動] をオンにすると、次回の電源投入時には数秒で投写可能状態になります。
- ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高速起動]

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

### ⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときはA/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。



- ・ [拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
- [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- ・ [拡張設定] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、映像信号が入力されたときに自動で電源が入りません。
- [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

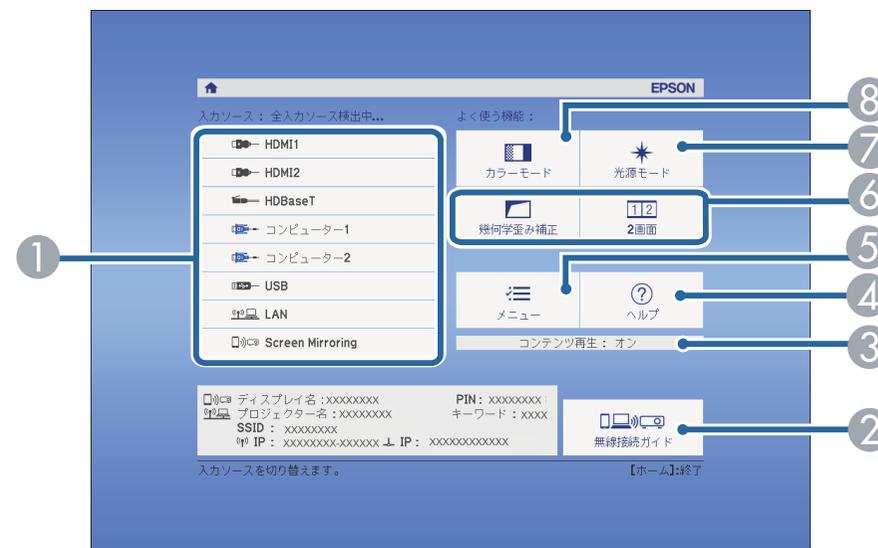
## ▶ 関連項目

- ・ 「ホーム画面」 p.36
- ・ 「拡張設定メニュー」 p.163

## ホーム画面

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面はリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。また、本機の電源投入時に、入力ソースからの信号がないときにも、ホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 1 投写したい入力ソースを選択します。
- 2 無線接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた無線接続の方法を確認できます。
- 3 本機がコンテンツ再生モードで動作中であることを示します。
- 4 ヘルプ画面を表示します。
- 5 プロジェクターのメニューを表示します。
- 6 [拡張設定] メニューの [ホーム画面設定] に割り当てた機能を実行します。
- 7 光源の明るさを設定します。
- 8 カラーモードを変更します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

## ▶ 関連項目

- 「映像の形状を補正する」 [p.50](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.117](#)
- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.154](#)
- 「ヘルプの見方」 [p.202](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.73](#)

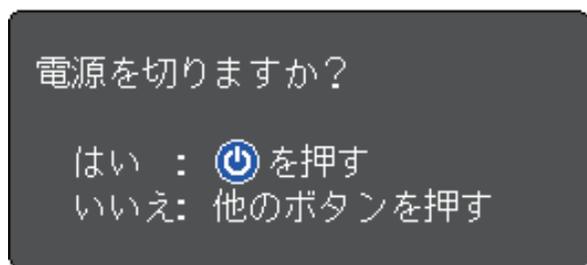
使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。
- 本機の電源を切ると、定期的に自動で光源キャリブレーションを開始します。  
ただし、以下の場合には自動的に開始しません。
  - 本機を一定モードで24時間以上連続して使用する場合
  - 常にダイレクトシャットダウンで本機の電源を切る場合  
[拡張設定]メニューで[光源キャリブレーション]を設定してください。  
☛ [拡張設定] > [スケジュール設定画面へ]
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

- 3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

- 1 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。  
シャットダウン確認画面が表示されます。

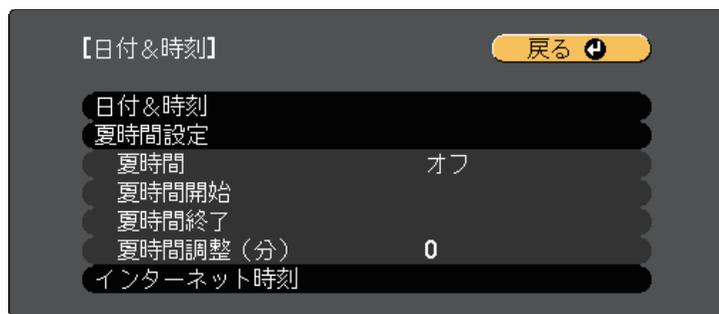


- 2 再度電源ボタンを押します。（電源を切らないときは、他のボタンを押します。）

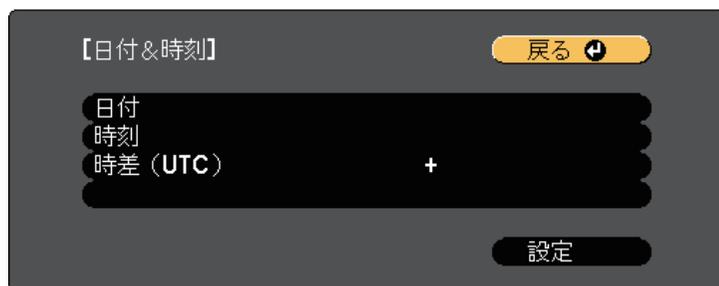
「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、光源がオフになり、ステータスインジケータが消灯します。

プロジェクターの日時を設定します。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** 【動作設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5** 【日付&時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。  
次の画面が表示されます。



- 6** 【日付&時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。  
次の画面が表示されます。



- 7** 【日付】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで本日の日付を入力します。
- 8** 【時刻】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで現在の時刻を入力します。
- 9** 【時差 (UTC)】を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 10** 終了したら、【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 11** 夏時間を有効にするときは、【夏時間設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 12** 終了したら、【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 13** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するとき  
は、[インターネット時刻] を選択し、【決定】 ボタンを押しま  
す。表示された画面の各項目を設定します。

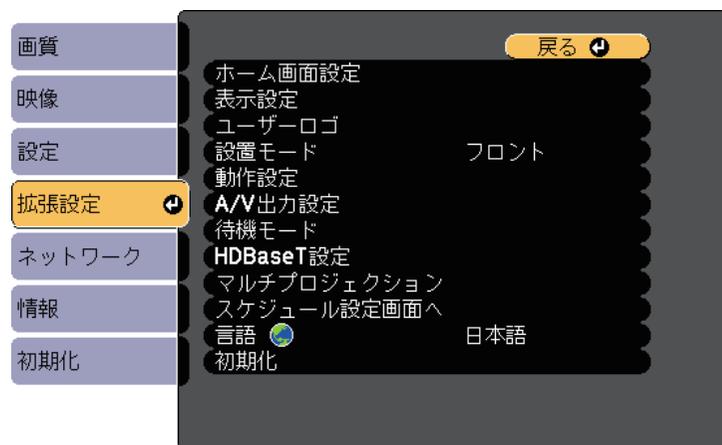


- 14** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 15** 【メニュー】 または 【戻る】 を押してメニューを終了します。

メニューおよびメッセージの言語を変更します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [言語] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント] (デフォルト設定) : 机の上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア] : リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

## ▶ 関連項目

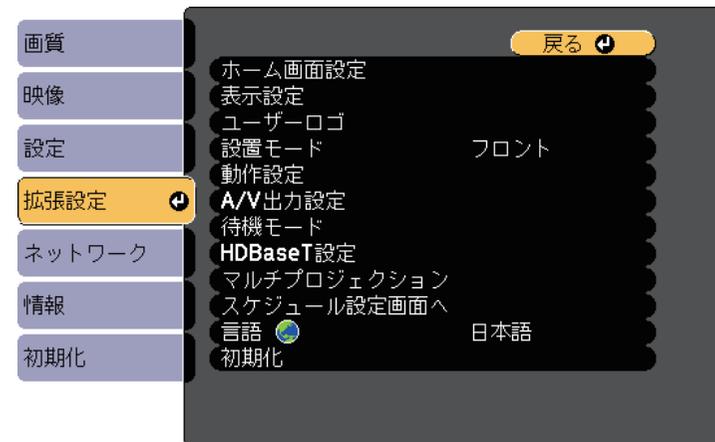
- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 [p.42](#)
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.20](#)

## メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

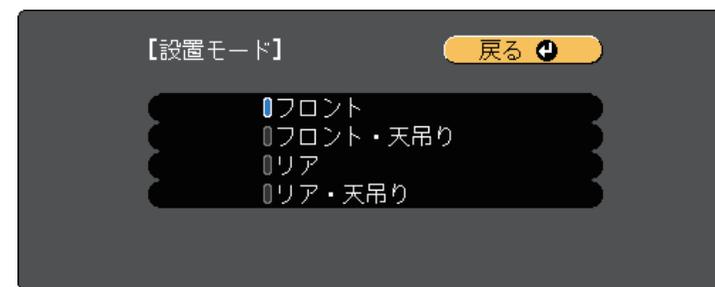
- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** 【設置モード】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

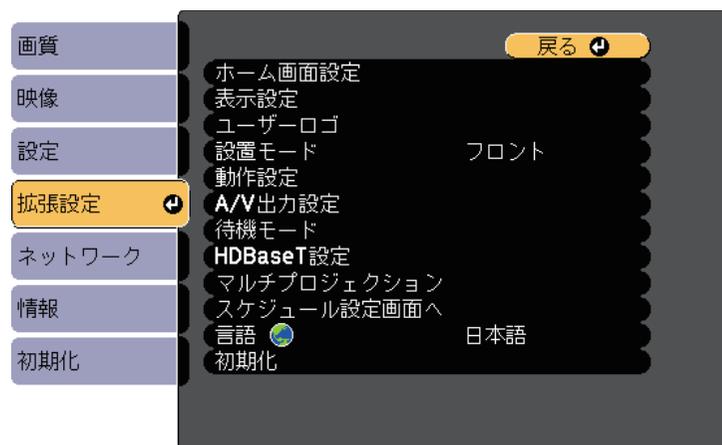
お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて、映像を表示する領域がスクリーンに合うよう、スクリーンタイプを設定します。



以下の入力ソースから投写中のときは設定できません。

- USB
- LAN

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ] の順に選択します。

次の画面が表示されます。



- 5 お使いのスクリーンのアスペクト比を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 6 【メニュー】ボタンを押して終了します。
- 7 必要に応じて投写映像のアスペクト比を調整します。

#### ▶ 関連項目

- 「映像の位置を調整する (スクリーン位置)」 [p.43](#)

## 映像の位置を調整する (スクリーン位置)

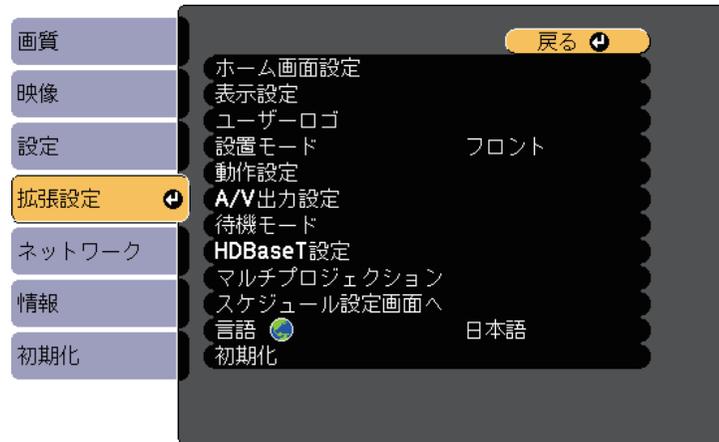
映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。



- [スクリーンタイプ] の設定が、WUXGA/WXGAプロジェクターで [16:10] のとき、XGAプロジェクターで [4:3] のときは調整できません。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3** [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーン位置] の順に選択します。

- 5** 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



- 6** 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

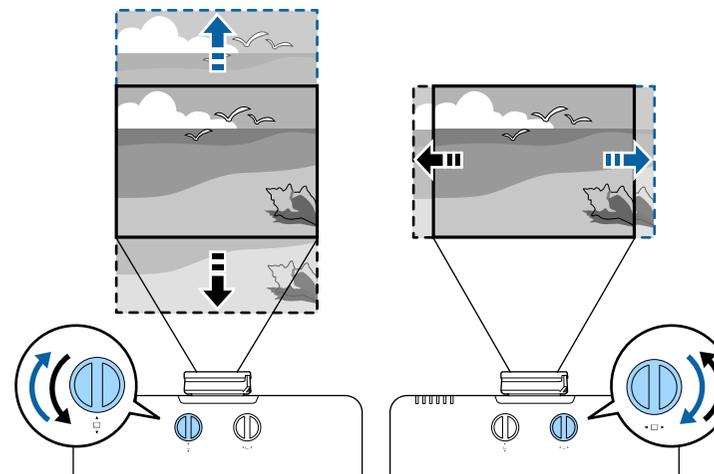
本機を投写面に対して平行に設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフト機能を使って映像の位置を上下左右に移動できます（EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W）。



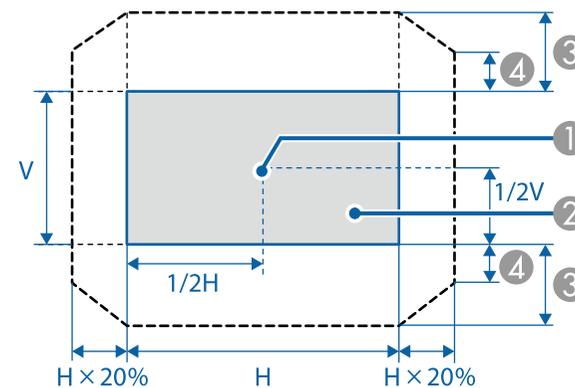
- ・ プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。
- ・ レンズの位置がホームポジションにあるときに、映像が最も鮮明になります。

**1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。

**2** 上下レンズシフトダイヤル、左右レンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



・ EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W



- ① レンズの中心
- ② レンズがホームポジションのときの投写映像

- ③ 最大可動領域：V × 50%
- ④ 左右方向が最大値の場合：V × 12%



上下方向に最大まで移動した場合は左右に移動できません。

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。

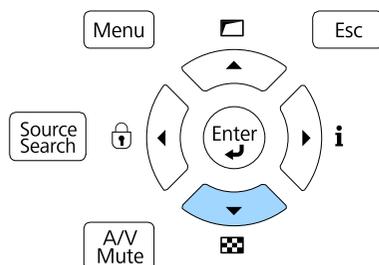


テストパターンは [スクリーンタイプ] の設定に合わせて表示されます。スクリーンタイプを先に設定してください。

☞ [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ]

**1** 本機の電源を入れます。

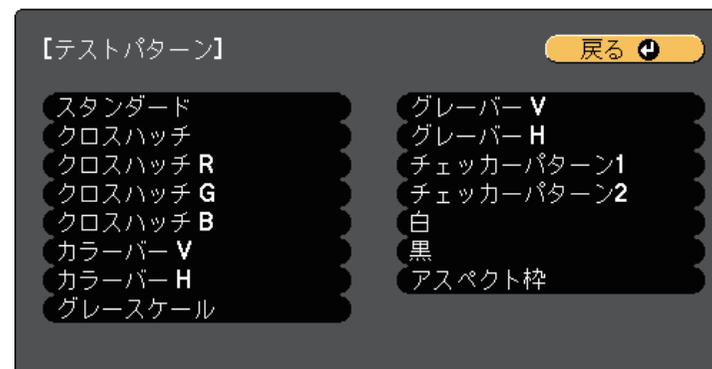
**2** 操作パネルの下ボタンを押します。



[設定] メニューの [テストパターン] でも表示できます。

テストパターンが表示されます。

**3** もう一度下ボタンを押し、【決定】ボタンを押してテストパターンを表示します。



**4** テストパターンの表示中に、リモコンの左右ボタン、または【決定】ボタンを押すと、テストパターンが切り替わります。

**5** 映像を調整します。

**6** テストパターンを消すには、【戻る】ボタンを押します。

#### ▶ 関連項目

- ・「テストパターンで調整できる項目」 p.47

## テストパターンで調整できる項目

テストパターンを表示させて調整できる項目は以下のとおりです。

メニュー	設定
画質	カラーモード
	ホワイトバランス
	アドバンスト ・ ガンマ * ・ RGBCMY **
設定	幾何学歪み補正
拡張設定	マルチプロジェクション



テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。

\* [ガンマ] のカスタム設定を除く

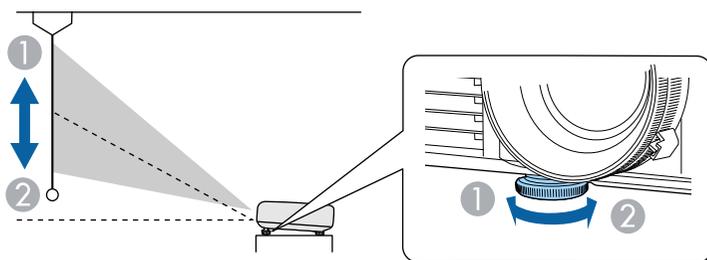
\*\* [ユニフォーミティー] を除く

机などの平らな場所に置いて投写するときには、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

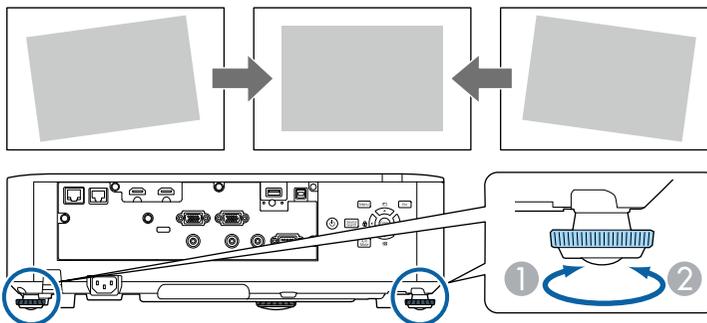
**1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。

**2** フロントフットを回して高さを調整します。



- 1 フットを伸ばす
- 2 フットを縮める

**3** 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



- 1 フットを伸ばす
- 2 フットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

## ▶ 関連項目

- ・「映像の形状を補正する」 [p.50](#)

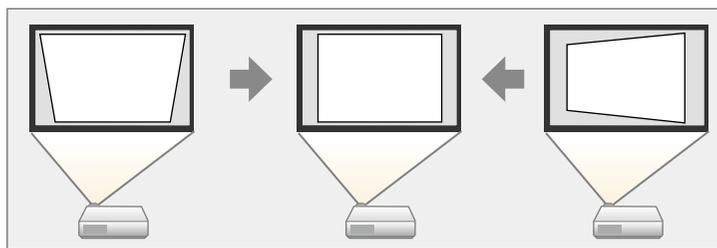
スクリーンの正面にプロジェクターを設置し、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

- ・「タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する」 p.50
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.52
- ・「湾曲補正で映像のゆがみを補正する」 p.53

## タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する

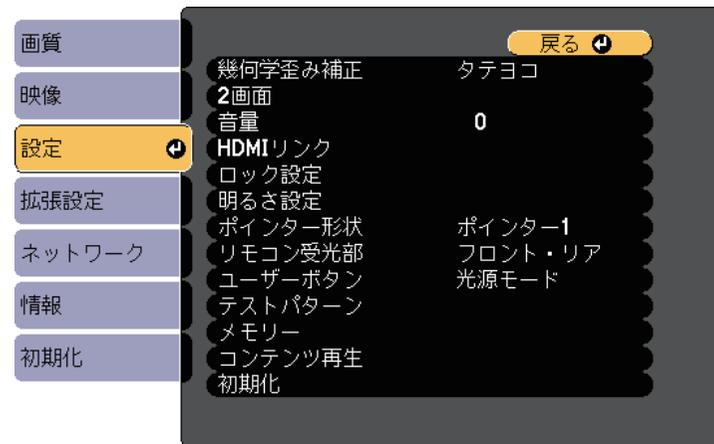
[タテヨコ] メニューを使用して、映像のゆがみを補正します。



同時に複数の補正方法を使って補正することはできません。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 [設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 [幾何学歪み補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。



操作パネルの上ボタンでも幾何学歪み補正メニューを表示できます。

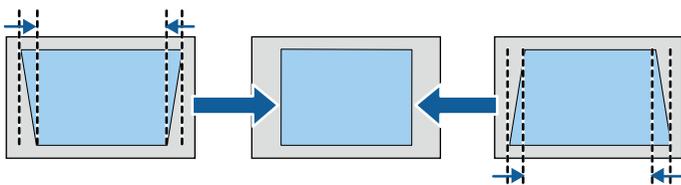
5 [タテヨコ] を選択し、【決定】ボタンを押します。もう一度【決定】ボタンを押します。

タテヨコ調整画面が表示されます。



**6** 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択し、映像の形状を補正します。

・ [タテ補正]

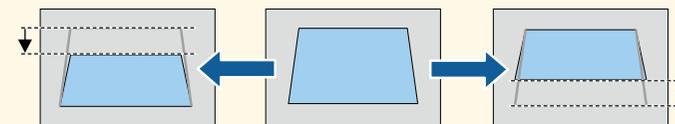


・ [ヨコ補正]

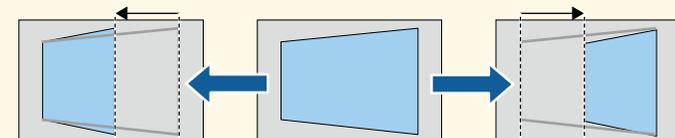


レンズシフト機能で投写映像の位置が調整されているときは、必要に応じて [タテバランス] と [ヨコバランス] を調整してください (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)。

・ [タテバランス]



・ [ヨコバランス]



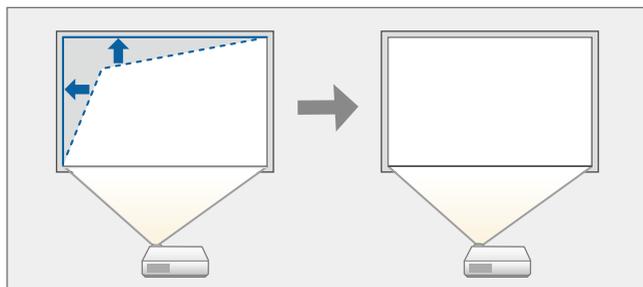
**7** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。  
補正後は、映像が少し小さくなります。

▶ 関連項目

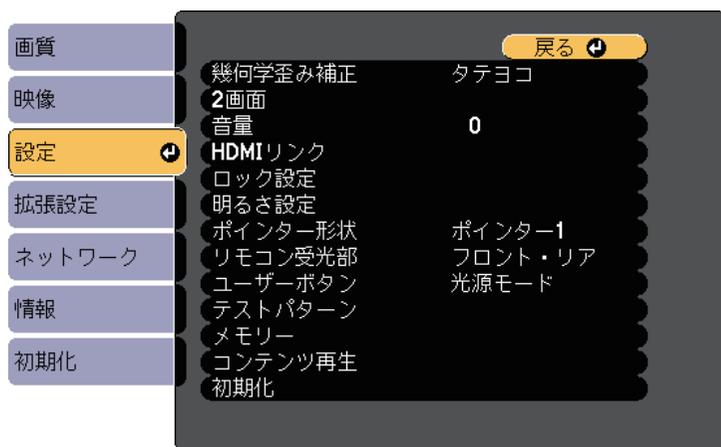
・ 「設定メニュー」 p.160

## Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



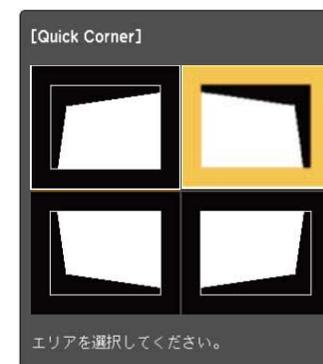
- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 【幾何学歪み補正】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 【Quick Corner】を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。  
エリア選択画面が表示されます。

- 6 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【はい】を選択します。

- 7 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。  
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



**8** 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

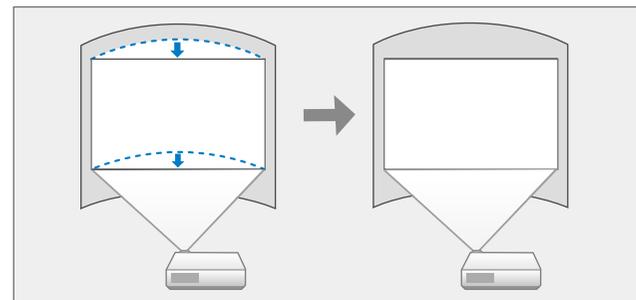
**9** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.160

## 湾曲補正で映像のゆがみを補正する

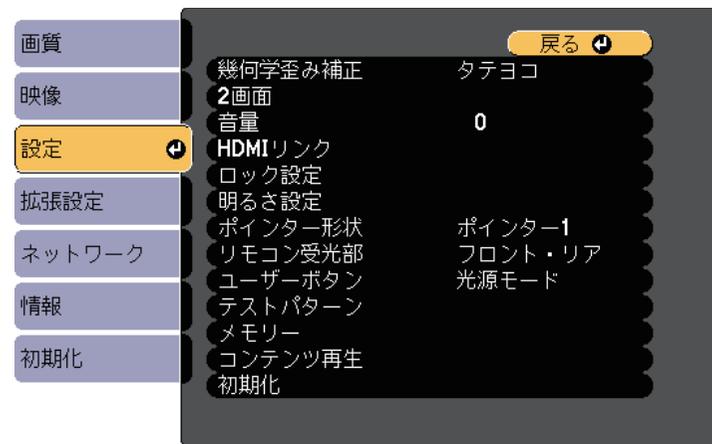
曲面に映像を投写するときは、湾曲補正機能を使用して映像のゆがみを補正します。



**1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。

**2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

**3** 【設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [幾何学歪み補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [湾曲補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。  
エリア選択画面が表示されます。
- 6 上下左右ボタンを押して補正するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。



湾曲補正で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【はい】を選択します。

- 7 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。  
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



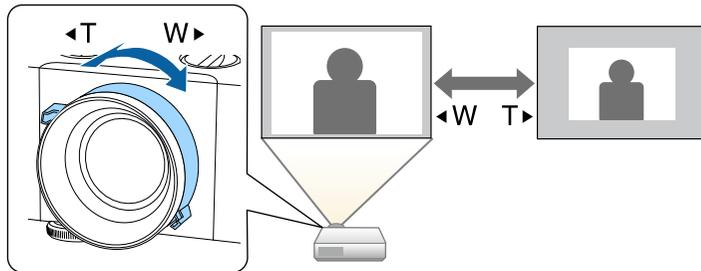
- 8 手順7と8を繰り返して、調整が必要なすべてのエリアを調整します。
- 9 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

ズームリングで映像の大きさを調整できます。



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。

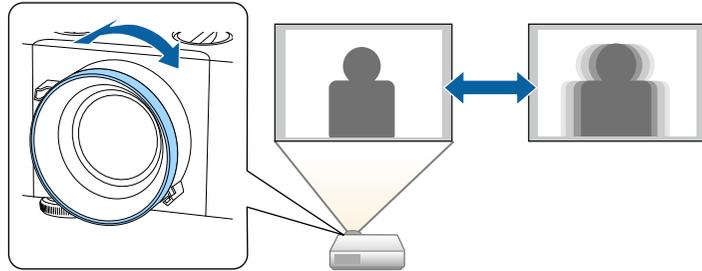
- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から20分以上たってから行ってください。



コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

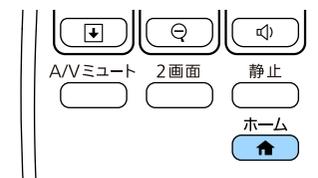
- 1** 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2** ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3** 次のいずれかの操作を行います。
  - ・ 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。



- ・ リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。
- ・ リモコンの【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



- HDBaseTはEB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610Wでのみ使用できます。
- Screen MirroringはEB-L615U/EB-L610Uでのみ使用できません。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.14

本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。USB、LANソースを除く入力信号では、映像をスクリーンに合わせるためにアスペクト比を切り替えることができます。

常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像]メニューでアスペクトを設定します。

## ▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 p.59
- ・「アスペクトモードの種類」 p.59
- ・「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.60
- ・「映像メニュー」 p.158

## 映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。



- ・アスペクト比を切り替える前に、[拡張設定]メニューで[スクリーンタイプ]を設定してください。
  - ☛ [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ]
- ・[表示倍率モード]を[フル表示]に設定しているときのみ有効です。
  - ☛ [映像] > [表示倍率] > [表示倍率モード]

**1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

**2** リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。



表示される映像の形状と大きさが切り替わり、アスペクト比の名称が一時的に画面に表示されます。

**3** 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【アスペクト】ボタンを繰り返し押します。



投写映像に黒帯が発生するときは、コンピューターの解像度に合わせて[映像]メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

## ▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.158

## アスペクトモードの種類

[スクリーンタイプ]の設定、および接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- 選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- 著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。



[リアル] を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

## EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U

スクリーンタイプの設定 : 16:10

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と [入力解像度] の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア内に映像を表示します。
4:3	入力信号のアスペクト比が4:3に変換されます。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
Hズーム Vズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅 (Hズーム)、または高さ (Vズーム) に合わせて映像を表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
16:9			
フル			
Hズーム			
Vズーム			

## 各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
リアル			

## スクリーンタイプの設定：16:9

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
フル			
Hズーム			
Vズーム			
リアル			

## スクリーンタイプの設定：4:3

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
4:3 *			
16:9			
Hズーム			
Vズーム			
リアル **			

\* HDTV信号（720p/1080i/1080p）の入力時は、入力信号のアスペクト比が維持され、映像の左右が切れて表示されます。

\*\* コンピューター映像と、HDMI端子およびHDBaseT端子からの映像のみ。入力信号の解像度によっては、イメージと異なる場合があります。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

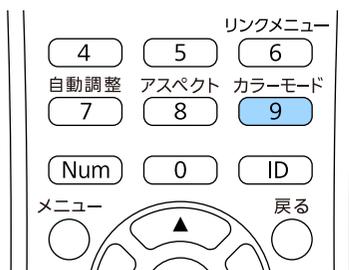
▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 p.63
- ・「カラーモードの種類」 p.63
- ・「映像の光量を調整する」 p.64

## カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

- 3 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押します。



カラーモードは [画質] メニューの [カラーモード] でも設定できます。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 p.156

## カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

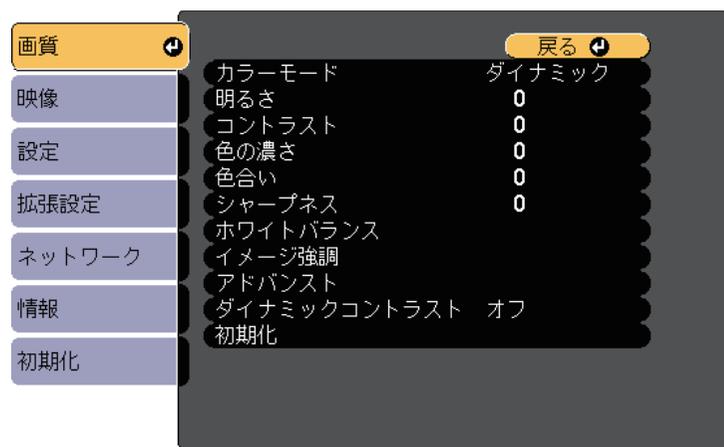
カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
sRGB	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
DICOM SIM	エックス線写真などの医用画像を投写するのに適しています。ただし、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。
マルチプロジェクション	本機を複数台並べて投写する場合に適しています（映像の明るさや色合いの違いを小さくします）。

## 映像の光量を調整する

ダイナミックコントラストをオンにすると、投写映像の光量を自動的に調整できます。光量を自動的に調整することで、映像の明るさに合わせてコントラストを改善します。

カラーモードが [ダイナミック] または [シネマ] のときのみ設定できます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [ダイナミックコントラスト] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ・ [標準] : 標準の光量調整が行われます。
- ・ [高速] : シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。

- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

投写映像の色合いを細かく調整できます。

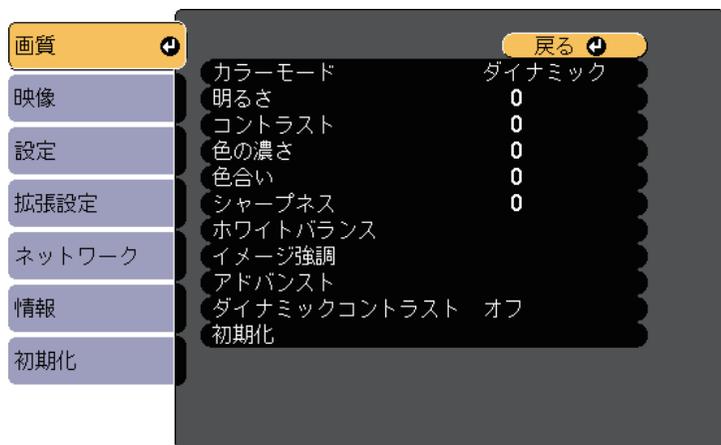
▶ 関連項目

- ・「色相、彩度、明度を調整する」 p.65
- ・「ガンマを調整する」 p.65

## 色相、彩度、明度を調整する

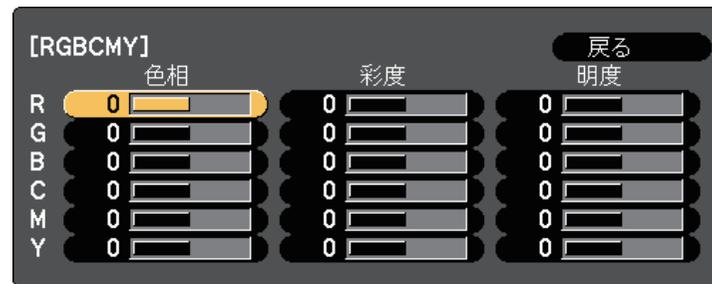
映像の色相、彩度、明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。

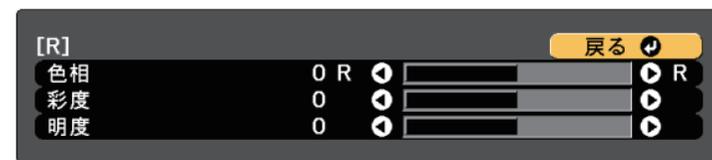


- 4 [アドバンスト] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [RGBCMY] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6 調整する色を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 7 必要に応じて以下を調整します。
  - ・ [色相] : 映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
  - ・ [彩度] : 映像全体の鮮やかさを調整します。
  - ・ [明度] : 映像全体の明るさを調整します。

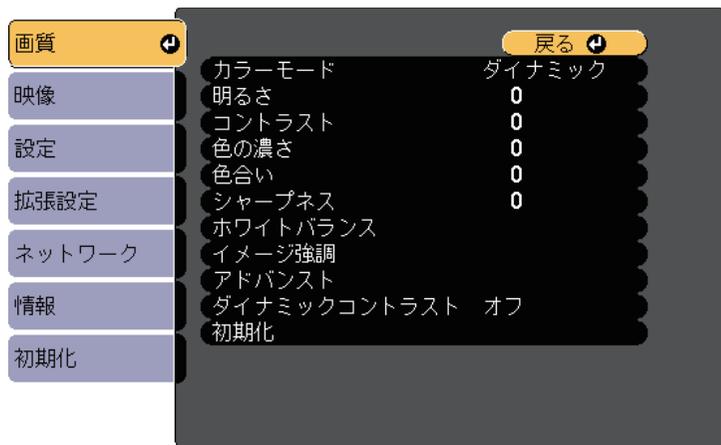


- 8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

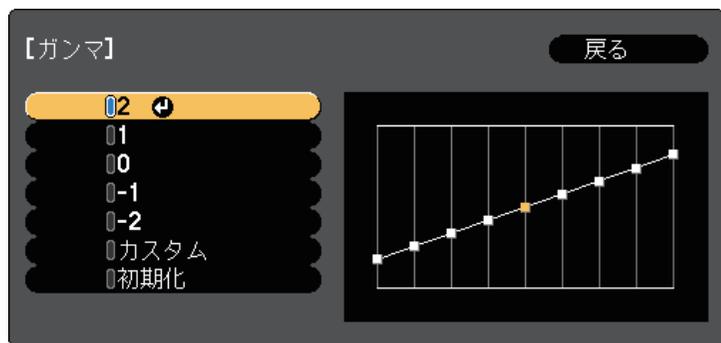
## ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。

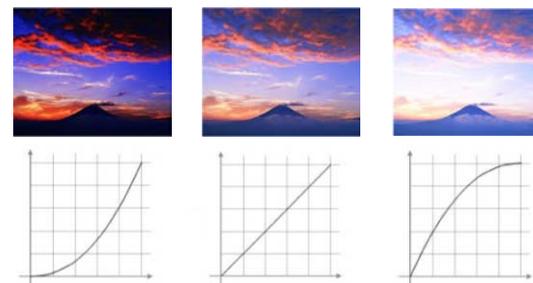
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [アドバンスト] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [ガンマ] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 補正值を選んで調整します。



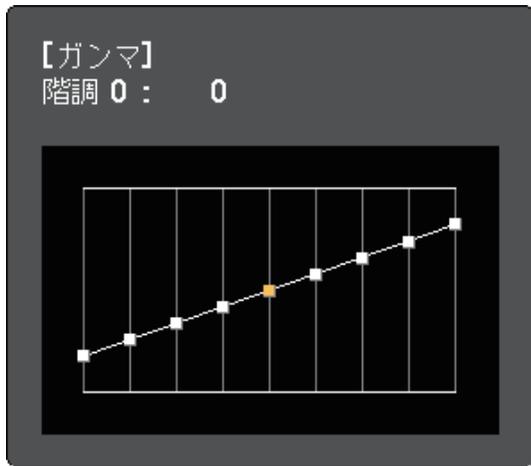
数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



- [画質] メニューの [カラーモード] で [DICOM SIM] を選択したときは、投写サイズに応じた補正值を選択します。
- 投写サイズが80型以下：より小さい数値を選択します。
- 投写サイズが80型以上：より大きい数値を選択します。
- 本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

- 7 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 8** ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。



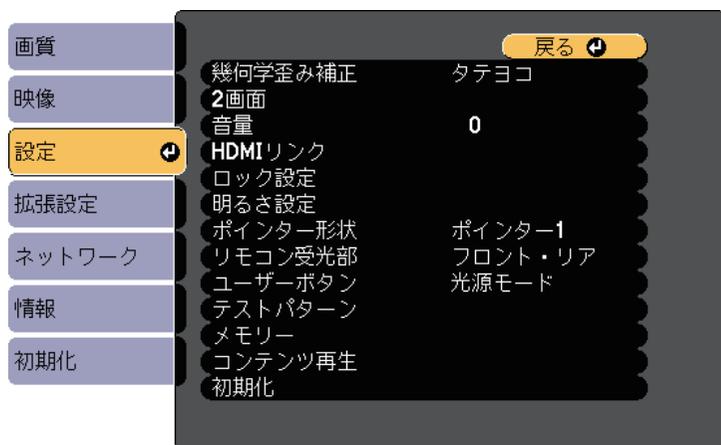
- 9** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.156](#)

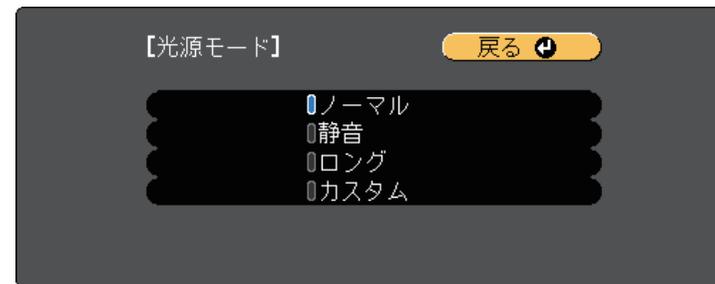
光源の明るさを設定します。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** [設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [明るさ設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5** [光源モード] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6** 次のいずれかを選択します。



- ・ [ノーマル] : 明るさを落としたくないときに選択します。光源寿命の目安は約20,000時間です。
- ・ [静音] : ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源寿命の目安は約20,000時間です。
- ・ [ロング] : 光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源寿命の目安は約30,000時間です。
- ・ [カスタム] : 明るさレベルを70~100%の範囲で設定します。

- 7** [カスタム] を選択したときは、明るさ設定画面で [明るさレベル] を選択し、左右矢印ボタンを押して明るさを設定します。

- 8** 光源の明るさを一定に保ちたいときは、[一定モード] をオンにします。



[一定モード] をオンにすると、[光源モード] と [明るさレベル] は変更できません。[一定モード] をオフにすると、そのときの光源の状態に応じて [明るさレベル] の値が変わります。

- 9** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



以下の場合に [拡張設定] メニューで [光源キャリブレーション] を設定してください。

- ・ 本機を一定モードで24時間以上連続して使用する場合
  - ・ 常にダイレクトシャットダウンで本機の電源を切る場合
- 設定しないと [一定モード] の機能が動作しません。

☞ [拡張設定] > [スケジュール設定画面へ]

▶ 関連項目

- ・ 「光源寿命」 p.69

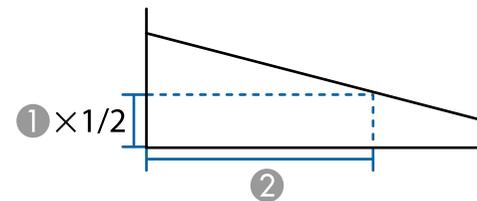
## 光源寿命

光源寿命の目安は、[明るさレベル] の設定や [一定モード] のオン/オフによって異なります。



- ・ 光源寿命はお使いの環境によって異なります。
- ・ 以下に示す時間は目安であり、保証期間ではありません。
- ・ 使用時間が20,000時間を超えた場合は、本機内部の部品交換が必要となることがあります。
- ・ [一定モード] がオンのときに、以下に示す目安時間を超えて使用した場合は、[明るさレベル] の設定を高くすることはできません。

### 一定モードがオフの場合



- ① 明るさレベル
- ② 光源の明るさが半減するまでの時間 (目安)

明るさレベルの設定	時間
100%	20,000時間
90%	21,000時間
80%	24,000時間
70%	30,000時間

### 一定モードがオンの場合



- ① 明るさレベル
- ② 光源の明るさを一定に保つことができる時間 (目安)

## EB-L615U/EB-L610U/EB-L610W/EB-L400U

明るさレベルの設定	時間
85%	6,000時間
80%	10,000時間
75%	14,000時間
70%	19,000時間

## EB-L510U

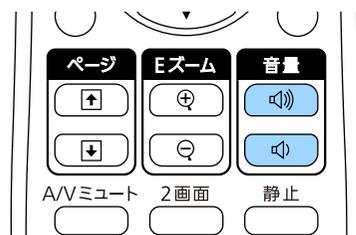
明るさレベルの設定	時間
85%	17,000時間
80%	19,000時間
75%	22,000時間
70%	24,000時間

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。

プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。

音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

- 1** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2** リモコンの【音量】ボタンを押して音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

- 3** メニューから音量を調整するときは、[設定]メニューの[音量]を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

## ⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

## ▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 p.160

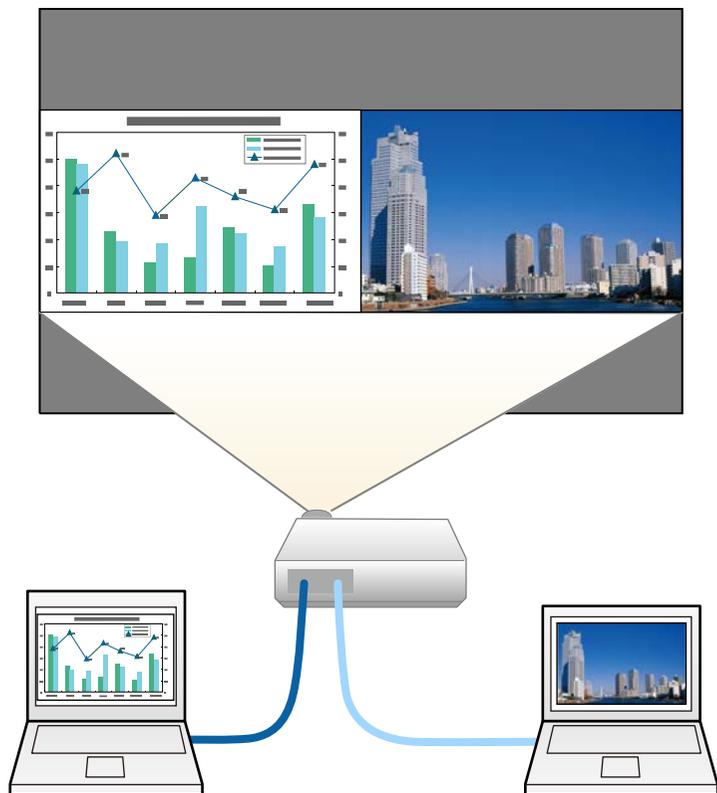
# プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

## ▶ 関連項目

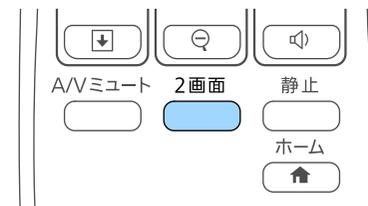
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.73](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.76](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.81](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.85](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.86](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.87](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.88](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.89](#)
- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.91](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写する（マルチプロジェクション機能）」 [p.92](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.100](#)

2画面機能を使用して、2つの機器の映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



- 2画面機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなくなったり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。

**1** リモコンの【2画面】ボタンを押します。



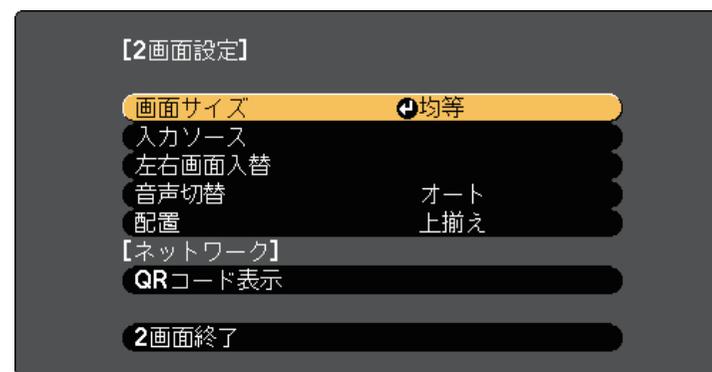
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。



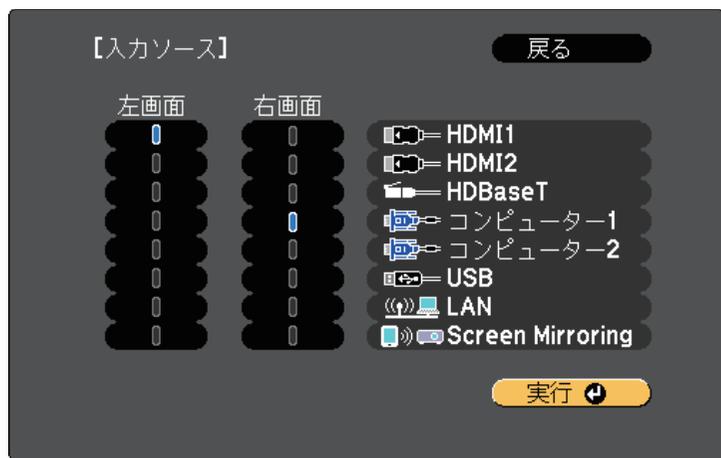
【設定】メニューの【2画面】からも同じ操作ができます。

**2** 【メニュー】ボタンを押します。

次の画面が表示されます。

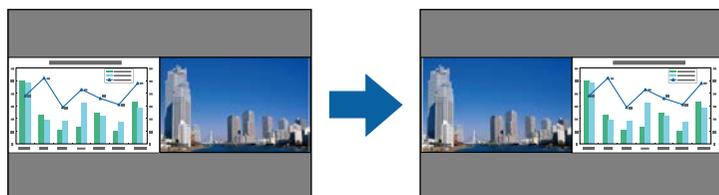


- 3** 右画面に投写する入力ソースを選択するには、[入力ソース] を選択し、【決定】ボタンを押します。入力ソースを選択し、[実行] を選択して【決定】ボタンを押します。



- 組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。
- 2画面で投写中は、リモコンで入力ソースを切り替える操作をしたときにも [入力ソース] 画面が表示されます。

- 4** 左右の映像を切り替えるには、[左右画面入替] を選択し、【決定】ボタンを押します。  
投写映像の左右が入れ替わります。



- 5** 一方の映像を縮小してもう一方の映像を拡大するには、[画面サイズ] を選択し、【決定】ボタンを押します。拡大する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。



- 映像信号によっては、[均等] を選択しても左右の映像の大きさが一致しないことがあります。

- 6** 出力する音声を切り替えるには、[音声切替] を選択し、【決定】ボタンを押します。音声を出力する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。

- [オート] を選択すると、拡大している方の画面、または左画面の音声が出力されます。

- 7** 画面の位置揃えを変更するには、[配置] を選択し、【決定】ボタンを押します。変更したい設定を選択し、再度【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。

- 8** 2画面機能を終了するには、【2画面】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。

## ▶ 関連項目

- ・「2画面投写できない入力ソースの組み合わせ」 [p.75](#)
- ・「2画面投写中の制限事項」 [p.75](#)

---

## 2画面投写できない入力ソースの組み合わせ

以下の入力ソースの組み合わせでは、2画面投写はできません。

- ・ コンピューター1とコンピューター2
- ・ USBとLAN

---

## 2画面投写中の制限事項

### 操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- ・ メニューの設定
- ・ E-Zoom
- ・ アスペクトモードの切り替え（アスペクトモードは [ノーマル] に設定されます。）
- ・ リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
- ・ ダイナミックコントラスト

### 画質調整に関する制限事項

- ・ [画質] メニューで調整した設定（ [明るさ]、 [コントラスト]、 [色の濃さ]、 [色合い]、 [シャープネス] ）は左画面にのみ適用され、右画面には初期設定が適用されます。 [カラーモード] や [色温度] など、映像全体に対する設定は、両方の画面に適用されます。
- ・ 右画面では、 [画質] メニューの [ノイズリダクション] は0に、 [プログレッシブ変換] は [オフ] に設定されます。

☛ [画質] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]

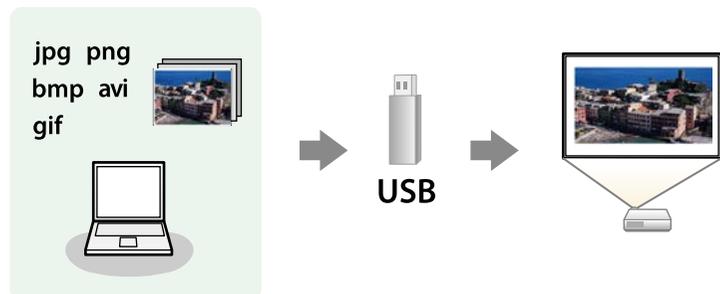
☛ [画質] > [アドバンスト] > [プログレッシブ変換]

- ・ 映像信号の未入力時にユーザーロゴを表示することはできません。ユーザーロゴを設定していても、青い画面が表示されます。

## ▶ 関連項目

- ・ 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.59](#)
- ・ 「カラーモードを設定する」 [p.63](#)
- ・ 「設定メニュー」 [p.160](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・ 「画面の一部を拡大表示する」 [p.87](#)
- ・ 「映像の色合いを調整する」 [p.65](#)

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



### ▶ 関連項目

- ・「サポートファイル形式」 p.76
- ・「PC Free使用時の注意事項」 p.77
- ・「PC Freeのスライドショーを開始する」 p.77
- ・「PC Freeで動画を投写する」 p.79
- ・「PC Freeの表示オプション」 p.80

## サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- ・ FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- ・ Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・ CMYK形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 高圧縮 ・ 解像度が8192 × 8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル ・ アニメーションファイル ・ インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800を超えるファイル* ・ インターレース形式
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 ・ PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル ・ 解像度が1280 × 720を超えるファイル ・ サイズが2 GBを超えるファイル

\* 解像度WUXGA (1920 × 1200) 対応プロジェクターでは、解像度1920 × 1200まで投写できます。

## PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- USBキーとして使用しているUSBメモリーは、PC Free機能では使用できません。
- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に補正してください。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
  - 静止
  - A/Vミュート
  - E-Zoom
  - ポインター

### ▶ 関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 p.86
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.85
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.87
- 「リモコンでポインターを表示する」 p.88

## PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



- 画面下部の [オプション] を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

### 1

リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の [ドライブの選択] を選択して、【決定】ボタンを押します。

**2** 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ】送り/戻しボタンを押します。

**3** 以下のいずれかの操作でファイルを投写します。

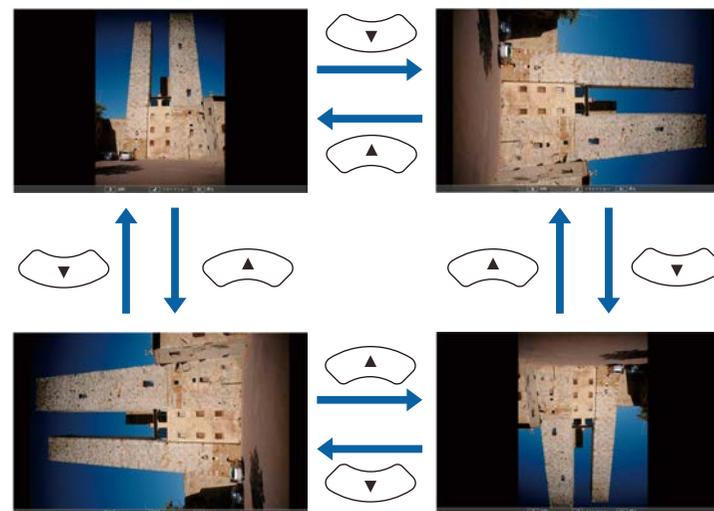
- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の[スライドショー]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

**4** 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

**5** 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面に戻ります。**6** 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

## ▶ 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.80
- 「USB機器を接続する」 p.27

## PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、動画の投写を開始します。



- 画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 リモコンの【USB】ボタンを押します。  
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの動画ファイルを表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
  - USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
  - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
  - 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ】送り/戻しボタンを押します。

- 3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の「スライドショー」を選択します。

- 4 投写を終了するときには、【戻る】ボタン押し、[終了]を選択して【決定】ボタンを押します。  
ファイル一覧画面に戻ります。

- 5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

### ▶ 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.80
- 「USB機器を接続する」 p.27

## PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示

コンテンツ再生モードを使うと、美術館、ショールーム、店舗などでのデジタルサイネージに適した映像を投写できます。外部メモリーに保存されているプレイリストの写真や動画を投写できます。エフェクト機能を使って、投写映像の色や形を変えることもできます。



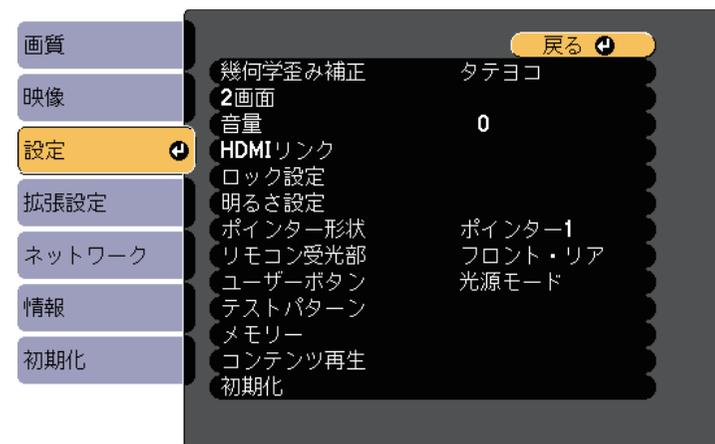
## ▶ 関連項目

- ・「コンテンツ再生モードに切り替える」 p.81
- ・「プレイリストを再生する」 p.82
- ・「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 p.83
- ・「コンテンツ再生モードの制限事項」 p.84

## コンテンツ再生モードに切り替える

プレイリストを再生するには、コンテンツ再生モードに切り替えます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 [コンテンツ再生] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [オン] を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認メッセージが表示されます。

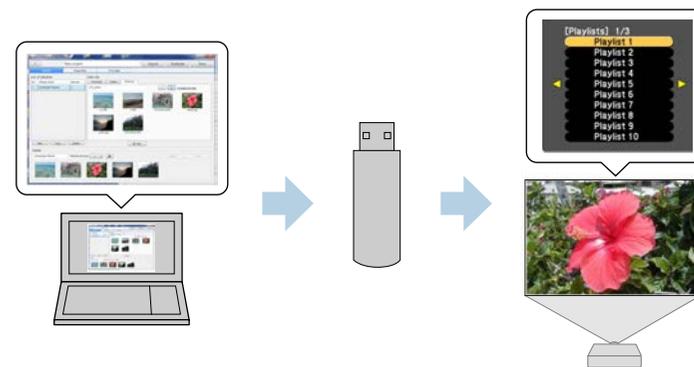
- 5 コンテンツ再生モードを有効にするために、本機の電源を入れなおします。

- 6 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。  
ホーム画面が表示されます。
- 7 コンテンツ再生モードが有効になっていることを確認します。



## プレイリストを再生する

コンテンツ再生モードでは、プレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。

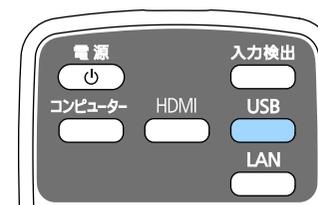


- 1 Epson Projector Content Managerを使ってプレイリストを作成し、USBメモリーに保存します。

詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- 2 コンテンツ再生モードが有効な状態で、USBメモリーを本機のUSB-A端子に接続します。

- 3 リモコンの【USB】ボタンを押します。



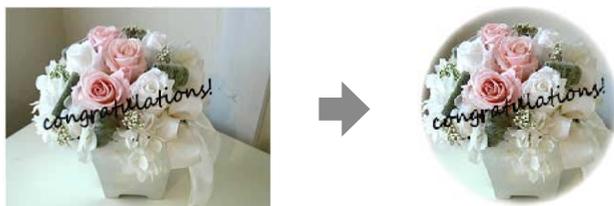
先頭のプレイリスト、またはスケジュール登録されたプレイリストが再生されます。



- ・【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押すと、お気に入りの登録したプレイリストを再生できます。お気に入りのには、Epson Projector Content Managerを使って登録できます。
  - ・再生するプレイリストを一覧から選択するには、[設定]メニューの[USBビューアー]を選択し、上下左右ボタンで選択します。
- ☞ [設定] > [コンテンツ再生] > [USBビューアー]

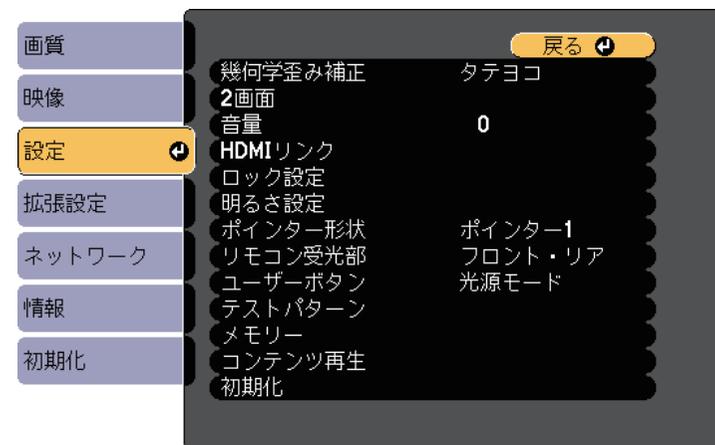
## 映像に効果を加える（エフェクト機能）

コンテンツ再生モードでは、映像の色や形を変えて投写できます。



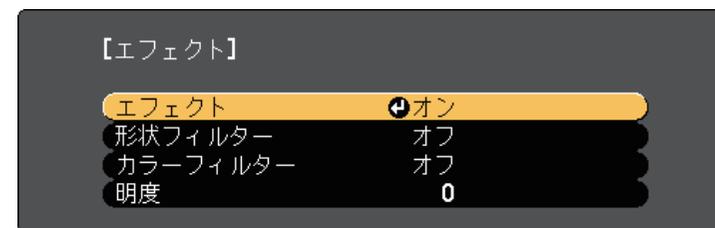
- エフェクト機能を使うときは、[リフレッシュモード]を定期的に実行してください。
- ☞ [初期化] > [リフレッシュモード]

- 1 コンテンツ再生モードが有効な状態で【メニュー】ボタン押し、[設定]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2 [コンテンツ再生] > [エフェクト]の順に選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 [エフェクト]を[オン]に設定し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [形状フィルター]を選択し、【決定】ボタンを押します。

## 5 必要に応じて以下の項目を調整します。

- ・ [形状] : エフェクトの形状を、丸、四角、カスタムから選択します。



Epson Projector Content Managerを使うと、お好きな画像をカスタムに登録できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- ・ [フィルター効果] : 選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするかを選択します。
- ・ [サイズ] : 選択した形状のサイズを設定します。
- ・ [表示位置] : 選択した形状の表示位置を設定します。

## 6 [カラーフィルター] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

## 7 必要に応じて以下の項目を調整します。

- ・ [カラーフィルター] : エフェクトの色を選択します。
- ・ [カスタム] : [赤]、[緑]、[青] をそれぞれ調整します。

## 8 エフェクトの明るさを設定するときは、[明度] を選択します。

## 9 【メニュー】 ボタンを押して終了します。

### ▶ 関連項目

- ・ 「初期化メニュー」 [p.183](#)

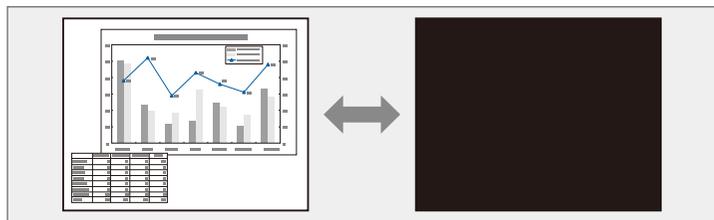
## コンテンツ再生モードの制限事項

### 操作に関する制限事項

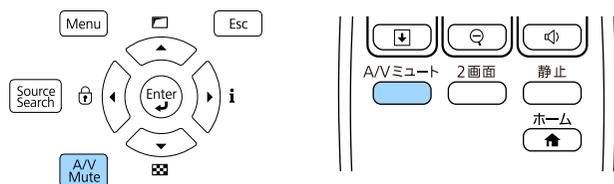
コンテンツ再生モードでは、以下の操作や設定の変更はできません。

- ・ 色温度 ( [カラーフィルター] で [ウォームホワイト]、または [クールホワイト] が選択されているとき)
- ・ ブランキング
- ・ 2画面
- ・ 背景表示
- ・ スクリーン設定
- ・ 自動入力検出
- ・ Remoteパスワード
- ・ PC Free
- ・ 書画カメラ

プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできません。



- 1 操作パネルまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押します。



光源が消灯して、映像と音声遮断されます。

- 2 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。



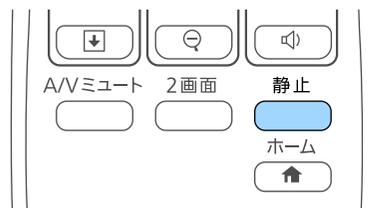
- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は以下の設定で無効にできます。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [A/Vミュート設定] > [A/Vミュートタイマー]
- [拡張設定] メニューで [A/Vミュート解除] を [A/Vミュート] に設定すると、A/Vミュートを実行したまま本機を操作できます。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [A/Vミュート設定] > [A/Vミュート解除]

## ▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 p.163

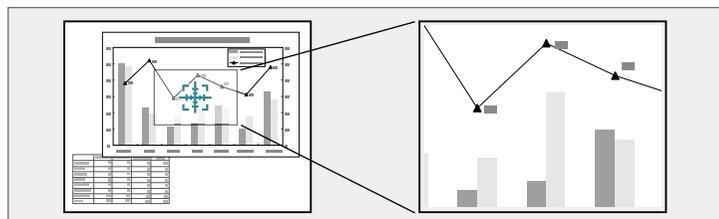
動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

映像の一部をズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます。



【映像】メニューの【表示倍率】をオンに設定しているときは、この機能は使用できません。

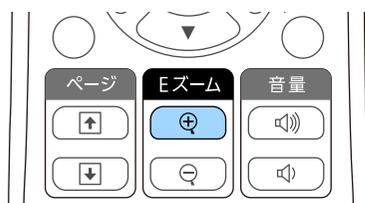
- ・ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ・ズームアウト：【Eズーム】 (-) ボタンを押します。
- ・ズーム解除：【戻る】ボタンを押します。

拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。

1～4倍まで、25段階で拡大できます。

エプソン製書画カメラをUSBで接続して、カメラから読み込んだ映像を投写しているときは、1～8倍まで、57段階で拡大できます。

## 1 リモコンの【Eズーム】 (+) ボタンを押します。

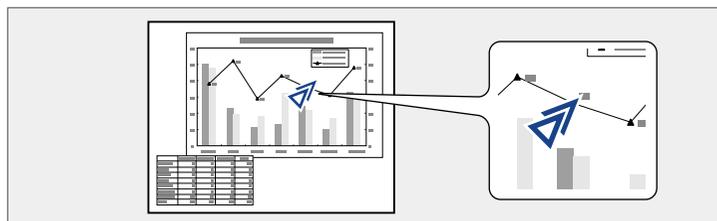


ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

## 2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。

- ・十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、十字カーソルを斜めに移動できます。
- ・ズームイン：【Eズーム】 (+) ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム】 (+) ボタンを長押しします。

本機のリモコンをポインターとして使用して、画面上の重要な情報に注目させることができます。ポインターの形状は、初期設定では矢印に設定されています。ポインターの形状は、[設定]メニューの[ポインター形状]で変更できます。

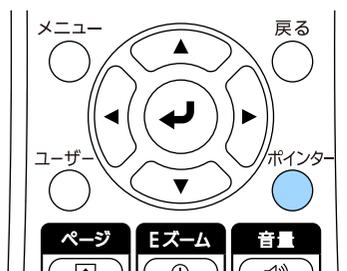


**3** ポインターを消すときは、【戻る】ボタンを押します。

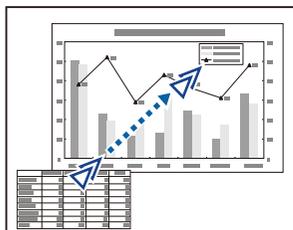
▶ 関連項目

・「設定メニュー」 p.160

**1** リモコンの【ポインター】ボタンを押します。



**2** 上下左右ボタンでポインターを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、ポインターを斜めに移動できます。



プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。この画像は、入力信号が未検出のときにも表示できます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

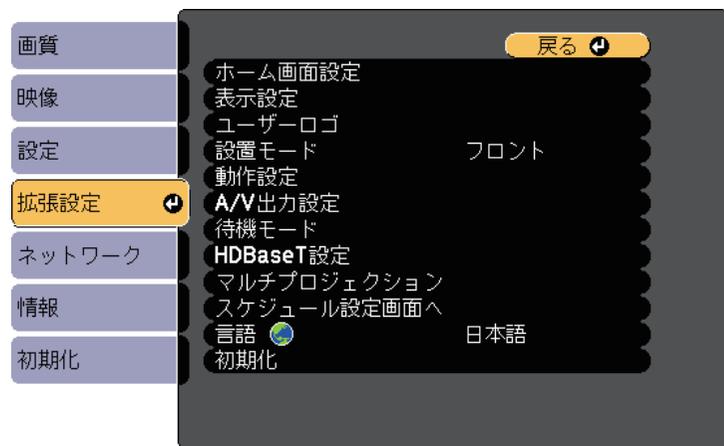
写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。



- ・ [パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしているときは、 [オフ] にしてからユーザーロゴを設定してください。
- ・ 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

**1** ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

**2** 【メニュー】 ボタンを押し、 [拡張設定] を選択して、【決定】 ボタンを押します。



**3** [ユーザーロゴ] > [設定開始] の順に選択し、【決定】 ボタンを押します。

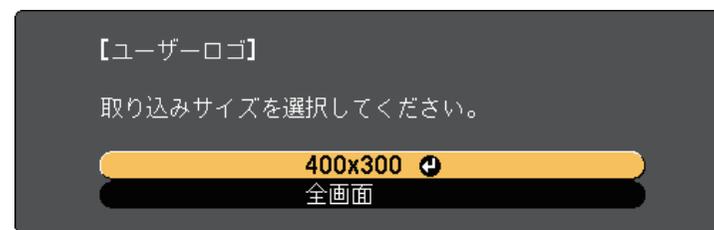
確認画面が表示されます。



[ユーザーロゴ] を選択すると、幾何学歪み補正、Eズーム、アスペクト、表示倍率、スクリーンタイプなどの設定が、一時的に無効になります。

**4** [はい] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

サイズ選択画面が表示されます。



**5** 画像全体をユーザーロゴとして設定するときは、 [全画面] を選択し、【決定】 ボタンを押します。 [はい] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

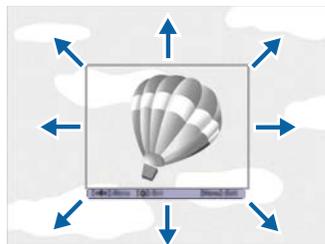


HDMI端子からHDCP技術で保護された映像を投写しているときは、画面全体をユーザーロゴとして設定できません。

**6** 画像の一部をユーザーロゴとして設定するときは、 [400x300] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

投写している画像上に選択枠が表示されます。

- 7** 上下左右ボタンを押し、切り取りたい範囲に選択枠を移動して、【決定】ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

- 8** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。（選択範囲を変更するときには、[いいえ] を選択し、【決定】ボタンを押します）。

ユーザーロゴの表示倍率設定画面が表示されます。

- 9** 表示倍率を選択し、【決定】ボタンを押します。[はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。

ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

- 10** 【戻る】ボタンを押して、メッセージを閉じます。

- 11** [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 12** [表示設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 13** ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。

- ・ 入力信号を未検出のときに表示する： [背景表示] を [ロゴ] に設定します。

☛ [拡張設定] > [表示設定] > [背景表示]

- ・ 本機の電源投入時に表示する： [スタートアップスクリーン] を [オン] に設定します。

☛ [拡張設定] > [表示設定] > [スタートアップスクリーン]

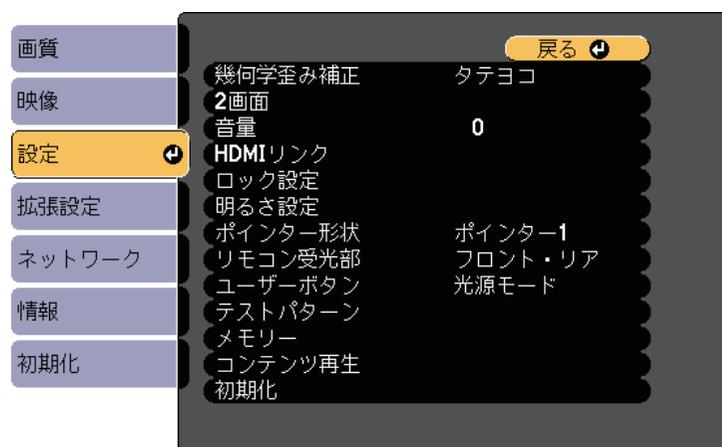
ユーザーロゴが自由に変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしてパスワードを設定してください。

## ▶ 関連項目

- ・ 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.102](#)

投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、【設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 3 【メモリー】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4 次のいずれかを選択します。

- ・ 【メモリー呼出】：登録したメモリーを呼び出し、現在の設定と置き換えます。



以下の設定を登録できます。

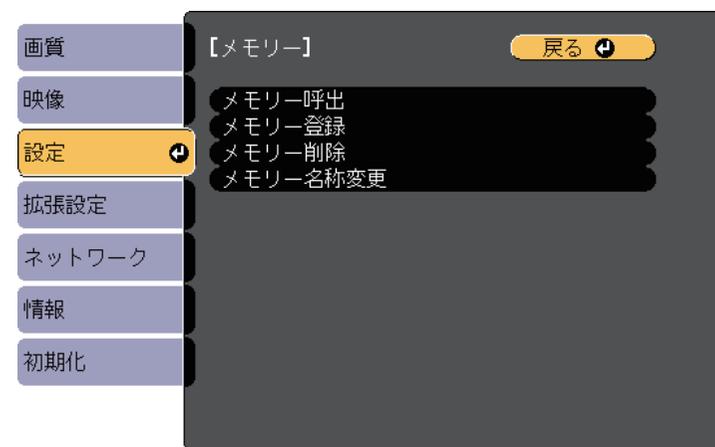
- ・ 【画質】メニュー
- ・ 【拡張設定】の【カラーマッチング】

- ・ 【メモリー登録】：現在の設定をメモリーに登録します（10件まで登録できます）。



すでに登録済みのメモリー名は青いマークで表示されます。登録済みのメモリー名を選択したときは、登録内容を消去し、現在の設定と置き換えます。

- ・ 【メモリー削除】：選択したメモリーを消去します。
- ・ 【メモリー名称変更】：メモリー名を変更します。

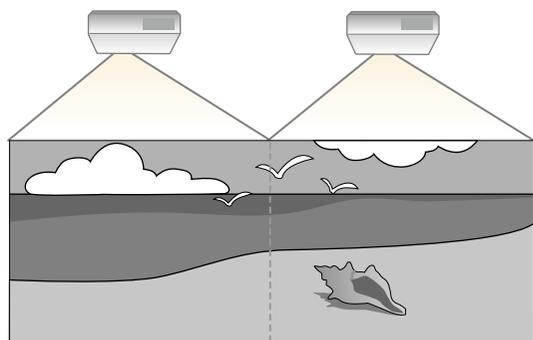


- 5 【メニュー】ボタン、または【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



- ・ メモリー登録時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示されます。
- ・ 登録されたメモリーをすべて消去するには、【初期化】メニューの【メモリー初期化】を選択します。

複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写できます（マルチプロジェクション機能）。



- ・事前に、すべてのプロジェクターで同じカラーモードを選択しておく必要があります。
  - [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [カラーモード]

## ▶ 関連項目

- ・「プロジェクターのID設定」 [p.92](#)
- ・「カラーマッチングを調整する」 [p.94](#)
- ・「ユニフォーミティーを調整する」 [p.95](#)
- ・「RGBCMYを調整する」 [p.97](#)
- ・「映像を切り出して表示する」 [p.98](#)



- ・補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- ・時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

## ▶ 関連項目

- ・「プロジェクターにIDを設定する」 [p.92](#)
- ・「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.93](#)

## プロジェクターにIDを設定する

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意的IDを指定します。

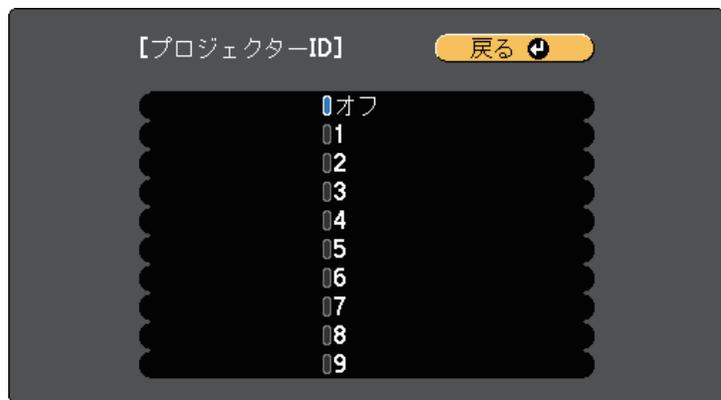
- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2** [マルチプロジェクション] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** [プロジェクターID] を選択し、【決定】ボタンを押します。

## プロジェクターのID設定

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで補正するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明るさと色合いを補正します。

- 4** 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。その後、【決定】ボタンを押します。

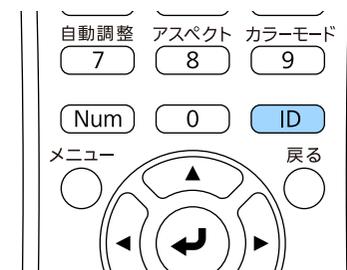


 エプソン製の高機能リモコンをお使いの場合は、[リモコン種類] を [高機能] に設定します。プロジェクターIDを選択し、[設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。

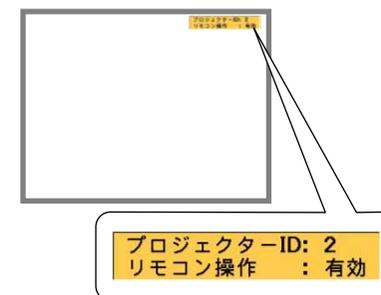
☞ [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] > [リモコン種類]

- 5** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。
- 6** リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

- 1** 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



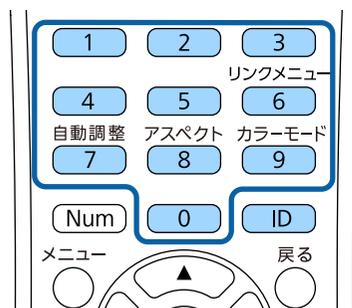
プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



## 操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

- 2** 【ID】 ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

- 3** 【ID】 ボタンを押して、IDの設定を確認します。

以下が表示されます。

- ・リモコン操作：[有効] と表示：現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- ・リモコン操作：[無効] と表示：リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。



- ・IDを0に設定したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ・プロジェクターの電源を入れなおしたときは、再度リモコンでプロジェクターIDを選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。
- ・エプソン製の高機能リモコンをお使いの場合は、電源を入れなおしても、リモコンでプロジェクターIDを選択しなおす必要はありません。プロジェクターIDはリモコンに登録されています。
- ・[プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。

## カラーマッチングを調整する

本機を複数台並べて投写するときの、それぞれの映像の色合いを合わせます。

すべてのプロジェクターの電源を入れ、[拡張設定] メニューの [カラーマッチング] をプロジェクターごとに調整します。投写画面全体の色味と明るさが均一になるように調整します。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [マルチプロジェクション] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** [カラーマッチング] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4** [調整レベル] を選択します。

白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。



- 5** [赤]、[緑]、[青] を選択し、それぞれの色味を調整します。

- 6** [明るさ] を選択し、明るさを調整します。

- 7** 手順4に戻り、それぞれのレベルで調整します。

- 8** 【戻る】ボタンを押して、前の画面に戻ります。

## ユニフォーミティーを調整する

各プロジェクターの投写画面に色むらがあるときは、[拡張設定] メニューのユニフォーミティーで画面全体の色味を補正します。



- ユニフォーミティーを調整後も、色味が均一にならない場合があります。
- カラーモードを [ダイナミック] に設定しているときは、この機能は使用できません。  
 ● [画質] > [カラーモード]

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [マルチプロジェクション] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** [ユニフォーミティー] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4** [ユニフォーミティー] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** [オン] を選択し、【決定】ボタンを押します。その後、【戻る】ボタンを押します。

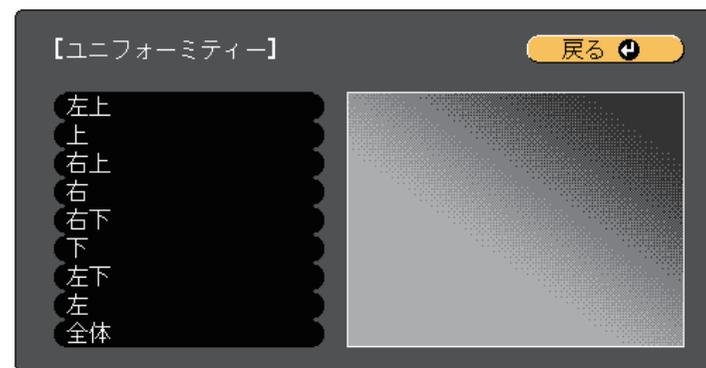
- 6** [調整レベル] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 7** レベルを調整し、【戻る】ボタンを押します。



- 8** [調整開始] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 9** 調整するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。



最初に画面の周囲を調整します。最後に [全体] を選択し、画面全体を調整します。

- 10** 調整する色（[赤]、[緑]、[青]）を選択し、左ボタンで色味を弱く、右ボタンで色味を強くします。

 調整画面は、【決定】ボタンを押すたびに更新されます。



- 11** 【戻る】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

**12** この手順を繰り返して、すべてのエリアを調整します。

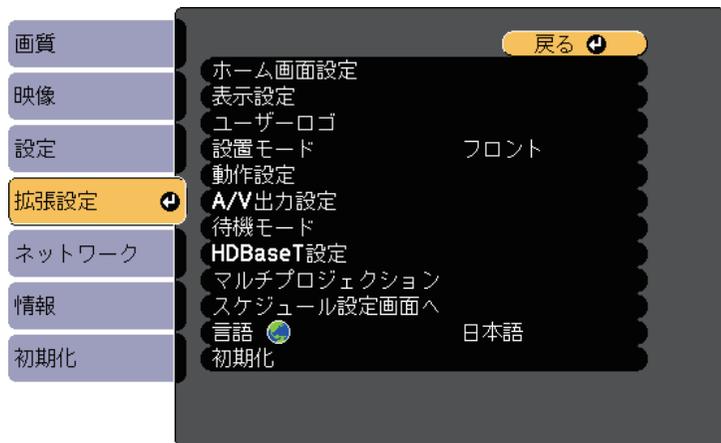
**13** 【戻る】ボタンを押して、前の画面に戻ります。

## RGBCMYを調整する

R（赤）、G（緑）、B（青）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）の各色について、【色相】、【彩度】、【明度】を調整します。

すべてのプロジェクターの電源を入れ、【拡張設定】メニューの【RGBCMY】をプロジェクターごとに調整します。投写画面全体の色調が均一になるように調整します。

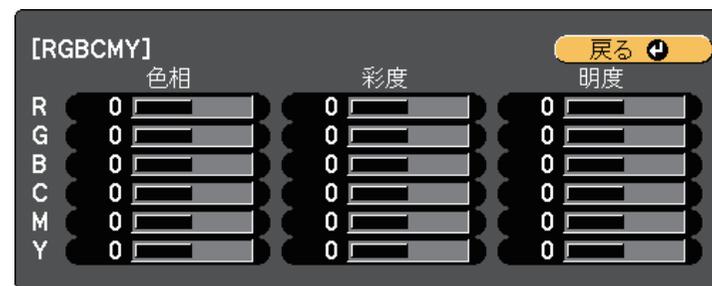
**1** 【メニュー】ボタンを押し、【拡張設定】を選択して、【決定】ボタンを押します。



**2** 【マルチプロジェクション】を選択し、【決定】ボタンを押します。

**3** 【RGBCMY】を選択し、【決定】ボタンを押します。

**4** 調整する色を選択し、【決定】ボタンを押します。



**5** 必要に応じて以下を調整します。

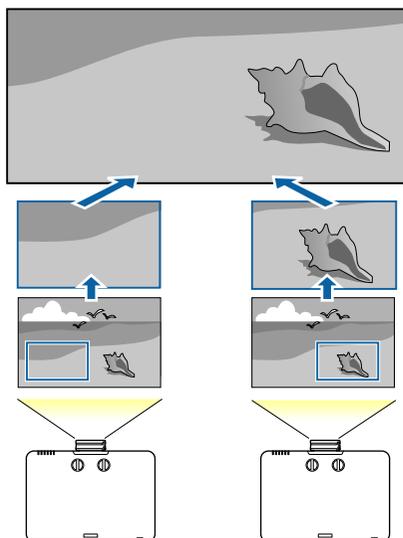
- ・【色相】：映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
- ・【彩度】：映像全体の鮮やかさを調整します。
- ・【明度】：映像全体の明るさを調整します。



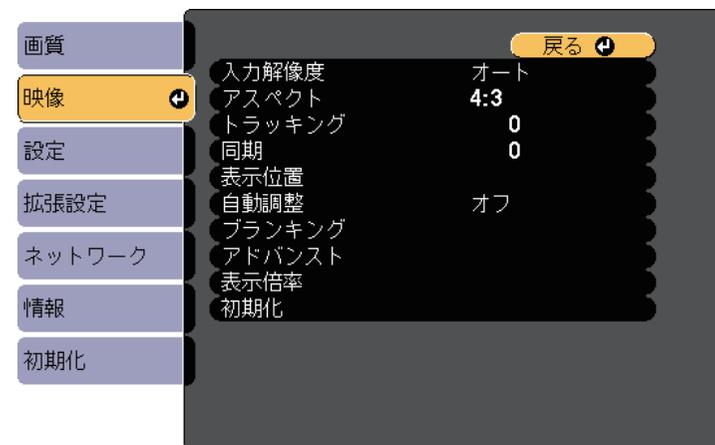
**6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

## 映像を切り出して表示する

投写中の映像を部分的に切り出して表示します。他のプロジェクターの投写映像と合わせて、ひとつの大きな映像を作ります。



- 1 【メニュー】ボタンを押し、[映像] を選択して、【決定】ボタンを押します。



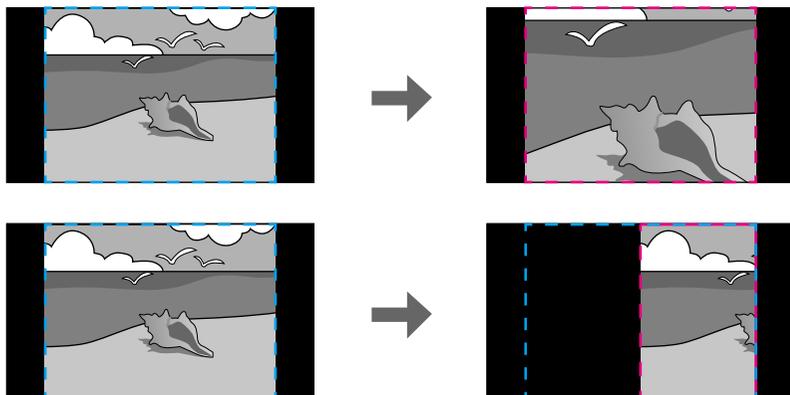
- 2 [表示倍率] を選択し、【決定】ボタンを押します。  
次の画面が表示されます。



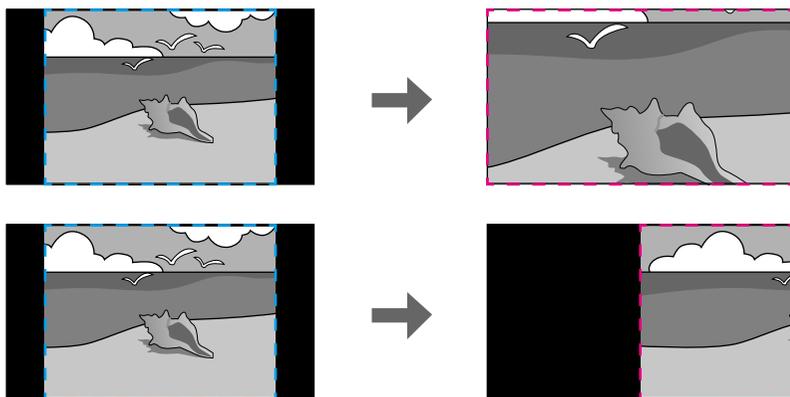
- 3 [表示倍率] を [オン] に設定します。

**4** [表示倍率モード] を選択し、以下のいずれかを選択します。

- ・ [ズーム表示] : 表示中の映像のアスペクト比を維持して、映像を切り出します。



- ・ [フル表示] : プロジェクターのパネルサイズを基準にして、映像を切り出します。



**5** 必要に応じて以下の設定をします。

- ・ -/+ : 水平方向、垂直方向同時に映像を拡大/縮小します。

- ・ [タテ倍率] : 垂直方向に映像を拡大/縮小します。
- ・ [ヨコ倍率] : 水平方向に映像を拡大/縮小します。

**6** [切り出し調整] を選択し、上下左右ボタンを使って映像の座標と範囲を調整します。

**7** [切り出し範囲] を選択し、切り出す範囲を確認します。

**8** 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- **パスワードプロテクト**：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。  
本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- **操作ボタンロック**：操作パネルのボタン操作をできないようにします。  
イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- **セキュリティケーブル**：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

## ▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類」 [p.100](#)
- 「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.103](#)
- 「リモコンのボタン操作を制限する」 [p.104](#)
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.105](#)

## パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のパスワードプロテクトを設定できます。

- **[電源投入時]**：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。ダイレクトパワーオンおよびオートパワーオン機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。

- **[ユーザーロゴ保護]**：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のときに表示されるユーザーロゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。
- **[ネットワーク保護]**：[ネットワーク]メニューの設定を変更できないようにします。
- **[スケジュール保護]**：スケジュール設定を変更できないようにします。
- **[Screen Mirroring保護]**：Screen Mirroring設定を変更できないようにします（EB-L615U/EB-L610U）。

## ▶ 関連項目

- 「パスワードを設定する」 [p.100](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.102](#)
- 「パスワードを入力する」 [p.102](#)

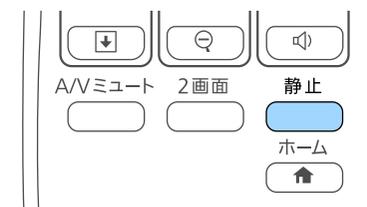
## パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。



パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



すでにパスワードプロテクトが有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** [パスワード設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



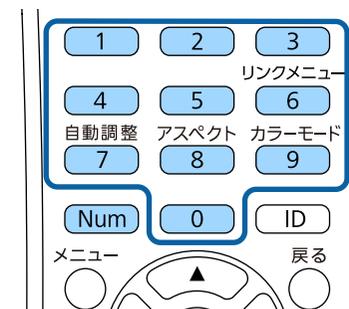
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されま  
す。

- 3** [はい] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



【いいえ】 を選択したときは、パスワードプロテクト設定  
メニューが再度表示されます。

- 4** リモコンの【Num】 ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「\*\*\*\*」と表示されます。4桁目を入力  
すると、確認画面が表示されます。

- 5** パスワードを再入力します。  
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示  
されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表  
示されますのでパスワード設定をやり直してください。
- 6** 【戻る】 ボタンを押してメニューに戻ります。
- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

## パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- ・プロジェクターの無断使用を防止したいときは、【電源投入時】を【オン】に設定します。
- ・ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、【ユーザーロゴ保護】を【オン】に設定します。
- ・ネットワーク設定の変更を防止したいときは、【ネットワーク保護】を【オン】に設定します。
- ・スケジュール設定の変更を防止したいときは、【スケジュール保護】を【オン】に設定します。
- ・Screen Mirroring設定の変更を防止したいときは、【Screen Mirroring保護】を【オン】に設定します（EB-L615U/EB-L610U）。

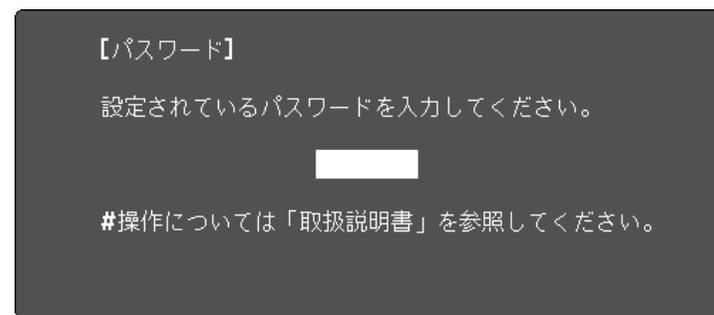
パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



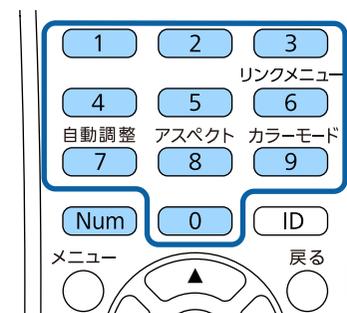
リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

## パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



- 1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

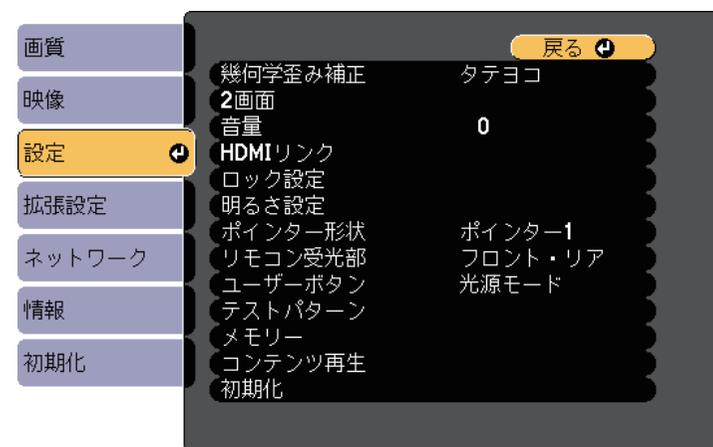
## 注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## 操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[設定]を選択して、【決定】ボタンを押します。



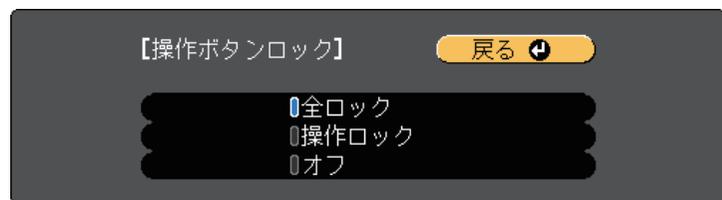
- 2 [ロック設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3 [操作ボタンロック]を選択し、【決定】ボタンを押します。

 操作パネルの左ボタンでも操作ボタンロック画面を表示できます。

- 4 ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。
  - [全ロック]：操作パネルのすべてのボタンをロックします。

- ・ [操作ロック] : 電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。



確認メッセージが表示されます。

- 5 [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。  
[操作ボタンロック] の設定が有効になります。

### ▶ 関連項目

- ・ 「操作ボタンロックを解除する」 [p.104](#)

## 操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- ・ 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- ・ [設定] メニューの [操作ボタンロック] を [オフ] に設定します。

☛ [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]

### ▶ 関連項目

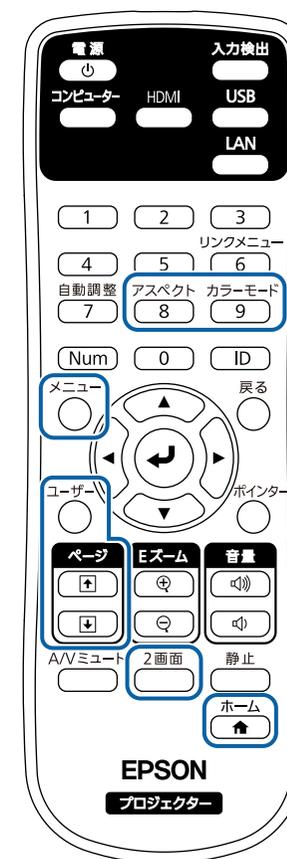
- ・ 「設定メニュー」 [p.160](#)

## リモコンのボタン操作を制限する

リモコンのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。

リモコンの【ホーム】ボタンを約5秒間押します。ロックできるボタンは下図のとおりです。

ロックを解除するときも、【ホーム】ボタンを約5秒間押します。



## セキュリティケーブルを取り付ける

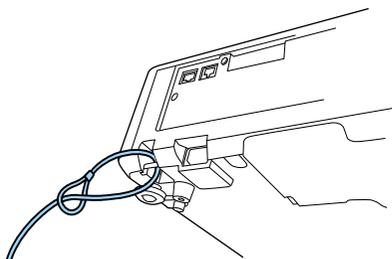
盗難防止のために、セキュリティケーブルを本機に取り付けることができます。

- Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムを本機のセキュリティスロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、<http://www.kensington.com/>をご覧ください。

- ワイヤークーブルを、本機のセキュリティケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



市販の盗難防止用ワイヤーロックを使用できます。ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。

# ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.107](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.110](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.120](#)
- 「セキュアHTTP」 [p.125](#)

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピュータのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROM（同梱されている場合）またはWebサイトから、Epson iProjection (Windows/Mac) をインストールします。

Epson iProjectionを使用すると、コンピュータの映像をネットワーク経由で投写できます。また、ネットワークに接続された複数のコンピュータの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

#### ▶ 関連項目

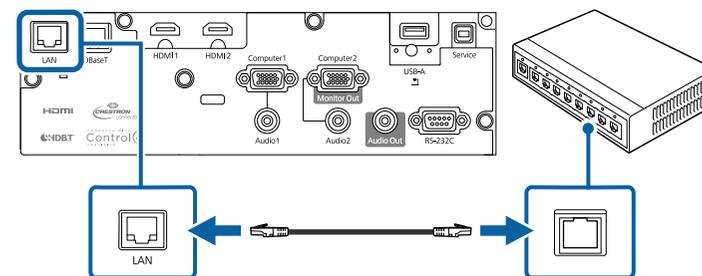
- ・「有線LANに接続する」 [p.107](#)
- ・「有線LANを設定する」 [p.107](#)

## 有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴリ5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1** LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



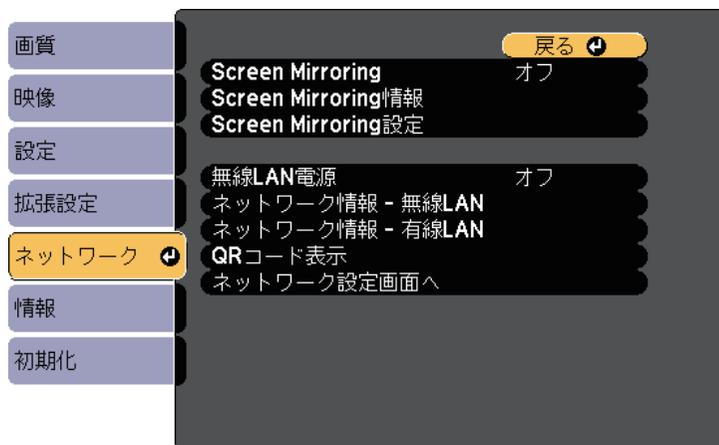
## 有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** [基本設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクター名] : ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [PJLinkパスワード] : PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- [Remoteパスワード] : ベーシックコントロール機能で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONREMOTE]、デフォルトのパスワードは [guest] です。)
- [Web制御パスワード] : Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONWEB]、デフォルトのパスワードは [admin] です。)
- [モデレーターパスワード] : Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [プロジェクターキーワード] : 他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- [キーワード通知] : Epson iProjectionを使って本機に接続するとき、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。
- [LAN情報表示] : 本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。



リモコンの上下左右ボタンを押して、表示されたソフトキーボードで入力する数字を選択します。【決定】ボタンを押して入力します。

- 5** [有線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



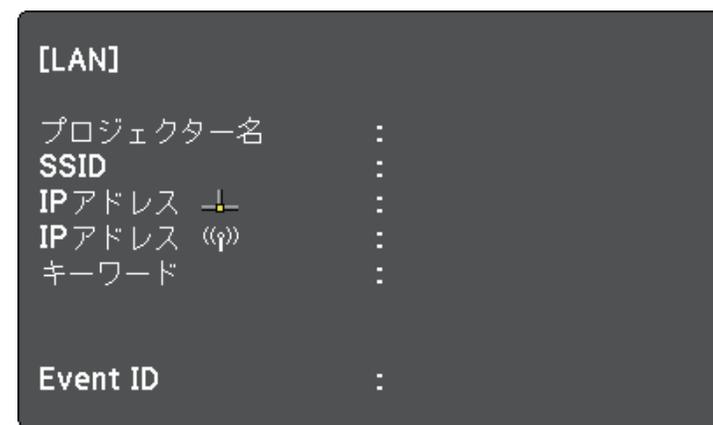
- 6** 必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、[IPv6設定] を選択し、[IPv6] を [オン] にして、[自動構成]、[一時アドレスの使用] を設定します。

- 7** 設定したIPアドレスがLAN待機画面やホーム画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 8** 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

- 9** リモコンの【LAN】ボタンを押します。  
LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットをプロジェクターに取り付けて、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください（EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U）。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です（EB-L615U/EB-L610U）。

[ネットワーク]メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

無線LANユニットの取り付けとプロジェクターのネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROM（同梱されている場合）またはダウンロードしたソフトウェアから、ネットワークソフトウェアをインストールします。無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac)を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。
- Epson iProjection (iOS/Android)を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection (Chromebook)を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

#### ▶ 関連項目

- 「無線LANユニットを取り付ける」 p.110
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 p.111
- 「Windowsで無線LANを設定する」 p.114
- 「Macで無線LANを設定する」 p.114

- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 p.114
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 p.117
- 「USBキーを使って接続する（Windowsのみ）」 p.118

## 無線LANユニットを取り付ける

無線LAN経由でプロジェクターを使用するときは、無線LANユニットを取り付けます（EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U）。エプソン純正の無線LANユニット以外は取り付けないでください。

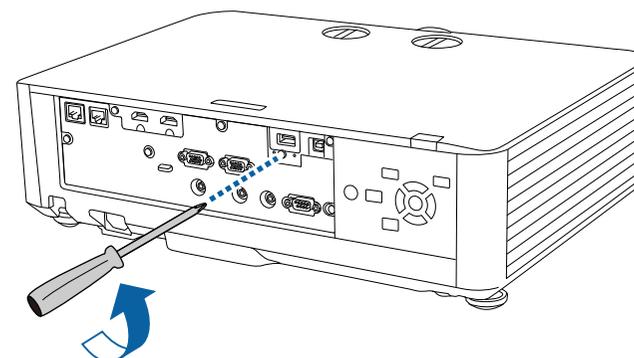
### 注意

無線LANユニットのインジケータが青色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因となります。

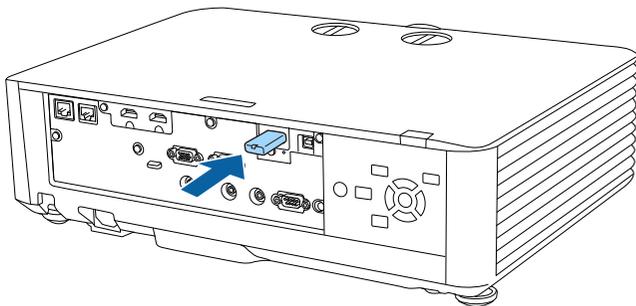


無線LANユニットのインジケータは動作しません。プロジェクターの無線LANインジケータで、無線LANの状態を確認してください。

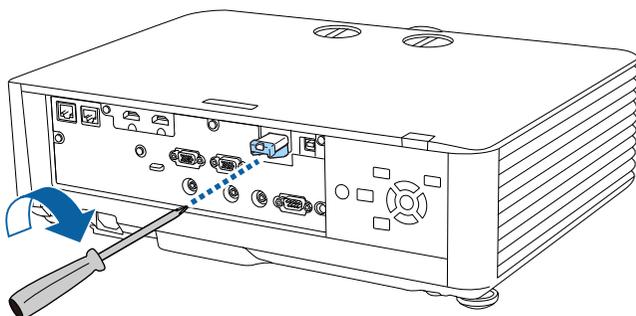
- 無線LANユニットカバーの固定ネジを+のドライバーで外します。



- 2** 本機のUSB-A端子に無線LANユニットを取り付けます。



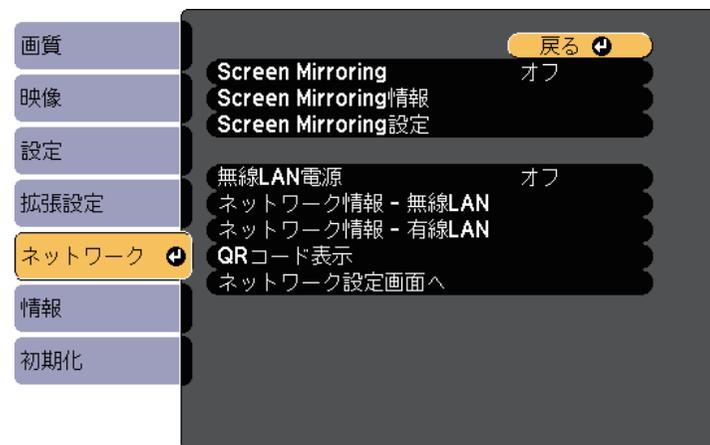
- 3** 無線LANユニットカバーを取り付けて、固定ネジを締めます。



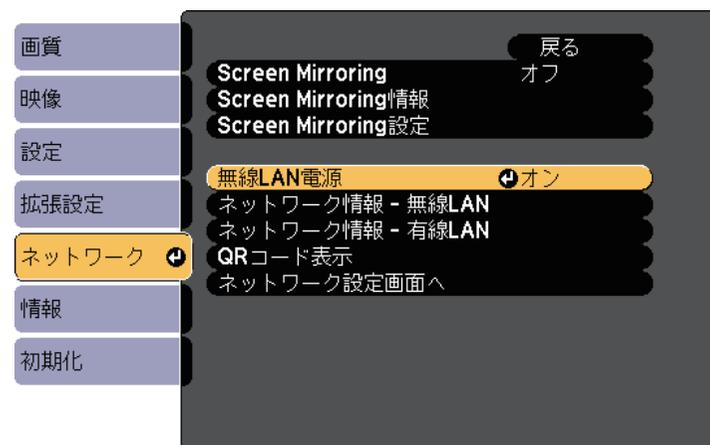
## プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。

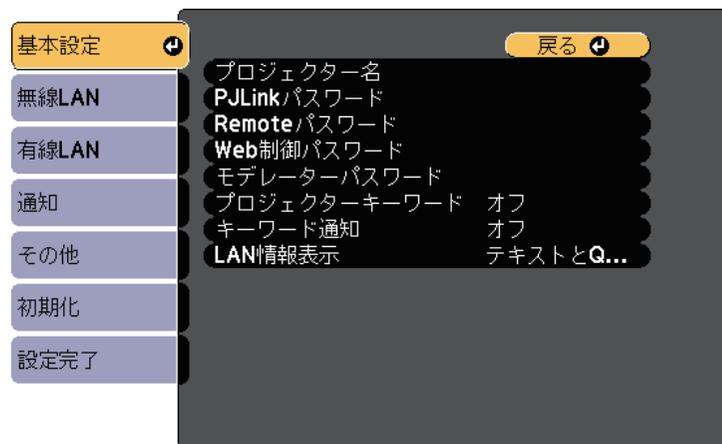


- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。



- 3** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4** [基本設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



- 5** 必要に応じて以下を設定します。

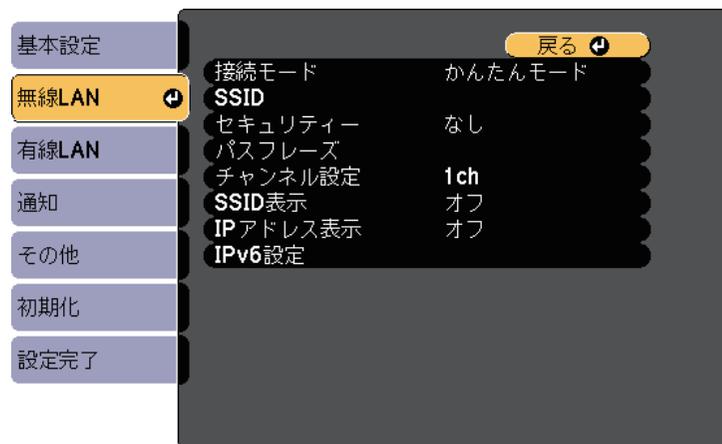
- ・ [プロジェクト名] : ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- ・ [PJLinkパスワード] : PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で32文字以内で入力します。
- ・ [Remoteパスワード] : ベーシックコントロール機能で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONREMOTE]、デフォルトのパスワードは [guest] です。)
- ・ [Web制御パスワード] : Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONWEB]、デフォルトのパスワードは [admin] です。)

- ・ [モデレーターパスワード] : Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- ・ [プロジェクトキーワード] : 他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
- ・ [キーワード通知] : Epson iProjectionを使って本機に接続するときに、投写画面にプロジェクトキーワードを表示するかどうかを設定します。
- ・ [LAN情報表示] : 本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前、パスワード、およびキーワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

- 6 [無線LAN] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



- 7 [接続モード] を選択します。

- [かんたんモード] : スマートフォンやタブレット端末、コンピュータとワイヤレスに直接接続できます。
- [マニュアルモード] : 無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピュータと接続できません。

- 8 [マニュアルモード] を選択した場合は [アクセスポイント検索] を行って、接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは [SSID] を選択して、SSIDを入力します。

- 9 [マニュアルモード] の場合は、必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

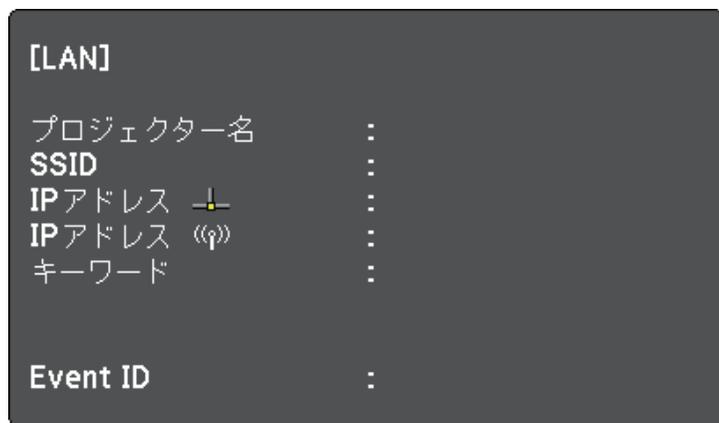
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。
- IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続する場合は、[IPv6設定] を選択し、[IPv6] を [オン] にして、[自動構成]、[一時アドレスの使用] を設定します。

- 10 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面およびホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] または [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 11 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

- 12 リモコンの【LAN】 ボタンを押します。

LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

## Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。
- 3 [接続] をクリックします。

## Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名 (SSID) を選択します。

## 無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティ
- WPA2-EAPセキュリティ \*
- WPA/WPA2-PSKセキュリティ \*
- WPA/WPA2-EAPセキュリティ \*

\* マニュアルモードで接続しているときのみ



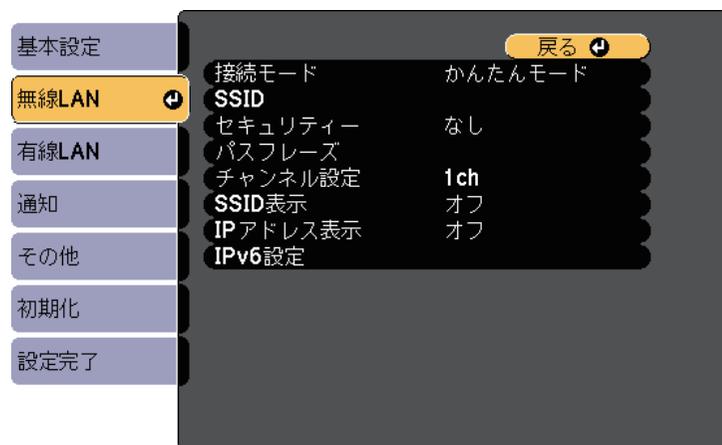
無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 WPA2-EAPまたはWPA/WPA2-EAPセキュリティを設定する場合は、本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。

**2** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。

**3** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

**4** [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



**5** [セキュリティ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

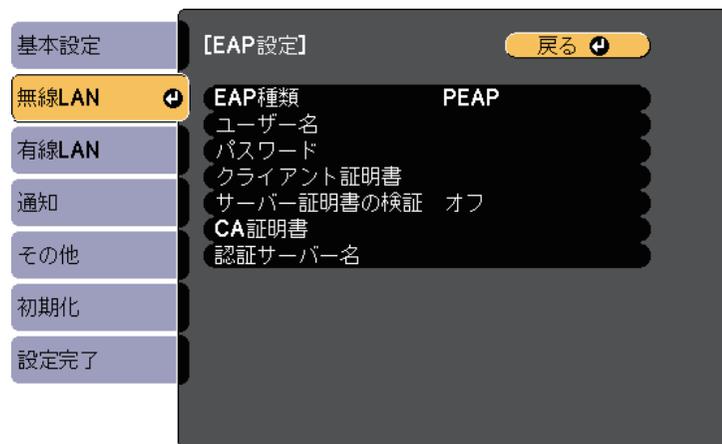


**6** 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。

**7** 選択したセキュリティに応じて、以下のいずれかの操作をします。

- [WPA2-PSK]、[WPA/WPA2-PSK] の場合：[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- [WPA2-EAP]、[WPA/WPA2-EAP] の場合：[EAP設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 8 [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。



- 9 証明書の種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・ [クライアント証明書] : [PEAP-TLS]、[EAP-TLS] 用のクライアント証明書をインストールします。
- ・ [CA証明書] : [PEAP]、[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]、[EAP-FAST] 用のCA証明書をインストールします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 10 [登録] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 11 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

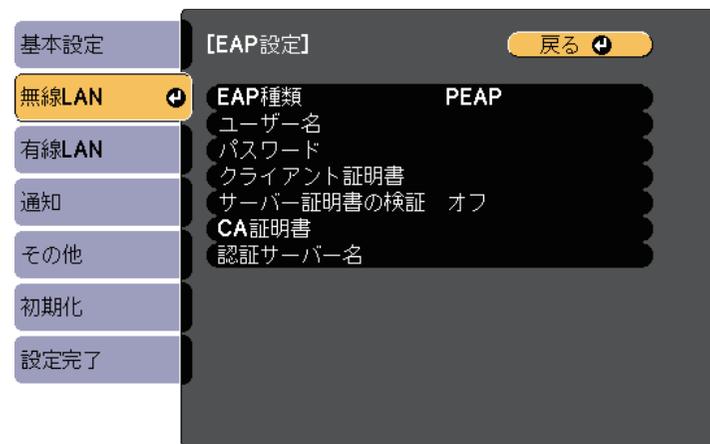
- 12 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

- 13 一覧からインポートする証明書を選択します。  
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 14 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。  
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

- 15 必要に応じてEAPセキュリティーを選択します。

- ・ [ユーザー名] : ユーザー名を入力します。半角英数字64文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
- ・ [パスワード] : [PEAP]、[EAP-FAST]、[LEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字64文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。
- ・ [サーバー証明書の検証] : CA 証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。
- ・ [認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。



- 16** 設定が終わったら、「設定完了」を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

#### ▶ 関連項目

- ・「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 p.117
- ・「ネットワークメニュー-無線LANメニュー」 p.172

### サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

#### クライアント証明書 (PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

#### CA証明書 (PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

\* パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

### QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、LAN待機画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- ・お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください（本機能は、V1.3.0以降のiProjectionでサポートされています）。
- ・Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- ・かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。

- 1** リモコンの【LAN】ボタンを押します。  
QRコードが投写画面に表示されます。



- ・QRコードが表示されないときは、[ネットワーク]メニューで[LAN情報表示]を[テキストとQRコード]に設定します。  
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [LAN情報表示]
- ・QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- ・QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。

- 2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。
- 3 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、から [コンテンツ] メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

## USBキーを使って接続する (Windowsのみ)

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピューターとプロジェクターを簡単に無線接続します。USBキーを使うと、お使いのコンピューターの無線LAN設定を自動で選択し、ワイヤレスに映像を投写できます。

- 1 Epson iProjection (Windows/Mac)でUSBキーを設定します。



詳しくは、『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。

- 2 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられているか確認します。
- 3 プロジェクターの電源を入れます。
- 4 リモコンの【LAN】ボタンを押します。

LAN待機画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。

- 5 次のいずれかの方法でUSBキーを接続します。
  - USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に接続します (EB-L615U/EB-L610U)。
  - 無線LANユニットを取り外して、USBキーを接続します (EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U)。ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが表示されます。
- 6 USBキーを取り外します。  
無線LANユニットを取り外したときは、再度無線LANユニットを取り付けます。
- 7 コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。



Windows Vistaで自動再生ウィンドウが表示された場合は、[MPPLaunch.exeの実行]を選択し、[許可]を選択します。

- 8 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。



- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい]をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の [MPPLaunch.exe] をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

- 9 投写が終了したら、Windowsタスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。



USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

Miracastを搭載したノートPC、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます (EB-L615U/EB-L610U)。

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いのときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- ・ インターレース映像は再生できません。
- ・ 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- ・ 解像度1920×1080、フレームレート30 fpsを超える映像は投写できません。
- ・ 3D映像は再生できません。
- ・ お使いのデバイスによっては、著作権保護されたコンテンツはMiracast接続では再生できないことがあります。
- ・ Screen Mirroringでの投写中にScreen Mirroring設定は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。
  - ☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定]
- ・ Screen Mirroringでの投写中は、電源ブレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。  
デバイスによって、Miracastを搭載していないことがあります。  
お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- ・ 「Screen Mirroringを設定する」 [p.120](#)
- ・ 「Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する」 [p.122](#)

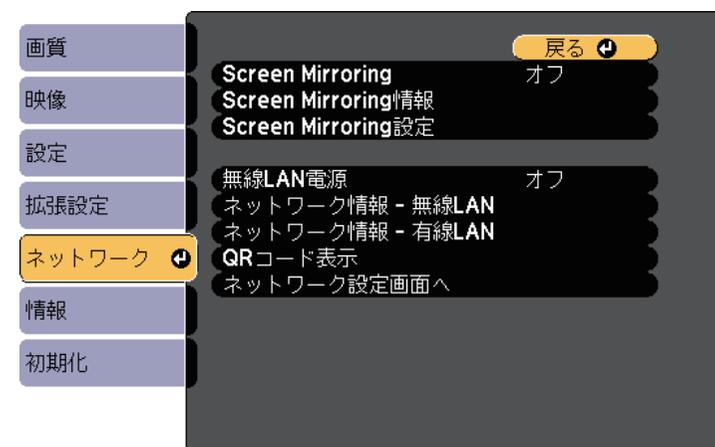
## Screen Mirroringを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターのScreen Mirroring設定を設定します。



パスワードプロテクト画面で [Screen Mirroring保護] をオンにしているときは、事前に [Screen Mirroring保護] をオフにします。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。



**2** [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。



**3** [Screen Mirroring設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



**4** 必要に応じて [ディスプレイ名] を設定します。



**5** [動作モード] を選択します。

- ・ [基本モード] : 基本的な設定で接続します。
- ・ [拡張モード] : 接続の詳細を設定できます。

**6** 必要に応じて [基本設定] を設定します。

- ・ [無線LAN方式] : モバイルデバイスとプロジェクターの通信方式を選択します。
- ・ [パフォーマンス調整] : Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
- ・ [接続モード] : WPS (Wi-Fi Protected Setup) の種類を選択します。[基本モード] を選択したときのみ設定可能です。

**7** [拡張モード] を選択した場合は、[拡張設定] を設定します。

- ・ [会議モード] : 会議の形態に合わせて、接続方法を選択します。Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられるようにするには、[割り込み接続許可] を選択します。Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を

切り替えられないようにするには、[割り込み接続不可] を選択します。

- ・ [チャンネル] : Screen Mirroringで使用する無線チャンネルを選択します。

**8** 必要に応じて [表示設定] を設定します。

- ・ [PINコード通知] : Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示します。
- ・ [端末名通知] : Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、新しく接続した端末名を投写画面に表示します。

**9** 設定が終わったら、[設定] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

**10** リモコンの【ホーム】ボタンを押します。ホーム画面にディスプレイ名が表示されれば設定完了です。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

**4** 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

**5** モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

## Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

**1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。

**2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

**3** モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。

### ▶ 関連項目

- ・ 「Windows 10でScreen Mirroring接続する」 [p.122](#)
- ・ 「Windows 8.1でScreen Mirroring接続する」 [p.123](#)

## Windows 10でScreen Mirroring接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

**1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。

**2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

- 3** コンピューターで [アクションセンター] を表示し、[接続] を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 4** 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



- 5** コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

## Windows 8.1でScreen Mirroring接続する

Windows 8.1のコンピューターをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。
- 2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。  
Screen Mirroring待機画面が表示されます。
- 3** コンピューターでチャームの [デバイス] を選択し、[表示] を選択します。



## 4 [ワイヤレス ディスプレイの追加] を選択します。



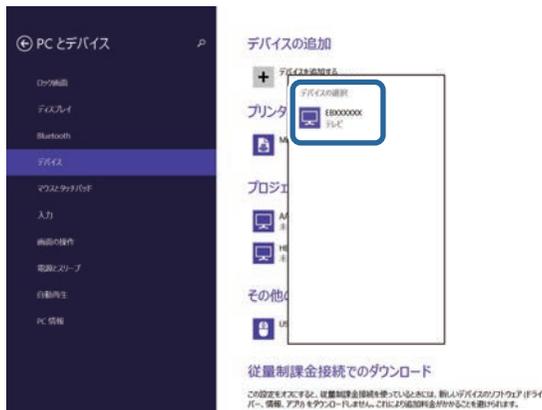
コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

## 5 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



## 6 コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP] 設定をオンにします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

## ▶ 関連項目

- ・「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 p.125

## メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューとUSBメモリーを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリに格納します。
- 2 【メニュー】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】 ボタンを押しします。

- 3 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。

- 4 [その他] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。



- 5 [セキュアHTTP] を [オン] に設定します。
- 6 [Webサーバー証明書] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。
- 7 [登録] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。
- 8 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。
- 9 【決定】 ボタンを押しして、証明書の一覧を表示します。
- 10 一覧からインポートする証明書を選択します。  
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 11 証明書のパスワードを入力し、【決定】 ボタンを押しします。

証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

▶ 関連項目

- ・「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.126](#)

## サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

### Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

\* パスワードは半角英数字で64文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

# プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management」 [p.128](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.129](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する（コンテンツ再生モード）」 [p.133](#)
- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.138](#)
- 「メールでプロジェクターの異常を通知する」 [p.139](#)
- 「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 [p.141](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.142](#)
- 「PJLinkについて」 [p.144](#)
- 「Crestron Connectedについて」 [p.145](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.150](#)

Epson Projector Managementを使用すると、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態をコンピューターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます（Windowsのみ）。詳しくは、『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。



- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、[マニュアルモード] で接続してください。
- 以下のWebブラウザを使用できます。
  - Internet Explorer 9.0以上 (Windows)
  - Microsoft Edge (Windows)
  - Safari (Mac)
- お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- [待機モード] を [通信オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態 (電源オフ) のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]

Epson Web Control画面が表示されます。



- 1** 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 2** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3** お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 4** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

- 1** 本機をリモート操作します。
- 2** テストパターンを表示します。
- 3** Crestron Connectedの操作画面を表示します。Crestron Connectedを使用しているときのみ有効です。
- 4** 本機の詳細設定をします。
- 5** 本機の状態を表示します。
- 6** 指やマウスで本機のメニューを操作します。

- 5** 操作したい項目を選択します。



- Epson Web Control画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）
- パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Web制御パスワード] で変更できます。  
 ● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]
- 以下の項目は [詳細設定] からのみ設定できます。
  - Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
  - IPv6設定（手動）
  - HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号）

#### ▶ 関連項目

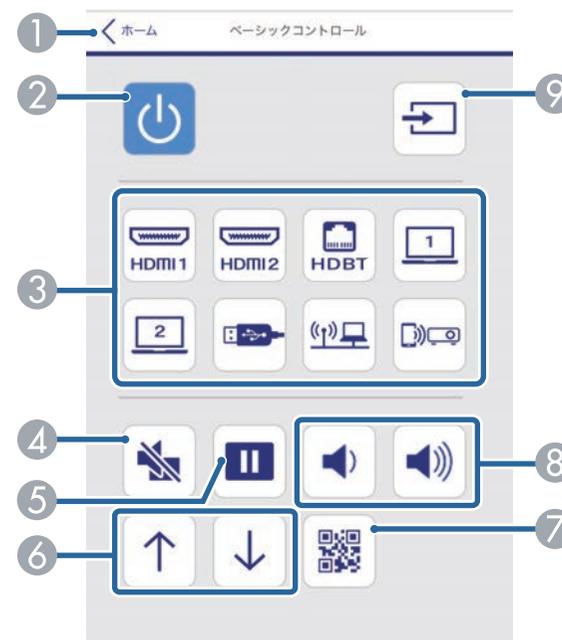
- 「Web Controlのオプション設定」 p.130
- 「拡張設定メニュー」 p.163
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.170

## Web Controlのオプション設定

### ベーシックコントロール



- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONREMOTE**、デフォルトのパスワードは**guest**です。）
- パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Remoteパスワード] で変更できます。  
 ● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Remoteパスワード]

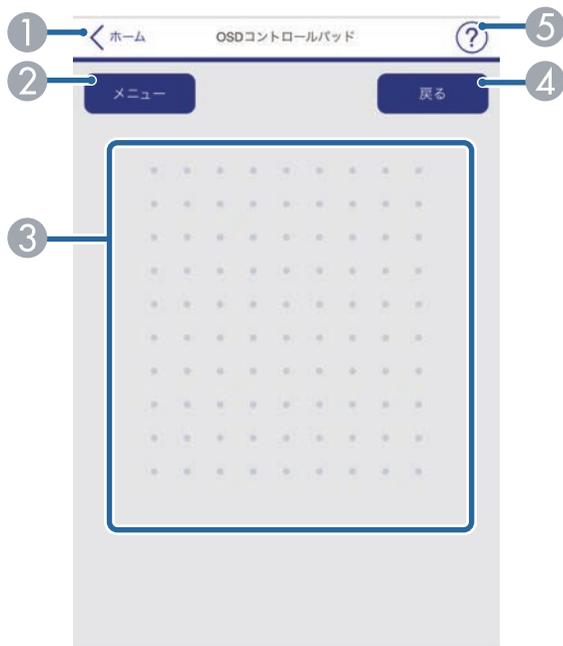


- 1 Epson Web Controlのホーム画面に移動します。

- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ 映像を一時停止します。
- ⑥ ページを移動します。
- ⑦ QRコードを表示します。
- ⑧ スピーカーの音量を調整します。
- ⑨ 映像の入力を検出します。

- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑤ ヘルプを表示します。

## OSDコントロールパッド

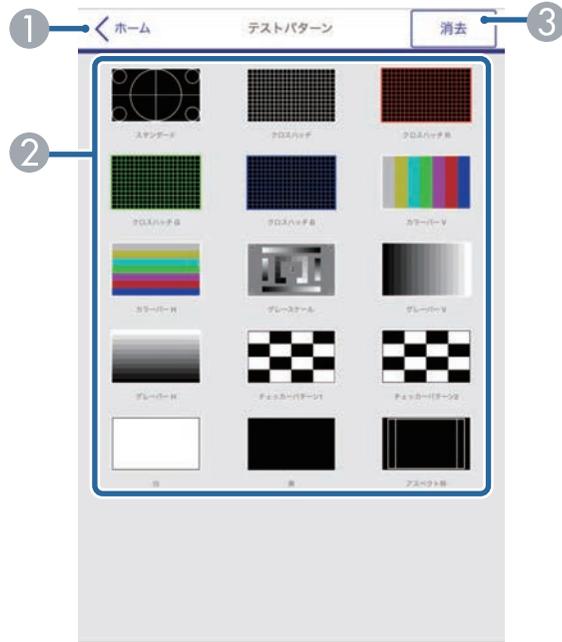


以下の項目はWebブラウザでは変更できません。

- HDMIリンク
- ポインター形状
- ユーザーボタン
- テストパターン
- メッセージ表示位置
- ユーザーロゴ
- 言語
- HDBaseT信号レベル
- コンテンツ再生

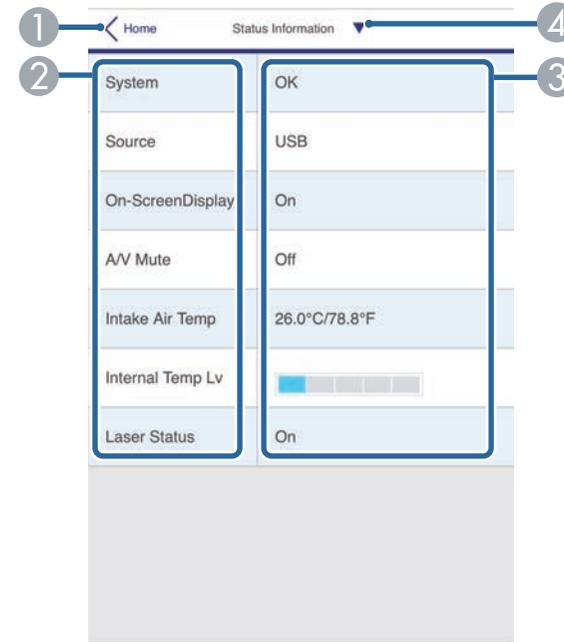
- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。

## テストパターン



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
- ③ テストパターンの表示を終了します。

## ステータス情報



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 項目名を表示します。
- ③ 各項目の状態を表示します。
- ④ その他の項目を選択します。

コンテンツ再生モードでは、Webブラウザを使って、ネットワークプロジェクターのメニュー設定と制御、プレイリストの編集ができます。



Epson iProjection (iOS/Android) からも、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御が可能です。

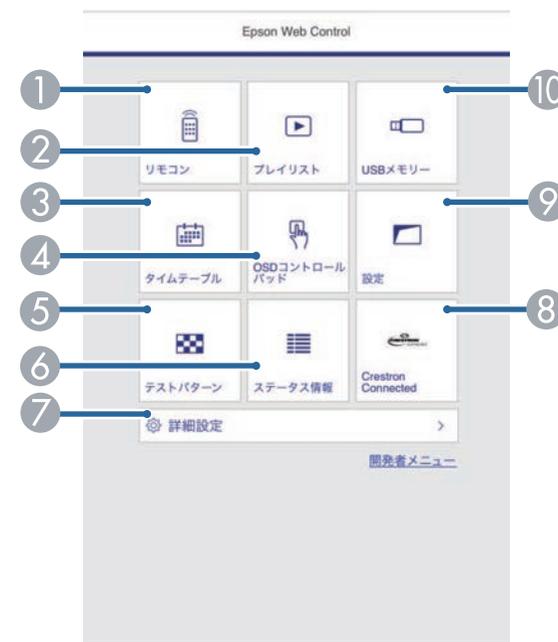
## 注意

以下の場合には、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- ・プレイリスト画面表示中
- ・USBメモリー画面表示中

- 1 本機がコンテンツ再生モードで動作中であることを確認します。
- 2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3 お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

Epson Web Control画面が表示されます。



- 1 本機をリモート操作します。
- 2 コンテンツ再生モードで再生するプレイリストを編集します。
- 3 タイムテーブル画面を表示します。
- 4 指やマウスで本機のメニューを操作します。
- 5 テストパターンを表示します。
- 6 本機の状態を表示します。
- 7 本機の詳細設定をします。
- 8 Crestron Connectedの操作画面を表示します。Crestron Connectedを使用しているときのみ有効です。
- 9 本機の設定をします。

⑩ プレイリスト用の素材データをUSBメモリーに転送します。

## 5 操作したい項目を選択します。



- Epson Web Control画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）
- パスワードは、[ネットワーク]メニューの[Web制御パスワード]で変更できます。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]
- 以下の項目は[詳細設定]からのみ設定できます。
  - Monitorパスワード（半角英数字で16文字以内）
  - IPv6設定（手動）
  - HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号）

### ▶ 関連項目

- 「Web Controlのオプション設定（コンテンツ再生モード）」 p.134
- 「Crestron Connectedについて」 p.145

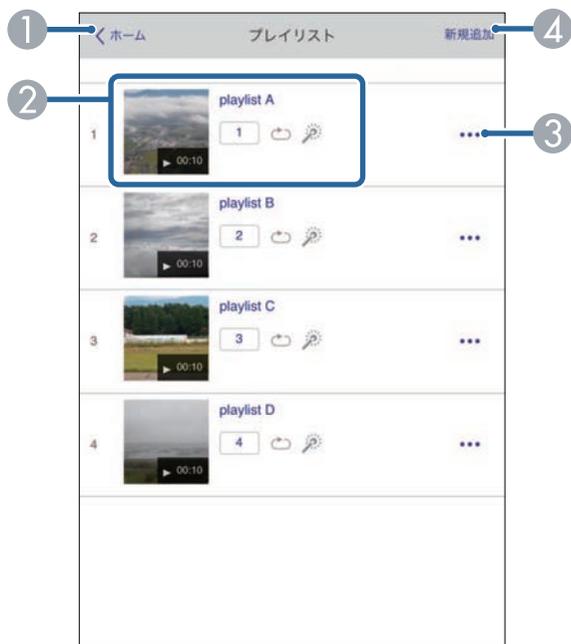
## Web Controlのオプション設定（コンテンツ再生モード）

### リモコン



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ お気に入りのプレイリストを選択します。
- ⑥ [エフェクト] をオン/オフします。
- ⑦ スピーカーの音量を調整します。

## プレイリスト



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② プレイリストを再生します。
- ③ プレイリストを編集します。
- ④ プレイリストを新規作成します。

## USBメモリー



- ① Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- ② プレイリストに追加する写真や動画を、USBメモリーに転送します。
- ③ 写真や動画をUSBメモリーから消去します。

## タイムテーブル

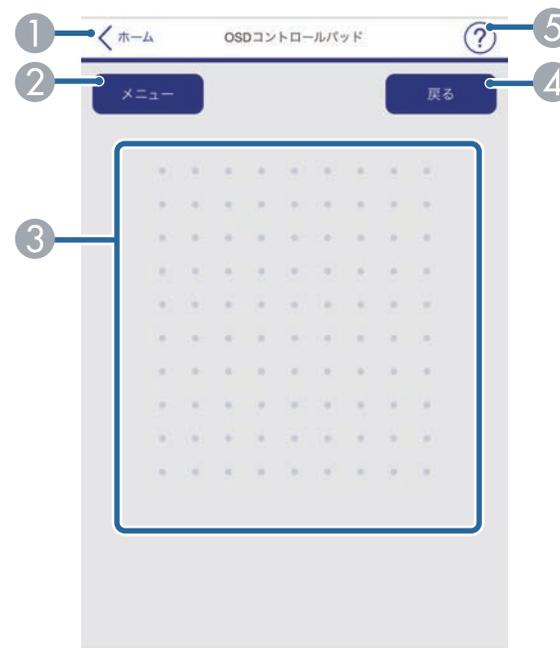


- 1 Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- 2 タイムテーブルをオン/オフします。



Epson Projector Content Manager のタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

## OSDコントロールパッド



- 1 Epson Web Controlのホーム画面に移動します。
- 2 本機のメニューを表示します。
- 3 指やマウスでメニューを操作します。
- 4 前のメニュー項目に戻ります。
- 5 ヘルプを表示します。



以下の項目はWebブラウザーでは変更できません。

- HDMIリンク
- ポインター形状
- ユーザーボタン
- テストパターン
- メッセージ表示位置
- ユーザーロゴ
- 言語
- HDBaseT信号レベル
- コンテンツ再生

セキュリティ設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク]メニューからも行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Webサーバー証明書]



• 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）

• パスワードは、[ネットワーク]メニューの[Web制御パスワード]で変更できます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

- 1 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。  
Epson Web Control画面が表示されます。
- 5 [詳細設定] を選択します。

- 6 [ネットワーク] から [証明書] を選択します。
- 7 登録する証明書を選択します。
- 8 [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 9 設定が終了したら、[確定] をクリックします。

プロジェクトターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

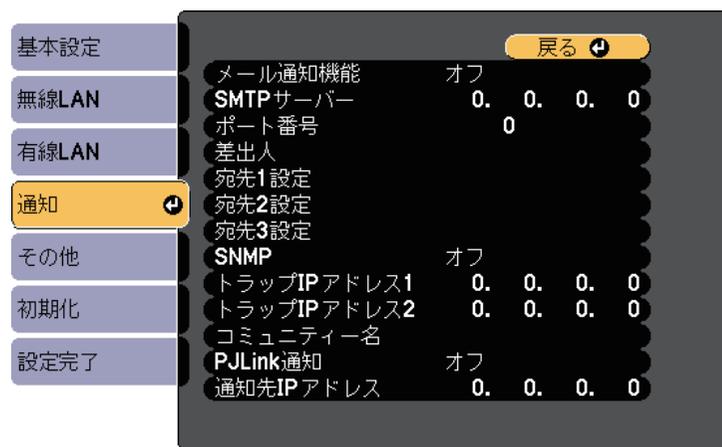
[待機モード] を [通信オン] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、通知メールを送信できます。

☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]

**1** 【メニュー】 ボタンを押し、 [ネットワーク] を選択して、【決定】 ボタンを押しします。

**2** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。

**3** [通知] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。



**4** [メール通知機能] を [オン] に設定します。

**5** [SMTPサーバー] にIPアドレスを入力します。



127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

**6** [ポート番号] にSMTPサーバーのポート番号を0～65535の数で入力します（デフォルトは25）。

**7** 送信者として表示されるメールアドレスを [差出人] に入力します。

**8** 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字で32文字以内で入力します。

**9** 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

## ▶ 関連項目

- ・「異常通知メールの見方」 p.139
- ・「拡張設定メニュー」 p.163

## 異常通知メールの見方

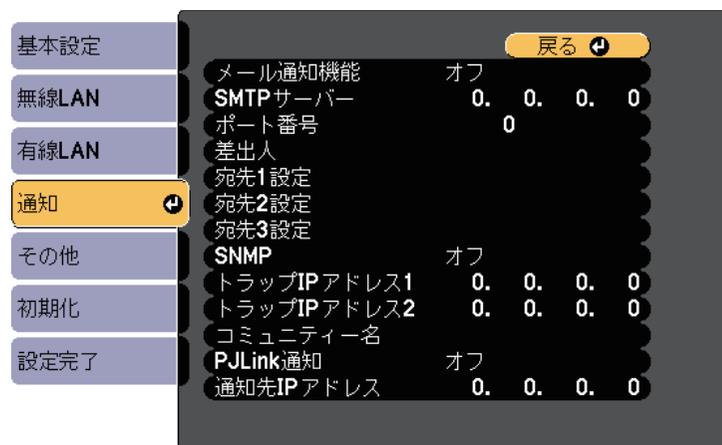
通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- ・メール差出人： [差出人] のメールアドレス

- メール件名： [Epson Projector]
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容

コンピュータにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクトターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [通知]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [SNMP]を[オン]にします。
- 5 トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。



127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0~255の数値）。本機のSNMPエージェントはバージョン1（SNMPv1）に対応しています。

- 6 SNMPの[コミュニティ名]を半角英数字32文字以内で入力します。
- 7 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の説明に従って設定を保存し、メニューを終了します。

ESC/VP21を使用して外部機器から本機を制御できます。

▶ **関連項目**

- ・「ESC/VP21コマンドリスト」 p.142
- ・「ケーブル配線」 p.143

## ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン' (3Ah) を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後'を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に'を返信します。

以下のコマンドを使用できます。

項目	コマンド	
電源のオン/オフ	オン	PWR ON
	オフ	PWR OFF

項目			コマンド
信号切り替え	コンピューター1	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	コンピューター2	オート	SOURCE 2F
		RGB	SOURCE 21
		コンポーネント	SOURCE 24
	HDMI1		SOURCE 30
	HDMI2		SOURCE A0
	USB		SOURCE 52
	LAN		SOURCE 53
Screen Mirroring *		SOURCE 56	
HDBaseT **		SOURCE 80	
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON	
	オフ	MUTE OFF	

\* Screen MirroringはEB-L615U/EB-L610Uでのみ使用できます。

\*\* HDBaseTはEB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610Wでのみ使用できます。

各コマンドの最後に復帰 (CR) コード (0Dh) を追加して送信してください。

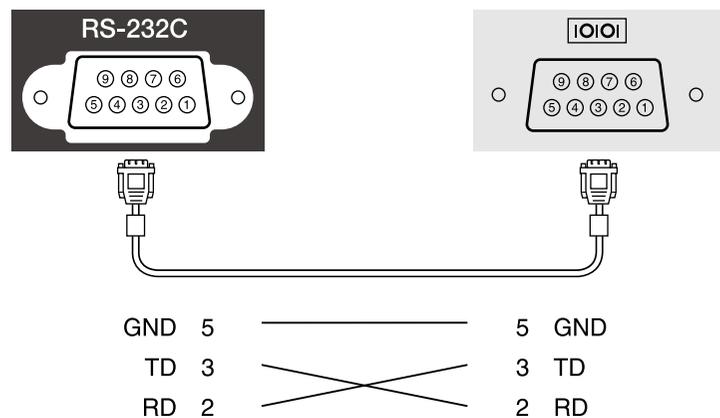
詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## ケーブル配線

### シリアル接続

- ・コネクタ形状：D-Sub 9pin（オス）
- ・プロジェクター入力端子名：RS-232C
- ・ケーブルタイプ：クロスケーブル

以下の図では、左の端子がプロジェクター側、右の端子がコンピューター側を示しています。



- ・パリティ：なし
- ・ストップビット：1bit
- ・フロー制御：なし

信号名	働き
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

### 通信プロトコル

- ・ボーレート基準速度：9600bps
- ・データ長：8bit

JBMIA（社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

このプロジェクターは、JBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要があります。

次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格適合性検証の結果が承認されています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

- ・ 非対応コマンド

働き		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

- ・ 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
コンピューター1	11
コンピューター2	12
HDMI1	32
HDMI2	33
USB	41
LAN	52
HDBaseT *	56

入力端子名称	入力ソース番号
Screen Mirroring **	57

\* HDBaseTはEB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610Wでのみ使用できません。

\*\* Screen MirroringはEB-L615U/EB-L610Uでのみ使用できます。

- ・ 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

#### EPSON

- ・ 「機種情報問合せ」で表示する機種名

- ・ EPSON L615U
- ・ EPSON L610U
- ・ EPSON L510U
- ・ EPSON L610W
- ・ EPSON L400U

#### ▶▶ 関連項目

- ・ 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.106](#)

Crestron Connectedは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron Connectedを使うと、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御や監視ができます。



- Crestron Connectedを使用するときは、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能を使用できません。
- [待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）でもプロジェクターを制御できます。  
☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]

Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

<https://www.crestron.com/products/line/crestron-connected>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron Fusionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/get-roomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

#### ▶ 関連項目

- 「Crestron Connectedを設定する」 p.145
- 「Crestron Connectedを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 p.146
- 「拡張設定メニュー」 p.163

## Crestron Connectedを設定する

Crestron Connectedを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されているこ

とを確認します。無線で接続する場合は、マニュアルモードでネットワークに接続します。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押しします。
- 2 [ネットワーク設定画面へ]を選択し、【決定】ボタンを押しします。
- 3 [その他]を選択し、【決定】ボタンを押しします。



- 4 [Crestron Connected]を[オン]に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。
- 5 設定が終わったら、[設定完了]を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。
- 6 プロジェクターの電源を入れなおして設定を有効にします。

## Crestron Connectedを使ってネットワークプロジェクターを制御する

プロジェクターでCrestron Connectedを使用する設定にすると、Webブラウザを使ってネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。

- 1** ネットワークに接続されているコンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターの**Enter**キーを押します。  
Epson Web Control画面が表示されます。



- 3** [Crestron Connected] を選択します。

次の画面が表示されます。



- 4** 投写する入力ソースを [Sources List] から選択します。上下ボタンをクリックして、入力ソースをスクロールできます。
- 5** 画面上のボタンを操作します。プロジェクターのリモコンボタンと同様の操作ができます。画面の下部にあるボタンは左右にスクロールできます。

ボタンは以下のように動作します。

- [OK] : 【決定】ボタン
- [Menu] : プロジェクターメニューの表示

- 6** プロジェクターの情報を表示するには、[Info] をクリックします。

**7** プロジェクター情報、Crestron Control情報、およびパスワードを変更するには、[Tools] をクリックし、表示された画面で設定してから、[Send] をクリックします。

**8** 設定が終わったら、[Exit] をクリックして画面を閉じます。

▶ 関連項目

- ・「Crestron Connected操作画面」 p.147
- ・「Crestron Connected Tools画面」 p.148

## Crestron Connected操作画面

操作画面を使って、プロジェクターの制御と投写映像の調整ができます。



1	Power	電源をオン/オフします。
	Vol-/Vol+	音量を調整します。
	A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断します。

3	Freeze	映像を一時停止/解除します。
	Contrast	映像のコントラストを調整します。
	Brightness	映像の明るさを調整します。
	Color	映像の色の濃さを調整します。
	Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
	Zoom	投写映像の一部をズームします。上下左右ボタンをクリックすると、ズームされた映像の表示位置を移動できます。
4	上下左右ボタン	リモコンの上下左右ボタンと同じ操作をします。
	OK	リモコンの【決定】ボタンと同じ操作をします。
	Menu	メニュー画面を表示/終了します。
	Auto	Computer1端子またはComputer2端子からアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
	Search	映像信号が入力されている入力ソースの映像に切り替えます。
	Esc	リモコンの【戻る】ボタンと同じ操作をします。
5	Tools	接続しているプロジェクターの設定を変更します。
	Info	接続しているプロジェクターの情報を表示します。
	Help	Help Desk画面が表示されます。Crestron RoomView Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
2	投写する入力ソースを切り替えます。[Sources List] に表示されていない入力ソースを表示するには、(a)、(b) をクリックして上下にスクロールします。映像信号が入力されているソースは青色で表示されず。入力ソース名は任意で変更できます。	

## Crestron Connected Tools画面

Tools画面を使って、接続しているプロジェクターの設定を変更できます。

The screenshot shows the 'EPSON' logo at the top. Below it are four main configuration panels: 'Crestron Control', 'Projector', 'User Password', and 'Admin Password'. Each panel has a 'Send' button. A 'DHCP' section is also present between the Projector and Admin Password panels. At the bottom, there is an 'Exit' button and the 'CRESTRON connected' logo.

① Crestronの集中制御コントローラーを設定します。

②	Projector Name	接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を入力します。(半角英数字16文字以内)
	Location	接続しているプロジェクターの設置場所名を入力します。(半角英数字記号32文字以内)
	Assigned To	プロジェクターのユーザー名を入力します。(半角英数字記号32文字以内)
	DHCP	DHCPを使用するときは選択します。DHCPを有効にしたときは、IPアドレスなどは入力できません。
	IP Address	接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
	Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
	Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
	Send	変更した内容を確定します。
③	Enabled (Admin Password)	Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは選択します。
	New Password	Tools画面を開くときのパスワードを変更するには新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
	Confirm	[New Password] に入力したパスワードを再度入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
	Send	[Admin Password] で変更した内容を確定します。

④	Enabled (User Password)	操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは選択します。
	New Password	操作画面を開くときのパスワードを変更するには新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
	Confirm	[New Password] に入力したパスワードを再度入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
	Send	[User Password] で変更した内容を確定します。

プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時を選択したイベントが自動的に実行されます。

## 警告

燃えやすい物をプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



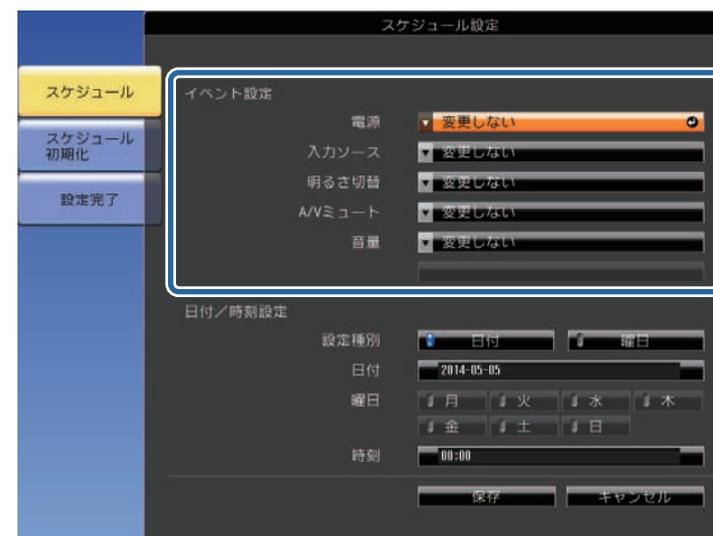
- ・パスワードプロテクト画面で [スケジュール保護] をオンしているときは、事前に [スケジュール保護] をオフにします。
- ・本機を一定モードで24時間以上連続して使用する場合や、常にダイレクトシャットダウンで本機の電源を切る場合は、[光源キャリブレーション] は自動的に開始されません。実行するには、[光源キャリブレーション] をイベントとしてスケジュール設定してください。

- 1 [日付&時刻] メニューで日時を設定します。  
 ● [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[拡張設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 3 [スケジュール設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [スケジュール] を選択し、【決定】ボタンを押します。

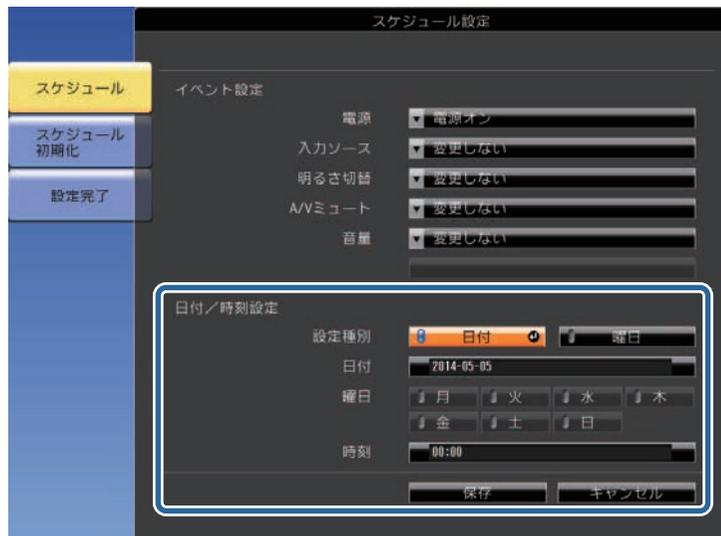
- 5 [新規追加] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6 イベント実行時のプロジェクターの動作内容を設定します。



**7** イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。



登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータスや時刻はアイコンやインジケータで示されます。



**8** [保存] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ① : 有効なイベント
- : 定期的なイベント
- : 無効なイベント
- ② 選択している日付 (黄色で強調表示)
- ③ : 1回限りのイベント
- : 定期的なイベント
- : 通信監視のオン/オフ
- : 無効なイベント

**9** 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、【戻る】ボタンを押します。

- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。
- ・ [有効] / [無効] : 選択したイベントを有効または無効にできます。
  - ・ [編集] : イベントの動作内容または日時を変更できます。
  - ・ [削除] : 登録したイベントを一覧から削除できます。

- 11** [設定完了] を選択して、[はい] を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化] を選択します。

▶ **関連項目**

- ・ 「日時を設定する」 [p.39](#)
- ・ 「パスワードを設定する」 [p.100](#)

# メニューの設定

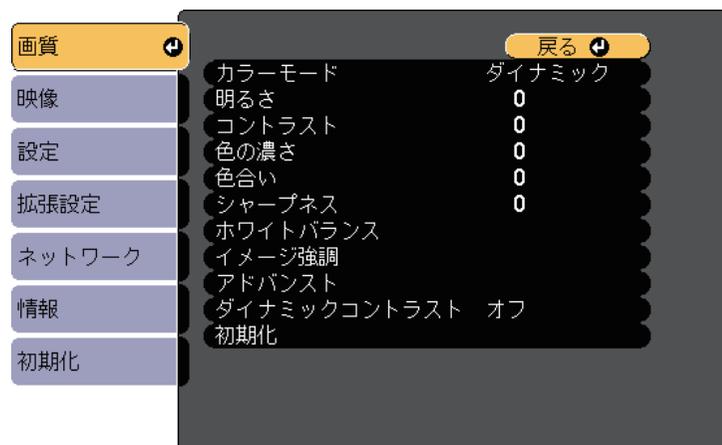
プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

## ▶ 関連項目

- ・ 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.154](#)
- ・ 「ソフトキーボードを操作する」 [p.155](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.156](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・ 「設定メニュー」 [p.160](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・ 「ネットワークメニュー」 [p.168](#)
- ・ 「情報メニュー」 [p.179](#)
- ・ 「初期化メニュー」 [p.183](#)
- ・ 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.185](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。  
[画質] メニューが表示されます。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。



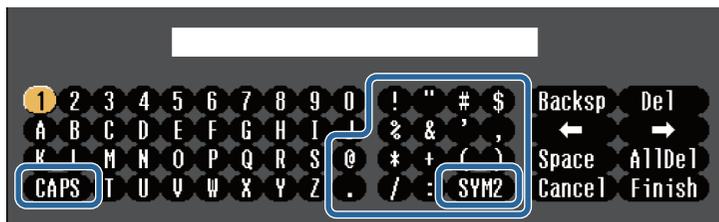
現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 3 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。

- 6 メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、【初期化】を選択します。
- 7 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。
- 8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



【CAPS】キーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。【SYM1/2】キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの【Finish】を選択して入力を確定します。【Cancel】を選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。  
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザを使って入力してください。

## ▶ 関連項目

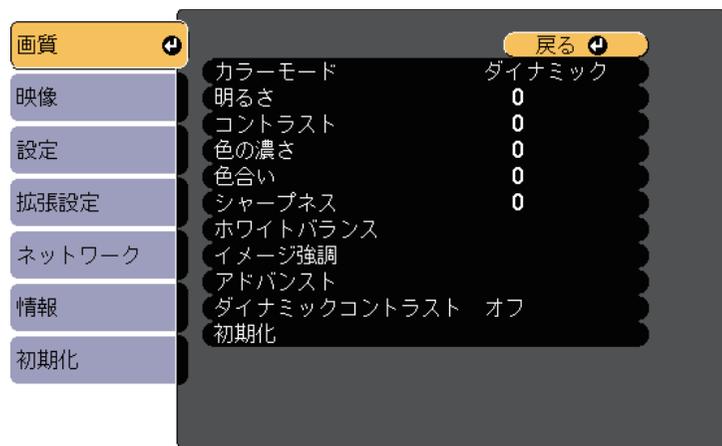
- ・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.155](#)
- ・「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.129](#)

## ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\ ^_`{ }~

〔画質〕メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。
ホワイトバランス		映像全体の色合いを調整します。

設定	選択肢	説明
	色温度	〔色温度〕：選択したカラーモードに応じて設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	G-M補正	〔G-M補正〕：映像の色合いを細かく調整します。値を高くすると緑がかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	カスタム	〔カスタム〕：R (赤)、G (緑)、B (青) の各色ごとにオフセットとゲインを調整します。
イメージ強調		映像全体の鮮やかさを調整します。
	ノイズリダクション	〔ノイズリダクション〕：アナログ映像のざらつきを抑えます。
	MPEGノイズリダクション	〔MPEGノイズリダクション〕：MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
アドバンスト		映像の詳細設定をします。
	ガンマ	〔ガンマ〕：補正値を選んだり、ガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。
	RGBCMY	〔RGBCMY〕：R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) ごとに色相、彩度、明度を調整します。

設定	選択肢	説明
	プログレッシブ変換 (インターレース信号 [480i/576i/1080i]入力時)	[プログレッシブ変換] : インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 ・ [オフ] : 動きの速いビデオ映像に適しています。 ・ [ビデオ] : 一般のビデオ映像に適しています。 ・ [フィルム/オート] : 映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。
ダイナミックコントラスト	オフ 標準 高速	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。 [カラーモード] を [ダイナミック] または [シネマ] に設定しているときに調整できます。
初期化	—	選択されているカラーモードの [画質] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- ・ [明るさ] の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明るさを変更するには、[明るさ設定] を設定します。

☛ [設定] > [明るさ設定]

## ▶ 関連項目

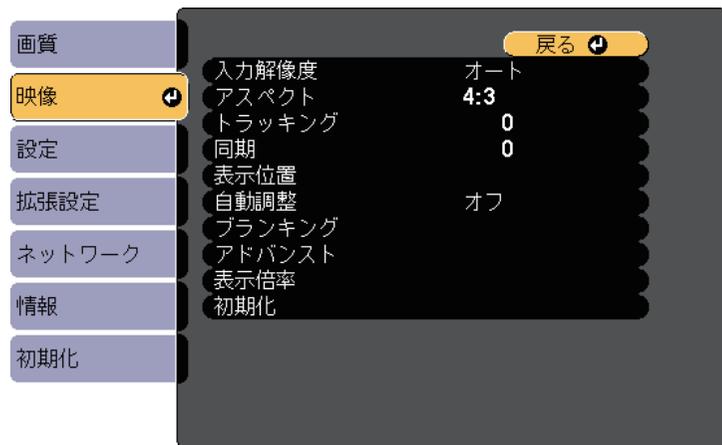
- ・ 「カラーモードの種類」 [p.63](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



以下の入力ソースのときは、[映像]メニューを設定できません。

- USB
- LAN
- Screen Mirroring (EB-L615U/EB-L610U)



リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を初期値に戻すことができます。

設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

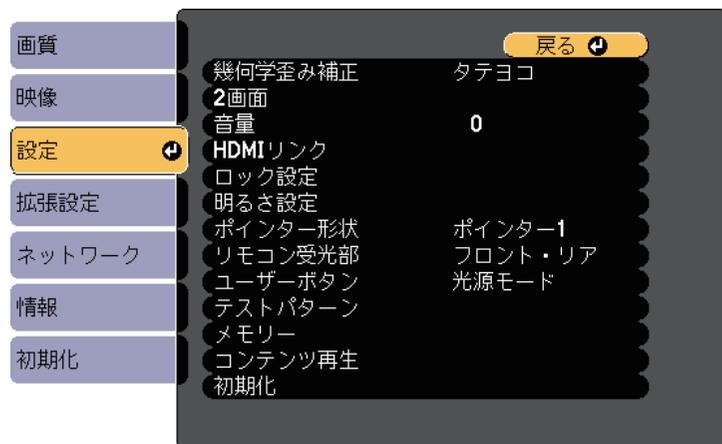
設定	選択肢	説明
入力解像度	オート ワイド ノーマル マニュアル	[オート] に設定しても投写映像が欠けるときは、入力信号の解像度を設定します。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
トラッキング	レベル調整	映像に縦の縞模様が出ないように調整します。
同期	レベル調整	映像にぼやけ、ちらつきが出ないように調整します。
表示位置	—	投写画面内の映像の表示位置を調整します。
自動調整	オン オフ	[オン] にすると、トラッキング、同期、表示位置を最適な状態に自動調整します。
オーバースキャン	オート オフ 4% 8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。
ブランキング	上 下 左 右	設定した領域の映像を非表示にします。
アドバンスト	ビデオレンジ	[ビデオレンジ]：HDMI端子、またはHDBaseT端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。

設定	選択肢	説明
	入力信号方式	[入力信号方式] : コンピューター端子からの映像信号を設定します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [オート] : 映像信号を自動的に検出します。</li><li>• [RGB] : コンピューター/RGBビデオ信号を入力します。</li><li>• [コンポーネント] : コンポーネントビデオ信号を入力します。</li></ul>
	EDID	HDMI映像機器、およびHDBaseT映像機器に通知する本機の解像度情報を設定します。カレントソースの解像度に合わせて、必要に応じて設定を変更してください。
表示倍率	映像の切り出しに関する設定	本機を複数台使用してひとつの映像を投写するときに、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。
初期化	—	[映像] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• [入力信号方式]</li></ul>

**▶ 関連項目**

- 「各アスペクトモードの投写イメージ」 [p.60](#)

[設定] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



設定	選択肢	説明
幾何学歪み補正	タテヨコ	[タテヨコ] : 縦方向、横方向のゆがみを補正します。
	Quick Corner	[Quick Corner] : 投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
	湾曲補正	[湾曲補正] : 曲面に投写した映像のゆがみを補正します。
2画面	—	投写画面を分割し、2つの映像を横に並べて表示します。(【戻る】ボタンを押すと、2画面表示を終了します。)

設定	選択肢	説明
音量	レベル調整	本機のスピーカーの音量を調整します。 また、外部スピーカーの音量も調整できます。 設定した内容は入力ソースごとに保持されます。 [音声出力機器] の設定が [AVアンプ] のときは設定できません。 ☛ [設定] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]
HDMIリンク		HDMIリンクの設定をします。
	接続機器一覧	[接続機器一覧] : HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。
	HDMIリンク	[HDMIリンク] : HDMIリンクの有効/無効を切り替えます。
	音声出力機器	[音声出力機器] : AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを選択します。

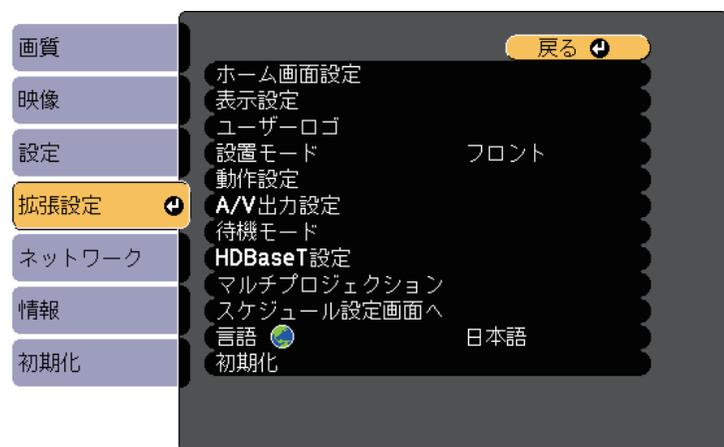
設定	選択肢	説明
	電源オン連動	[電源オン連動] : 本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。 ・ [双方向] : 本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 ・ [接続機器→PJ] : 接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 ・ [PJ→接続機器] : 本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	[電源オフ連動] : 本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。
	リンクバッファ	[リンクバッファ] : HDMIリンクが正しく動作しないときに、設定を変更するとリンク動作が向上することがあります。
ロック設定	操作ボタンロック	操作パネルの操作制限を設定します。 [全ロック] : すべてのボタンをロックします。 [操作ロック] : 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 [オフ] : ボタンをロックしません。
明るさ設定		光源の明るさを選択します。

設定	選択肢	説明
	光源モード	[光源モード] : 光源の明るさを設定します。 ・ [ノーマル] : 明るさを落としたいときに選択します。 ・ [静音] : ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 ・ [ロング] : 光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 ・ [カスタム] : 明るさレベルを設定します。
	明るさレベル	[明るさレベル] : [カスタム] を選択したときに、明るさを設定します。 [光源モード] で [カスタム] を選択したときのみ設定可能です。
	一定モード	[一定モード] : 光源の明るさを一定に保ちます。オンにすると、[光源モード] と [明るさレベル] は変更できなくなります。 [光源モード] で [カスタム] を選択したときのみ設定可能です。
ポインター形状	ポインター1 :  ポインター2 :  ポインター3 : 	ポインター形状を選択します。

設定	選択肢	説明
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ]にすると、リモコンからの操作ができなくなります。
ユーザーボタン	光源モード 情報 テストパターン 入力解像度 QRコード表示 オンスクリーン表示 イメージ強調 コンテンツ再生	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。）
メモリー	メモリー呼出 メモリー登録 メモリー削除 メモリー名称変更	投写映像の設定値をメモリーに登録します。

設定	選択肢	説明
コンテンツ再生	コンテンツ再生	[オン] に設定すると、Epson Projector Content Manager で作成したプレイリストを再生できます。
	エフェクト	映像に色や形の装飾を追加します。 （ [コンテンツ再生] が [オン] に設定されているときのみ有効です。）
	USBビューアー	USBメモリーに保存されているプレイリストを再生します。 （ [コンテンツ再生] が [オン] に設定されているときのみ有効です。）
初期化	—	[設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [音声出力機器]</li> <li>・ [電源オン連動]</li> <li>・ [電源オフ連動]</li> <li>・ [リンクバッファ]</li> <li>・ [ユーザーボタン]</li> <li>・ [メモリー]</li> <li>・ [コンテンツ再生]</li> </ul>

【拡張設定】メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
ホーム画面設定		ホーム画面の表示オプションを選択します。
	ホーム画面自動表示	【ホーム画面自動表示】：本機を起動したとき入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示するかしないかを選択します。
	カスタム機能1 カスタム機能2	【カスタム機能1】 / 【カスタム機能2】：よく使う機能や設定メニューをホーム画面に割り当てます。
表示設定		表示に関する設定をします。
	メニュー表示位置	投写画面でプロジェクターメニューを表示する位置を選択します。
	メッセージ表示位置	投写画面でメッセージを表示する位置を選択します。

設定	選択肢	説明
	メッセージ表示	【メッセージ表示】：【オン】にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。メッセージを表示させたくないときは【オフ】を選択します。
	背景表示	【背景表示】：映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色、またはロゴ表示を選択します。
	スタートアップスクリーン	【スタートアップスクリーン】：【オン】にすると、投写開始時にユーザーロゴ、またはEPSONロゴを表示します。
	エアフィルター清掃通知	エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。
	スクリーン設定	お使いのスクリーンに合わせて画面のアスペクト比や位置を設定します。
	ユニフォーミティ	画面全体の色味のバランスを調整します。
	OSD回転	プロジェクターメニューの表示方向を90°回転させます。
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。

設定	選択肢	説明
動作設定		本機の動作に関する設定をします。
	ダイレクトパワーオン	[ダイレクトパワーオン] : 電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。
	スリープモード	[オン] に設定すると、一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に本機の電源が切れます。
	スリープモード時間	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
	高地モード	[高地モード] : 標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。
	自動入力検出	[自動入力検出] : [オン] にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。 高速起動モードで本機を起動したときは、この機能は無効です。
	オートパワーオン	[オートパワーオン] : 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 以下の入力ソースに対応しています。 ・ HDMI1 ・ コンピューター1
起動時入力設定	本機をコンテンツ再生モードで起動したときに投写する入力ソースを選択します。	

設定	選択肢	説明
	高速起動	[高速起動] : 高速起動モードを維持する時間を設定します。本機の電源を切ると高速起動モードに入ります。高速起動モード中に電源ボタンを押すと、約5秒で投写できます。 高速起動モード中は、待機時消費電力が大きくなります。 事前に [A/V出力] を [投写時] に設定してください。 ● [拡張設定] > [A/V出力設定] > [A/V出力]
	モニター出力端子	[モニター出力端子] : Computer2端子/Monitor Out端子の入出力を切り替えます。外部モニターに映像を出力するときは [モニター出力] を選択します。コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力するときは [コンピューター2] を選択します。
	A/Vミュート設定	A/Vミュートを設定します。 [A/Vミュートタイマー] : オンに設定すると、A/Vミュート実行後30分操作がない場合、自動的に本機の電源が切れます。 [A/Vミュート解除] : [A/Vミュート] に設定すると、【A/Vミュート】ボタンを押したときのみA/Vミュートを解除します。[すべて] に設定すると、操作パネルとリモコンのすべてのボタンでA/Vミュートを解除できます。

設定	選択肢	説明
	アドバンスト	<p>〔リモコン種類〕：本機に同梱のリモコンをお使いのときは〔標準〕を、エプソン製の高機能リモコンをお使いのときは〔高機能〕を選択します。</p> <p>〔確認音〕：オンに設定すると、本機の電源オン/オフ時に確認音が鳴ります。</p> <p>〔インジケータ表示〕：〔オフ〕に設定すると、異常時/警告時以外は、本機のインジケータを消灯します。</p> <p>〔方向ボタン反転〕：本機を天吊り設置するときは、オンに設定します。操作パネルの上下左右ボタンの動作方向を反転させます。</p> <p>〔一括設定範囲〕：一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは〔すべて〕を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは〔一部〕を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔パスワードプロテクト〕設定</li> <li>・〔映像〕メニューの〔EDID〕</li> <li>・〔ネットワーク〕メニュー</li> </ul>
	日付&時刻	<p>〔日付&amp;時刻〕：本機の日付と時刻を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔夏時間設定〕：〔夏時間〕を〔オン〕にすると、夏時間が有効になります。</li> <li>・〔インターネット時刻〕：〔オン〕にすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。</li> </ul>

設定	選択肢	説明
A/V出力設定	A/V出力	<p>音声出力、映像出力に関する設定をします。</p> <p>〔A/V出力〕：〔常時〕に設定すると、本機がスタンバイ状態のときも、外部機器に音声と映像を出力します。</p> <p>（事前に〔高速起動〕を〔オフ〕に設定します。）</p> <p>●〔拡張設定〕 &gt; 〔動作設定〕 &gt; 〔高速起動〕</p>
	音声出力設定	<p>〔音声出力〕：HDMI以外の端子から映像を投写するときに、音声を入力する端子を選択します。</p> <p>〔HDMI1音声出力〕 / 〔HDMI2音声出力〕：HDMI端子から投写するときに、音声を入力する端子を選択します。</p>
待機モード		<p>〔A/V出力〕が〔投写時〕に、〔制御通信〕と〔Extron XTP〕が〔オフ〕に設定されているときのみ有効です。</p> <p>●〔拡張設定〕 &gt; 〔A/V出力設定〕 &gt; 〔A/V出力〕</p> <p>●〔拡張設定〕 &gt; 〔HDBaseT設定〕 &gt; 〔制御通信〕</p> <p>●〔拡張設定〕 &gt; 〔HDBaseT設定〕 &gt; 〔Extron XTP〕</p>

設定	選択肢	説明
	待機モード	[通信オン] に設定すると、スタンバイ状態でも以下の操作が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワーク経由で本機を監視・制御する</li> <li>・ 音声や映像を外部機器に出力する</li> <li>・ HDBaseT端子からの通信を有効にする*</li> </ul>
	通信ポート	[待機モード] で [通信オン] を選択したときに、使用するポートを [有線LAN] または [無線LAN] のどちらかに設定します。 ● [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
HDBaseT設定*		HDBaseTトランスミッターまたはスイッチャー接続の通信設定を選択します。
	制御通信	[制御通信] : HDBaseT端子からのEthernet通信とシリアル通信の有効/無効を切り替えます。オンにすると、プロジェクターのLANおよびRS-232C端子が無効になります。(事前にExtron XTPを [オフ] に設定します。)
	Extron XTP	[Extron XTP] : Extron社製のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを本機の [HDBaseT] 端子に接続して使用するときは [オン] に設定します。XTPシステムについて詳しくはExtron社のWebページを参照してください。 <a href="http://www.extron.com/">http://www.extron.com/</a>

設定	選択肢	説明
マルチプロジェクション		本機を2台以上並べて使用するときの設定をします。
	プロジェクターID	[プロジェクターID] : 複数のプロジェクターをリモコンから操作するときを使う本機のIDを設定します。
	幾何学歪み補正	[幾何学歪み補正] : 投写映像のゆがみを補正します。
	カラーモード	[カラーモード] : 映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。すべてのプロジェクターで同じカラーモードを選択してください。
	カラーマッチング	[カラーマッチング] : 各映像の色合いや明るさの差を補正します。
	ユニフォーミティー	[ユニフォーミティー] : 画面全体の色味のバランスを調整します。
	RGBCMY	[RGBCMY] : R (赤) 、 G (緑) 、 B (青) 、 C (シアン) 、 M (マゼンタ) 、 Y (イエロー) の各色について、色相、彩度、明度を調整します。
	初期化	[初期化] : [マルチプロジェクション] メニューの調整値を初期値に戻します。
スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時を選択したイベントを自動的に実行します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。

設定	選択肢	説明
初期化	—	<p>[拡張設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [スクリーン設定]</li> <li>• [ユーザーロゴ]</li> <li>• [設置モード]</li> <li>• [高地モード]</li> <li>• [自動入力検出]</li> <li>• [モニター出力端子]</li> <li>• [A/Vミュート解除]</li> <li>• [リモコン種類]</li> <li>• [方向ボタン反転]</li> <li>• [日付&amp;時刻]</li> <li>• [A/V出力]</li> <li>• [待機モード]</li> <li>• [HDBaseT設定] *</li> <li>• [プロジェクターID]</li> <li>• [カラーモード]</li> <li>• [カラーマッチング]</li> <li>• [スケジュール設定]</li> <li>• [言語]</li> </ul>



- [パスワードプロテクト] で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にすると、ユーザーロゴに関する設定（[表示設定] の [背景表示] と [スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート設定] の [A/Vミュート解除]）は変更できません。事前に [ユーザーロゴ保護] を [オフ] に設定します。
- [スリープモード時間] が設定されていると、一定時間映像信号の入力がないときは、電源が切れるまで光源の明るさを抑えて動作します。映像信号が入力されたときは、通常どおり動作します。

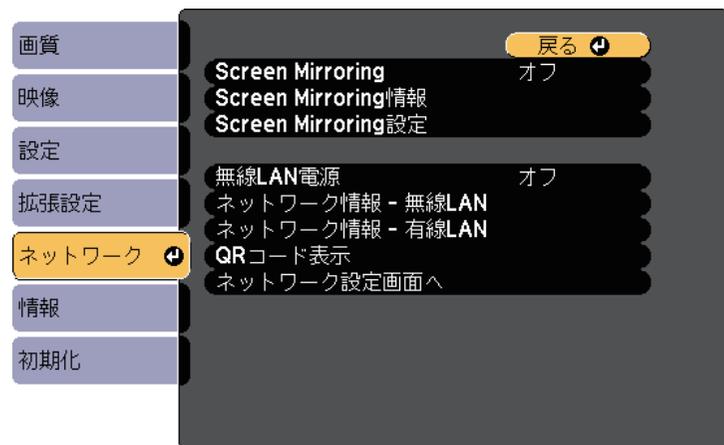
▶▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.102](#)

\* EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610Wのみ

[ネットワーク] メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に [ネットワーク保護] を [オフ] に設定します。



設定	選択肢	説明
Screen Mirroring *	オン オフ	Screen Mirroringの接続を設定します。 Screen Mirroring機能を使って投写するには、[オン] を選択します。
Screen Mirroring情報 *	ディスプレイ名 MACアドレス 地域コード チャンネル 接続端末	Screen Mirroringのステータス、詳細情報を表示します。 [Screen Mirroring] を [オン] に設定しているときのみ有効。
Screen Mirroring設定 *	Screen Mirroring設定画面へ移動	Screen Mirroringの接続を設定します。

設定	選択肢	説明
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN接続を設定します。 無線LAN経由で映像を投写するには [オン] を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐためにオフに設定してください。
ネットワーク情報 - 無線LAN	接続モード 無線LAN方式 アンテナレベル プロジェクター名 SSID DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MACアドレス 地域コード IPv6	無線LANのステータス、詳細情報を表示します。 [無線LAN電源] を [オン] に設定しているときのみ有効。 以下の項目は、[IPv6] を選択しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6アドレス(手動)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6アドレス</li> <li>• プレフィックス長</li> <li>• ゲートウェイアドレス</li> </ul> </li> <li>• IPv6アドレス(自動)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一時アドレス</li> <li>• リンクローカルアドレス</li> <li>• ステートレスアドレス</li> <li>• ステートフルアドレス</li> </ul> </li> </ul>

設定	選択肢	説明
ネットワーク情報 - 有線LAN	プロジェクター名 DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MACアドレス IPv6アドレス(手動) IPv6アドレス(自動)	有線LANのステータス、詳細情報を表示します。  以下の項目は、[IPv6アドレス(手動)] または [IPv6アドレス(自動)] を選択しているときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6アドレス(手動) <ul style="list-style-type: none"> <li>• IPv6アドレス</li> <li>• プレフィックス長</li> <li>• ゲートウェイアドレス</li> </ul> </li> <li>• IPv6アドレス(自動) <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一時アドレス</li> <li>• リンクローカルアドレス</li> <li>• ステートレスアドレス</li> <li>• ステートフルアドレス</li> </ul> </li> </ul>
QRコード表示	—	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。

\* EB-L615U/EB-L610Uのみ



コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

### ▶ 関連項目

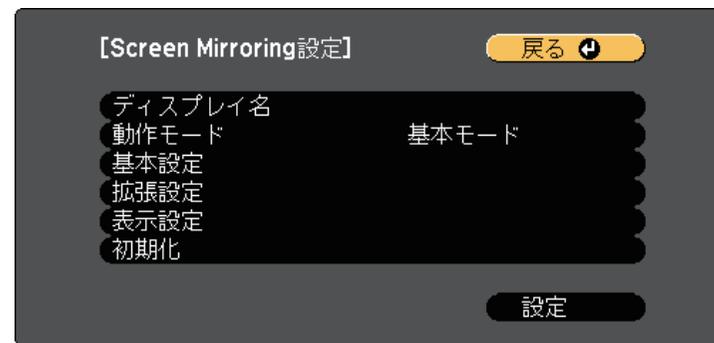
- 「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 [p.169](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.170](#)
- 「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 [p.172](#)
- 「ネットワークメニュー - 有線LANメニュー」 [p.175](#)

- 「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 [p.176](#)
- 「ネットワークメニュー - その他メニュー」 [p.177](#)
- 「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 [p.178](#)
- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.102](#)

## ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定

[Screen Mirroring設定] 画面で、Screen Mirroringの設定をします (EB-L615U/EB-L610U)。

☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定]



設定	選択肢	説明
ディスプレイ名	32文字以内の半角英数字	Screen Mirroring機能を使用してプロジェクターを検索するときに、本機を識別するための名前を入力します。
動作モード	基本モード 拡張モード	接続の詳細を設定するときは、[拡張モード] を選択します。

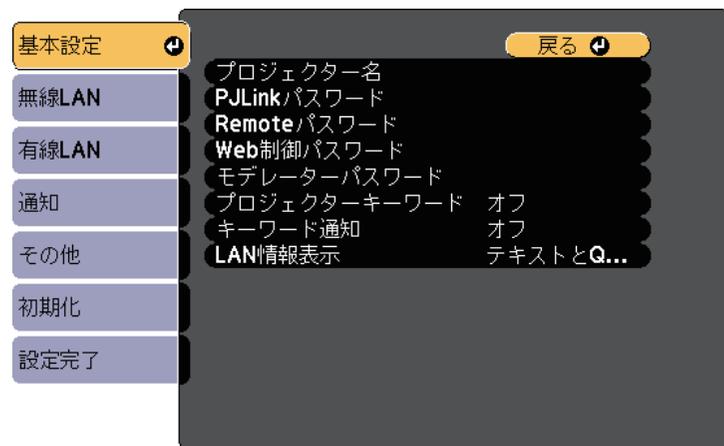
設定	選択肢	説明
基本設定	無線LAN方式	本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。 以下のいずれかで通信できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 802.11a/g/n/ac</li> <li>• 802.11a/g/n</li> <li>• 802.11g/n</li> </ul> お住まいの国や地域により、選択できる方式は異なります。
	パフォーマンス調整	Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。 表示品質を上げるには小さい値を選択します。表示速度を上げるには大きい値を選択します。
	接続モード	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の種類を選択します。接続のセキュリティを強化するには [PIN] を選択します。PBC接続のみ対応のモバイルデバイスをお使いのときは、[PIN/PBC] を選択します。 [動作モード] を [基本モード] に設定しているときのみ設定可能です。
拡張設定		[動作モード] を [拡張モード] に設定しているときのみ設定可能です。

設定	選択肢	説明
	会議モード	会議の形態に合わせて、接続方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [割り込み接続許可] : Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。</li> <li>• [割り込み接続不可] : Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられないようにします。</li> </ul>
	チャンネル	Screen Mirroringで使用する無線チャンネルを選択します。
表示設定	PINコード通知	Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示するかしないかを選択します。[オン] にすると、投写画面に8桁のPINコードが表示されます。
	端末名通知	Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面に端末名を表示するかしないかを選択します。[オン] にすると、投写画面に新しく接続した端末名が表示されます。
初期化	—	[Screen Mirroring設定] で調整したすべての値を既定値に戻します。

## ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

[基本設定] メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]



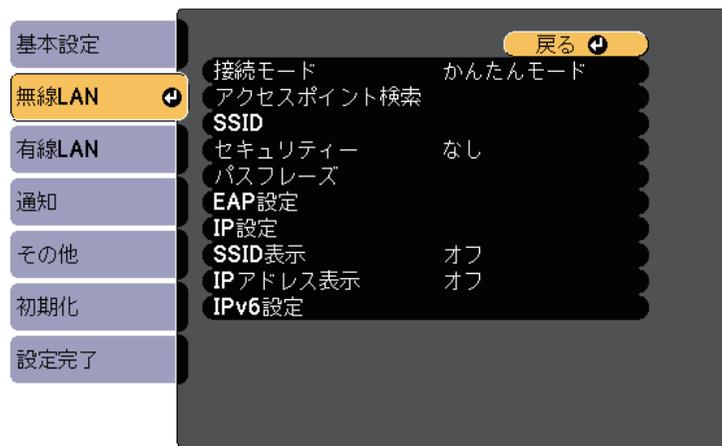
設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 ("*+/,/:;<=>?[\\` スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
PJLinkパスワード	32文字以内の半角英数字	PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字 (*:スペースは使用不可)	ベーシックコントロール機能で本機の制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は <b>EPSONREMOTE</b> 、デフォルトのパスワードは <b>guest</b> です。)

設定	選択肢	説明
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字 (*:スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は <b>EPSONWEB</b> 、デフォルトのパスワードは <b>admin</b> です。)
モデレーターパスワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン] にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。
キーワード通知	オン オフ	[オン] にすると、Epson iProjectionでプロジェクターに接続したときに、投写画面にプロジェクターキーワードを表示します。 [プロジェクターキーワード] が [オン] に設定されているときのみ有効。
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。初期値は、[テキストとQRコード] です。

## ネットワークメニュー - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]



設定	選択肢	説明
接続モード		接続モードを選択します。
	かんたんモード	<p>[かんたんモード] : スマートフォンやタブレット端末、コンピューターとワイヤレスに直接接続できます。</p> <p>かんたんモードで接続すると、本機が簡易アクセスポイントになります。(プロジェクターに接続するコンピューターやタブレット端末の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなる場合があります。)</p>

設定	選択肢	説明
	マニュアルモード	[マニュアルモード] : 無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するとき、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID (ネットワーク名) を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。
セキュリティ		無線LANの設定に合わせてセキュリティの種類を選択します。 セキュリティの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
	なし	[なし] : セキュリティを設定しません。
	WPA2-PSK	[WPA2-PSK] : WPA2によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA/WPA2-PSK	[WPA/WPA2-PSK] : WPA/パーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。

設定	選択肢	説明
	WPA2-EAP WPA/WPA2-EAP	[WPA2-EAP] / [WPA/WPA2-EAP] : WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。LEAPを用いるときはこの項目を選択します。
パスワード	8~32文字のパスワード (Webブラウザから入力する場合: 8~63文字のパスワード)	<p>セキュリティの設定で [WPA2-PSK] または [WPA/WPA2-PSK] を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスワードを入力します。</p> <p>パスワードを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。</p> <p>セキュリティ強化のため、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスワードは初期値に戻ります。</p>
EAP設定		[WPA2-EAP] および [WPA/WPA2-EAP] セキュリティのEAPを設定します。

設定	選択肢	説明
	EAP種類	<p>[EAP種類] : 認証プロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [PEAP] : Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。</li> <li>• [PEAP-TLS] : Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に選択します。</li> <li>• [EAP-TLS] : 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。</li> <li>• [EAP-FAST] / [LEAP] : これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。</li> </ul>
	ユーザー名	<p>[ユーザー名] : 半角英数字で64文字以内で入力します。プロジェクトのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します (ドメイン名\ユーザー名)。</p> <p>クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。</p>

設定	選択肢	説明
	パスワード	[パスワード] : [PEAP]、[EAP-FAST]、[LEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字で64文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。パスワードを入力し、[終了] を選択すると、パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
	クライアント証明書	[クライアント証明書] : [PEAP-TLS]、[EAP-TLS] のクライアント証明書をインポートします。
	サーバー証明書の検証	[サーバー証明書の検証] : CA 証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。
	CA証明書	[CA証明書] : [PEAP]、[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]、[EAP-FAST] 用のCA証明書をインポートします。
	認証サーバー名	[認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。半角英数字で32文字まで入力できます。
チャンネル設定	1ch 6ch 11ch	かんたんモードの無線通信で使用する周波数の帯域 (チャンネル) を選択します。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] : DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0~255の数字を入力します。  0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (x は0~255の数値)。 255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
	SSID表示	オン オフ LAN待機画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ LAN待機画面やホーム画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。	
IPv6設定		IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときに設定します。
	IPv6	[IPv6] : IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。  Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。

設定	選択肢	説明
	自動構成	[自動構成] : [オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
	一時アドレスの使用	[一時アドレスの使用] : [オン] にすると、一時IPv6アドレスを使用します。

## ネットワークメニュー - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [有線LAN]



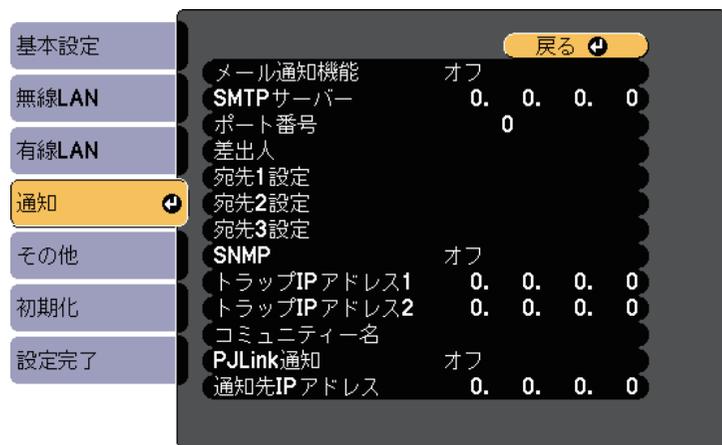
設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] : DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0~255の数字を入力します。  0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (xは0~255の数値)。 255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。
IPv6設定		IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときに設定します。
	IPv6	[IPv6] : IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。  Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
	自動構成	[自動構成] : [オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。

設定	選択肢	説明
	一時アドレスの使用	[一時アドレスの使用] : [オン] にすると、一時IPv6アドレスを使用します。

## ネットワークメニュー - 通知メニュー

[通知] メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [通知]



設定	選択肢	説明
メール通知機能	オン オフ	[オン] にすると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。

設定	選択肢	説明
SMTPサーバー	IPアドレス	SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のIPアドレスは使用できません (xは0~255の数値)。
ポート番号	0~65535 (デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を選択します。
差出人	32文字以内の半角英数字	送信者のメールアドレスを入力します。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定	Webブラウザからは64文字以内の半角英数字 ( " ( ) , ; : < > [ \ ] スペースは使用不可)	メールアドレスおよびメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。
SNMP	オン オフ	[オン] にすると、SNMPを使用して本機を監視します。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。
トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	IPアドレス	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のIPアドレスは使用できません (xは0~255の数値)。
コミュニティ名	32文字以内の半角英数字 (@以外の記号は使用不可)	SNMPコミュニティ名を入力します。

設定	選択肢	説明
PJLink通知	オン オフ	PJLink通知機能の有効/無効を切り替えます。
通知先IPアドレス	IPアドレス	PJLink通知機能が有効なとき、プロジェクターのステータスを通知するコンピュータのIPアドレスを入力します。0~255の数字を入力します。 127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のIPアドレスは使用できません（xは0~255の数値）。

設定	選択肢	説明
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピュータの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン]に設定することをお奨めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。
優先ゲートウェイ	有線LAN 無線LAN	優先ゲートウェイを設定できます。
AMX Device Discovery	オン オフ	[オン]にすると、AMX Device Discoveryを使用して本機の検出ができます。
Crestron Connected	オン オフ	[オン]にすると、Crestron Connectedを使用してプロジェクターの監視と制御ができます。 Crestron Connectedを有効にすると、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能が無効になります。
Control4 SDDP	オン オフ	[オン]にすると、Control4 SDDP (Simple Device Discovery Protocol) を使って本機の情報を送信します。
メッセージ配信	オン オフ	[オン]にすると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご確認ください。 [Crestron Connected]が[オフ]に設定されているときのみ有効です。

## ネットワークメニュー - その他メニュー

[その他] メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]



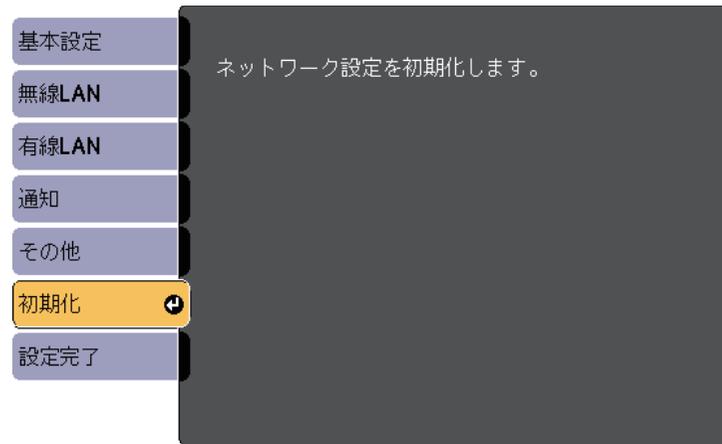
▶ 関連項目

- ・ 「Crestron Connectedについて」 [p.145](#)

## ネットワークメニュー - 初期化メニュー

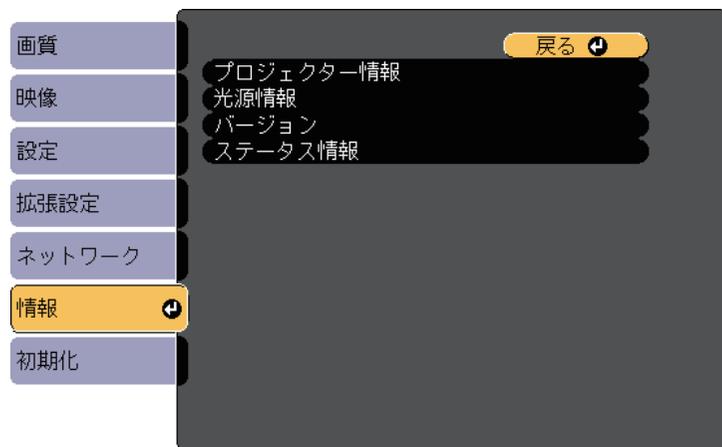
〔初期化〕メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]



設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	〔はい〕を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。

【情報】メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



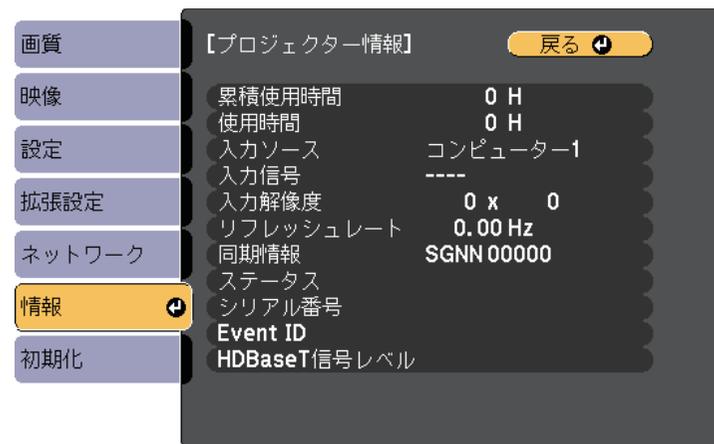
情報の項目	説明
プロジェクター情報	プロジェクターの情報を表示します。
光源情報	光源の情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。
ステータス情報	本機の状態を表示します。

### ▶ 関連項目

- ・「情報メニュー - プロジェクター情報」 p.179
- ・「情報メニュー - 光源情報」 p.181

## 情報メニュー - プロジェクター情報

【情報】メニューの【プロジェクター情報】では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

情報の項目	説明
累積使用時間	プロジェクターの累計使用時間を表示します。
使用時間	プロジェクターの電源をオンにしてからの使用時間を表示します。
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。

情報の項目	説明
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワーク接続の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。
HDBaseT信号レベル*	HDBaseT端子からの信号レベルの情報を表示しています。黄色で表示される場合は、信号が減衰しています。

\* EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610Wのみ

#### ▶ 関連項目

- ・ 「Event ID一覧」 p.180

### Event ID一覧

[プロジェクター情報] メニューの [Event ID] に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

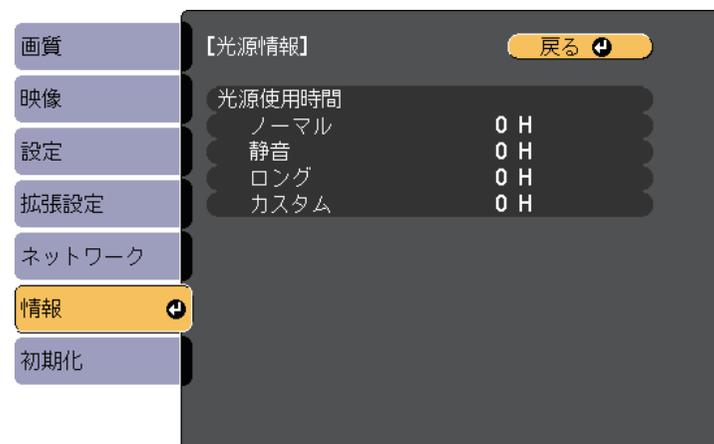
Event ID	原因と対処法
0020 0026 0032 0036 0037 0038	Screen Mirroringの通信エラーです。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。ネットワークソフトウェアを再起動します。
0021	Screen Mirroringの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0022 0027 0028 0029 0030 0031 0035	Screen Mirroringの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0023 0024 0025	接続に失敗しました。コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。問題が解決しないときは、プロジェクターと接続機器を再起動して、接続設定を確認してください。
0041	接続に失敗しました。コンピューターに保存されている本機の接続情報を削除して、再接続します。
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。

Event ID	原因と対処法
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクター、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	WEP/TKIP/AESの暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の「[ネットワーク]」メニューにある「[DHCP]」設定を「[オフ]」にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>☛ [ネットワーク] &gt; [ネットワーク設定画面へ] &gt; [無線LAN] &gt; [IP設定] &gt; [DHCP]</li> <li>☛ [ネットワーク] &gt; [ネットワーク設定画面へ] &gt; [有線LAN] &gt; [IP設定] &gt; [DHCP]</li> </ul>
0899	その他、接続に関するエラー

Event ID	原因と対処法
089A	EAP認証方式がネットワークと一致しません。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089D	鍵交換が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。

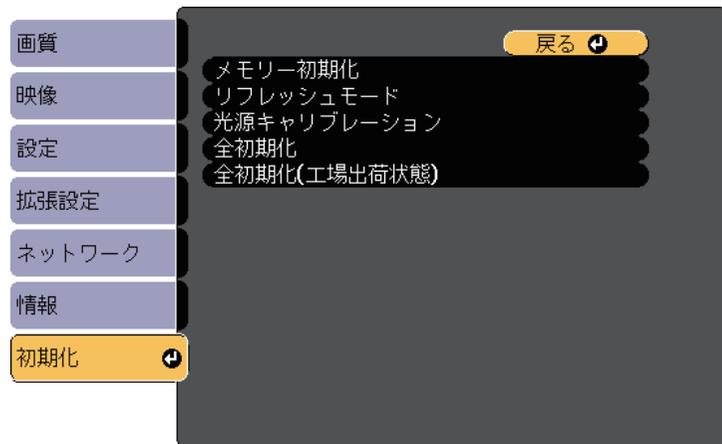
## 情報メニュー - 光源情報

「[情報]」メニューの「[光源情報]」では、本機の光源の情報を確認できます。



情報の項目	説明
光源使用時間	[光源モード] ごとに光源の使用時間を表示します。

【初期化】メニューでは、本機の設定を初期化できます。



設定	選択肢	説明
メモリー初期化	—	メモリー名と登録内容を消去します。
リフレッシュモード	時間 開始	〔開始〕を選択すると、投写映像に残っている残像（焼き付き）を解消します。設定した時間が経過すると、本機の電源をオフにします。操作パネルまたはリモコンのボタンを操作すると、リフレッシュモードを中止します。
光源キャリブレーション		光源キャリブレーションを実行して、投写映像の色合いのバランスを調整します。

設定	選択肢	説明
	今すぐ実行	〔オン〕に設定すると、すぐに光源キャリブレーションを開始します。ただし、使用環境の温度によっては設定できないことがあります。（プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。光源キャリブレーションは、投写開始から20分以上たってから行ってください。）
	定期的に行う	〔オン〕に設定すると、使用時間100時間ごとに光源キャリブレーションを実行します。
	スケジュール設定画面へ	スケジュール設定画面へ移動します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。
全初期化(工場出荷状態)	—	本機のすべての設定を初期化します。誤って初期化を実行しないよう、パスワードを設定してください。

以下の設定は、〔全初期化〕を実行しても初期値に戻りません。

- 入力信号方式
- メモリー
- コンテンツ再生
- ユーザーロゴ
- 背景表示\*
- スタートアップスクリーン\*
- ユニフォーミティー
- カラーマッチング
- スケジュール設定
- 言語

- ・ 日付&時刻
- ・ ネットワークメニュー項目
- ・ 光源使用時間
- ・ パスワード
- ・ パスワードプロテクト設定

\* ユーザーロゴを登録しているときのみ。

以下の設定は、[全初期化(工場出荷状態)]を実行しても初期値に戻りません。

- ・ 光源使用時間
- ・ パスワード
- ・ パスワードプロテクト設定

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する
- Epson Projector Management を使って設定する

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- [情報] メニューの [光源情報]
- [情報] メニューの [ステータス情報]



- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、[一括設定範囲] を [一部] に設定してください。
  - [パスワードプロテクト] 設定
  - [映像] メニューの [EDID]
  - [ネットワーク] メニュー（[通知] メニュー、[その他] メニューを除く）
- ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] > [一括設定範囲]

## ⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

## ▶ 関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 p.185
- 「コンピューターを使って一括設定する」 p.186

## USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティ機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。  
インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

## ⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

## ⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

### 5 USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

### 6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

### 7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

### 8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

### 9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

### 10 USBメモリーを取り外します。

## コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。

- Windows Vista以降
- OS X 10.7.x以降

### 1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

### 2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのService端子を、USBケーブルで接続します。

### 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

### 4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。

コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 5** リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

- 6** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 7** USBケーブルを取り外します。  
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

- 8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 9** USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのService端子に接続します。

- 10** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 11** インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。  
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 12** コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 14** USBケーブルを取り外します。  
インジケーターが点滅が変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

### ⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

### ▶ 関連項目

- ・「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.187](#)

### 一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケーターの状態	状態と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーザー：橙 速点滅</li> <li>・ 温度：橙 速点滅</li> </ul>	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。

インジケータの状態	状態と対処方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源：青 速点滅</li> <li>• ステータス：青 速点滅</li> <li>• レーザー：橙 速点滅</li> <li>• 温度：橙 速点滅</li> </ul>	<p>一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。</p> <p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

# プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- 「プロジェクターのメンテナンス」 [p.190](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.191](#)
- 「本機を清掃する」 [p.192](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.193](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## 警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

## 警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

## 注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- 本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

### 注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。

## 注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

## ▶ 関連項目

- ・「エアフィルターを清掃する」 [p.193](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.195](#)

## エアフィルターを清掃する

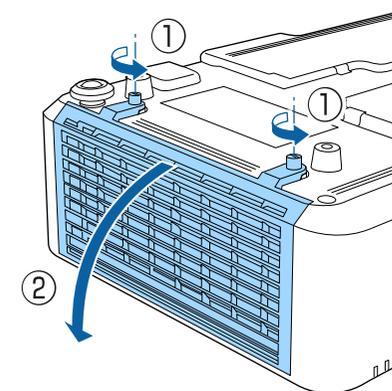
次の場合は、エアフィルターを清掃してください。

- ・エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- ・清掃を促すメッセージが表示されたとき
- ・フィルターインジケーターがオレンジ色に点滅したとき

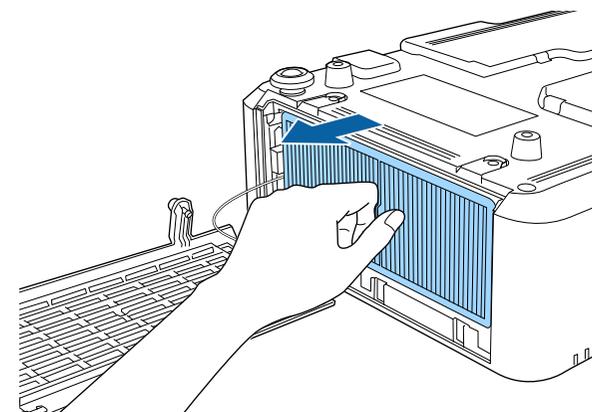
**1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

**2** 底面を上に出します。

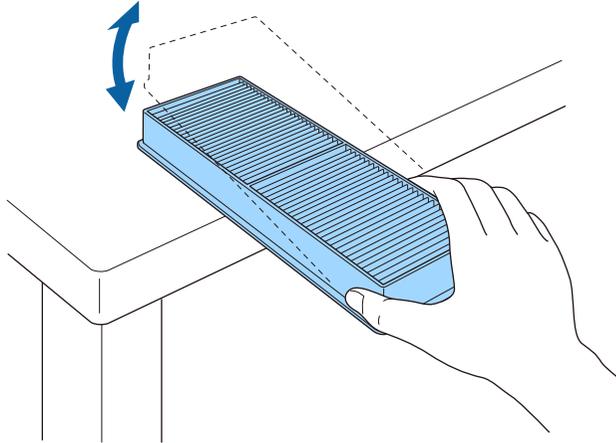
**3** 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。



**4** エアフィルターを取り外します。

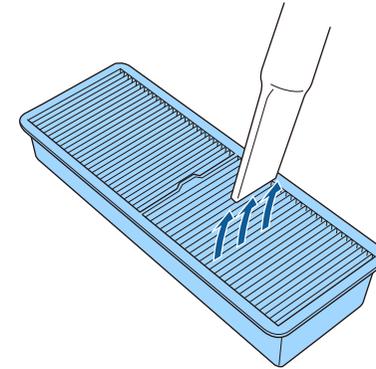


- 5** エアフィルターの両端を4~5回軽く叩いて、ホコリを落とします。

**注意**

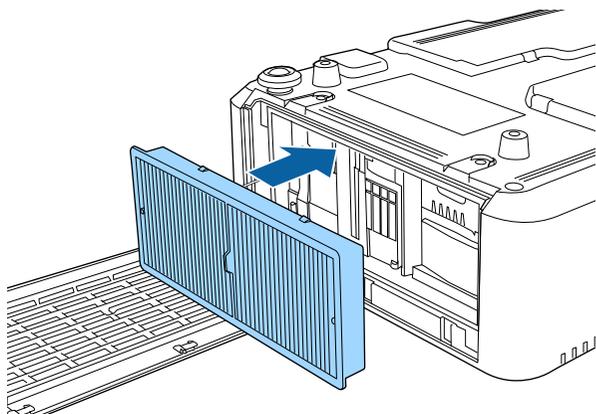
強く叩きすぎると、エアフィルターが割れて正しく装着できなくなることがあります。

- 6** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側から吸い取ります。

**注意**

- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

**7** エアフィルターを取り付けます。

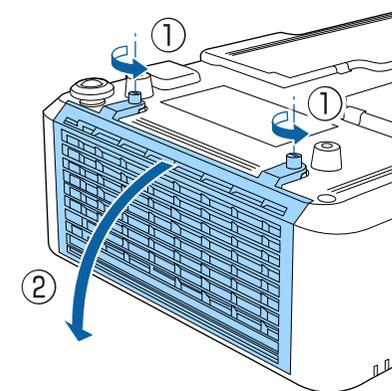
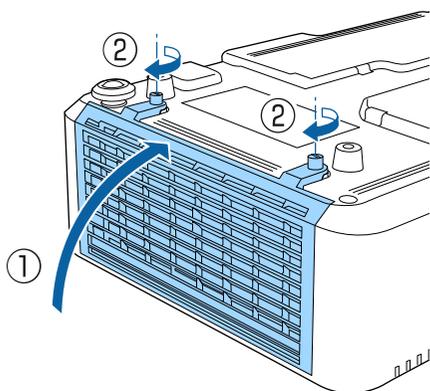


- ・エアフィルターの清掃後に、フィルターインジケーターがオレンジ色に点滅する
- ・エアフィルターが破損している

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** 底面を上にしてします。
- 3** 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。

**8** エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。

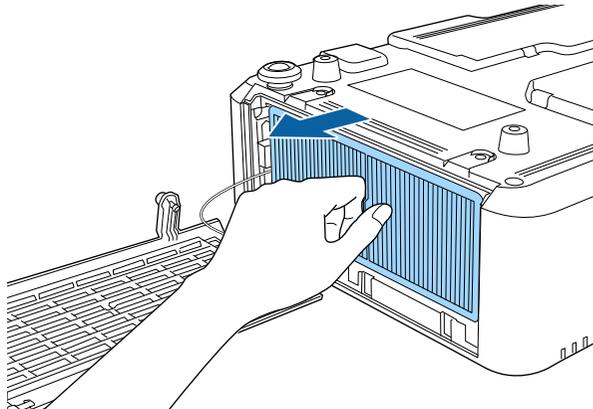


## エアフィルターを交換する

以下の場合、エアフィルターを交換してください。

- ・エアフィルターの清掃後に、清掃または交換することを促すメッセージが表示される

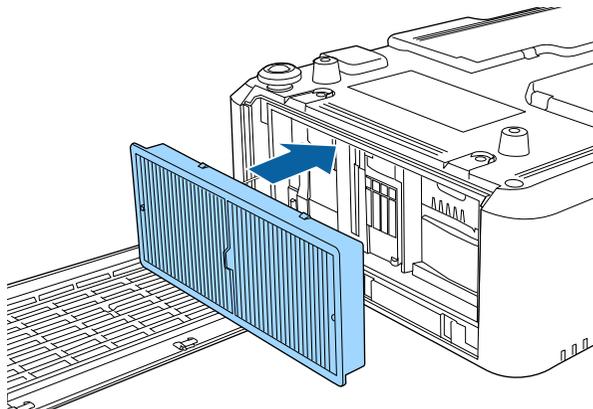
## 4 エアフィルターを取り外します。



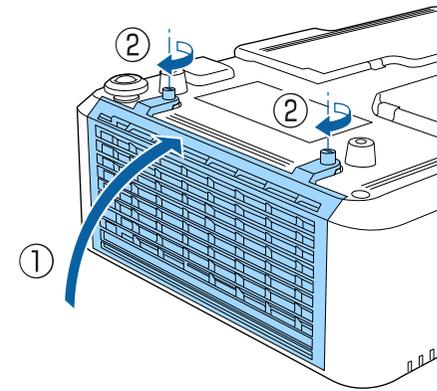
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

- ・ フィルターの枠：ポリプロピレン
- ・ フィルター：ポリプロピレン

## 5 新しいエアフィルターを取り付けます。



## 6 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



### ▶ 関連項目

- ・ 「消耗品」 p.217

# 困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

## ▶ 関連項目

- ・ 「トラブルの対処方法」 [p.198](#)
- ・ 「インジケータの見方」 [p.199](#)
- ・ 「ヘルプの見方」 [p.202](#)
- ・ 「映像や音声に関するトラブル」 [p.203](#)
- ・ 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.209](#)
- ・ 「ネットワークに関するトラブル」 [p.211](#)
- ・ 「コンテンツ再生モードに関するトラブル」 [p.214](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

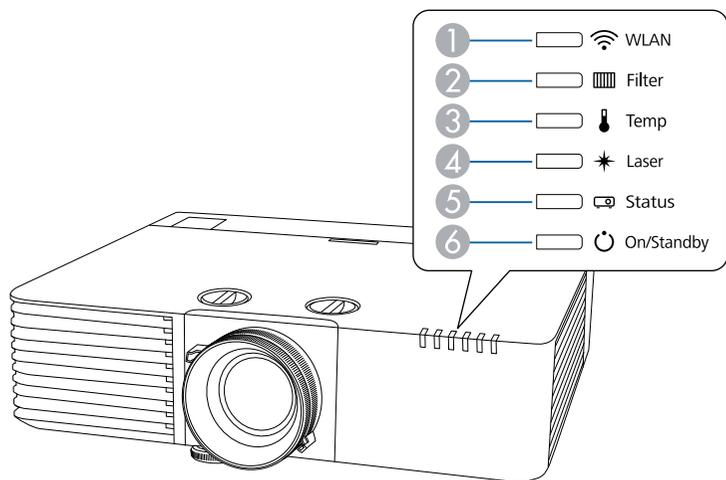
問題が解決しないときは、以下を確認します。

- ・インジケーターで本機の状態を確認する。
- ・ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。

 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。



- ① WLAN（無線LAN）インジケータ
- ② フィルターインジケータ
- ③ 温度インジケータ
- ④ レーザーインジケータ
- ⑤ ステータスインジケータ
- ⑥ 電源インジケータ

## プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ウォームアップ中、またはシャットダウン中です。ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ネットワーク監視、または高速起動モードの準備状態のため、すべての操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	クールダウン中です。すべてのボタン操作が無効になります。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：状態依存 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	リフレッシュモード動作中です。 ☛ [初期化] > [リフレッシュモード]
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：橙点滅 フィルター：状態依存	内部温度が高くなっています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。</li> <li>・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。</li> <li>・高温にならない環境で使用するようにします。</li> </ul>
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。</li> <li>・高温にならない環境で使用するようにします。</li> <li>・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。</li> <li>・標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。 ☛ [拡張設定] &gt; [動作設定] &gt; [高地モード]</li> <li>・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</li> </ul>

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点灯 温度：消灯 フィルター：消灯	レーザー異常です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。</li> <li>・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。</li> <li>・問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</li> </ul>
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点滅 フィルター：消灯	ファン異常またはセンサー異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：消灯 フィルター：消灯	内部異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点滅	エアフィルター清掃通知です。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点灯	エアフィルター風量警告です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。</li> <li>エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。</li> <li>問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</li> </ul>
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：橙点灯	風量低下異常です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。</li> <li>エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。</li> <li>問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。</li> </ul>
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	光源の明るさを一定に保つ [一定モード] が終了します。  [設定] > [明るさ設定] > [一定モード]

## 無線LANの状態

無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。

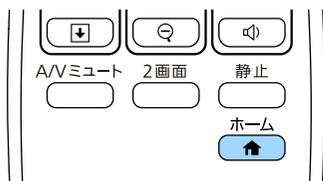
無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

## ▶ 関連項目

- ・「エアフィルターを清掃する」 [p.193](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.195](#)

トラブルの解決方法を表示します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 リモコンの【ホーム】ボタンを押します。

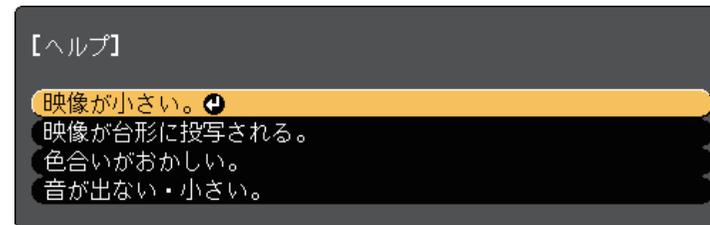


- 3 ホーム画面で【ヘルプ】を選択します。



ヘルプメニューが表示されます。

- 4 上下ボタンを使用して、解決したい問題を選択します。



- 5 【決定】ボタンを押して、対処方法を表示します。
- 6 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。
  - ・ 他の問題を選ぶ場合は【戻る】ボタンを押します。
  - ・ ヘルプを終了する場合は【メニュー】ボタンを押します。

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

#### ▶ 関連項目

- ・「映像が表示されない」 [p.203](#)
- ・「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.203](#)
- ・「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.204](#)
- ・「映像の一部が表示されない」 [p.205](#)
- ・「映像がゆがむ」 [p.205](#)
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.205](#)
- ・「映像がぼやける」 [p.206](#)
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 [p.206](#)
- ・「映像に残像が残る（焼き付き）」 [p.207](#)
- ・「音が出ない、小さい」 [p.207](#)
- ・「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.208](#)

## 映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- ・必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- ・スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。
- ・Computer2/Monitor Out端子に接続して投写するときは、[拡張設定]メニューで[モニター出力端子]を[コンピューター2]に設定します。

- [拡張設定] > [動作設定] > [モニター出力端子]
- ・ [画質]メニューの[明るさ]を調整します。
- ・ [明るさ設定]を調整します。
- [設定] > [明るさ設定]
- ・ [拡張設定]メニューの[表示設定]で、[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- ・ 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- ・ Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- ・ Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- ・ 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

#### ▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・「画質メニュー」 [p.156](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.104](#)

## 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。

- ・ 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合は再生を押してプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- ・ 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ・ ノート型コンピューターから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- ・ 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- ・ HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

#### ▶ 関連項目

- ・ 「ノート型コンピューターから映像を出力する」 p.204
- ・ 「Macのノート型コンピューターから映像を出力する」 p.204

### ノート型コンピューターから映像を出力する

ノート型コンピューターから投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1** ノート型コンピューターの [Fn] キーを押しながら、モニターのアイコンや [CRT/LCD] が印字されているキーを押します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 2** ノート型コンピューターの画面とプロジェクターの両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。
- 3** ノート型コンピューターとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの [ディスプレイ] ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。（詳しくはお使いのコンピューターまたはWindowsの取扱説明書をご覧ください。）

- 4** 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを [クローン] または [ミラー] に設定します。

### Macのノート型コンピューターから映像を出力する

Macのノート型コンピューターから投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される場合は、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- 1** [システム環境設定] を開き、[ディスプレイ] を選択します。
- 2** 必要に応じて、[ディスプレイ] または [カラーLCD] を設定します。
- 3** [調整] または [アレンジメント] をクリックします。
- 4** [ディスプレイをミラーリング] を選択します。

### 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される場合は、次の対処方法を確認してください。

- ・ [映像] メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- ・ コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

## ▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.158
- ・「対応解像度」 p.221

## 映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・VGAケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、映像信号を最適化します。
- ・お使いのスクリーンに合わせて、[スクリーンタイプ] が正しく設定されているか確認します。
  - ☛ [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ]
- ・[映像] メニューの [表示倍率] がオフになっていることを確認します。
- ・[映像] メニューの [表示位置] で映像の表示位置を調整します。
- ・[スクリーン位置] で映像の表示位置を調整してみます。
  - ☛ [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーン位置]
- ・リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- ・接続された機器の信号に応じて、本機の [映像] メニューの [入力解像度] を設定します。
- ・【Eズーム】ボタンで映像をズームしたときは、【戻る】ボタンを押してEズームを解除します。
- ・コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- ・プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。（詳しくはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。）
- ・正しい設置モードを選択していることを確認します。 [拡張設定] メニューの [設置モード] で選択できます。

## ▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.158
- ・「拡張設定メニュー」 p.163
- ・「対応解像度」 p.221

## 映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- ・[幾何学歪み補正] で映像のゆがみを補正します。
  - ☛ [設定] > [幾何学歪み補正] > [タテヨコ]
  - ☛ [設定] > [幾何学歪み補正] > [Quick Corner]
- ・湾曲したスクリーンに投写するときは、[湾曲補正] で映像の形状を補正します。

## ▶ 関連項目

- ・「タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する」 p.50
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.52

## 映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。

- ・ 干渉を受けないように、電源コードから離れている
- ・ ケーブルの両端が確実に接続されている
- ・ 延長ケーブルを使用していない
- ・ [映像] メニューの設定が、接続している機器に合っているか確認します。
- ・ [画質] メニューの [プログレッシブ変換] と [ノイズリダクション] が設定できる入力ソースのときは、これらの設定をします。
  - ☛ [画質] > [アドバンスト] > [プログレッシブ変換]
  - ☛ [画質] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
- ・ コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- ・ VGAケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して [トラッキング] と [同期] の設定を最適化します。映像が正しく調整されないときは、[映像] メニューで [トラッキング] と [同期] を設定します。
- ・ [映像] メニューで [入力解像度] を [オート] に設定します。
- ・ 映像のゆがみを補正したときは、[画質] メニューで [シャープネス] を低い値に設定し、表示画質を向上させます。
- ・ 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。

#### ▶ 関連項目

- ・ 「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.156](#)
- ・ 「対応解像度」 [p.221](#)

## 映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 映像のピントを合わせます。

- ・ 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- ・ 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・ 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- ・ [画質] メニューで [シャープネス] を調整して、表示画質を上げます。
- ・ VGAケーブルを使ってコンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して、トラッキングと同期の設定を最適化します。映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[映像] メニューで [トラッキング] と [同期] を設定します。
- ・ コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

#### ▶ 関連項目

- ・ 「タテヨコ補正で映像のゆがみを補正する」 [p.50](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.158](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.156](#)
- ・ 「対応解像度」 [p.221](#)
- ・ 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.56](#)
- ・ 「レンズを清掃する」 [p.191](#)

## 映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
  - ・お使いのビデオ機器の設定を確認します。
  - ・[画質]メニューで[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]などを設定します。
  - ・[映像]メニューで、[ビデオレンジ]や[EDID]を正しく設定します。
    - ☛ [映像] > [アドバンスト] > [ビデオレンジ]
    - ☛ [映像] > [アドバンスト] > [EDID]
  - ・必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
  - ・[明るさ設定]が正しく設定されているか確認します。
    - ☛ [設定] > [明るさ設定]
  - ・投写距離の推奨範囲内に設置します。
  - ・本機を複数台並べて投写しているときは、[初期化]メニューの[光源キャリブレーション]が、すべてのプロジェクターで正しく設定されているか確認します。一部のプロジェクターでのみ光源キャリブレーションが実行されると、ホワイトバランスや明るさレベルのずれが生じることがあります。
- ▶ 関連項目
- ・「カラーモードを設定する」 p.63
  - ・「映像メニュー」 p.158
  - ・「画質メニュー」 p.156
  - ・「拡張設定メニュー」 p.163

## 映像に残像が残る（焼き付き）

投写映像に残像（焼き付き）が残るときは、リフレッシュモードを使って解消します。[初期化]メニューで、[リフレッシュモード] > [開始]を選択します。

## 音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機の音量設定を調整します。
- ・一時的に映像と音を消したときは、リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- ・コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- ・オーディオケーブルを一度外し、再度接続します。
- ・プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ・HDMIケーブルで接続している機器の音が出ないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- ・接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- ・[拡張設定]メニューで[AV出力設定]を正しい音声入力に設定します。
- ・MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- ・本機がスタンバイ状態のときも、接続しているオーディオ機器の音声を出力するときは、[拡張設定]メニューで[待機モード]を[通信オン]に設定し、[AV出力設定]が正しく設定されていることを確認します。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- ・コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（Epson iProjection (Windows/Mac) を使用する場合）

## ▶ 関連項目

- ・「プロジェクターを接続する」 [p.23](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.71](#)

---

## PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

## ▶ 関連項目

- ・「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.209](#)
- ・「リモコンで操作できない」 [p.209](#)
- ・「パスワードが入力できない」 [p.210](#)
- ・「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.210](#)

## 電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- ・セキュリティのため、操作パネルのボタン操作がロックされていることがあります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。  
☛ [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- ・電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・本機の光源が予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[スリープモード]を[オフ]にします。  
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [スリープモード]
- ・本機の光源が予期せず消えるときは、AVミュートタイマーが有効になっている可能性があります。AVミュートタイマーを無効にするには、[AVミュートタイマー]を[オフ]にします。

☛ [拡張設定] > [動作設定] > [AVミュート設定] > [AVミュートタイマー]

- ・本機の光源が消え、ステータスインジケータが点滅して温度インジケータが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- ・リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定]メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。

## ▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「インジケータの見方」 [p.199](#)
- ・「設定メニュー」 [p.160](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.104](#)

## リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- ・リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- ・本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- ・リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。

- ・蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- ・[設定]メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・[リモコン受光部]がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- ・プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- ・本機に同梱のリモコンをお使いのときは、[拡張設定]メニューの[リモコン種類]が[標準]になっていることを確認します。  
 ● [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンス] > [リモコン種類]
- ・リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

## ▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 p.33
- ・「設定メニュー」 p.160
- ・「拡張設定メニュー」 p.163
- ・「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.93
- ・「リモコンに電池を取り付ける」 p.32

- ・誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- ・Web制御パスワードを忘れたときは、以下を入力してみてください。
  - ・ユーザー名：**EPSONWEB**
  - ・デフォルトのパスワード：**admin**
- ・Remoteパスワードを忘れたときは、以下を入力してみてください。
  - ・ユーザー名：**EPSONREMOTE**
  - ・デフォルトのパスワード：**guest**
- ・リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

---

## 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

---

## パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- ・パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード**0000**を入力します。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

## ▶ 関連項目

- ・「無線LAN認証できない」 [p.211](#)
- ・「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.211](#)
- ・「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.211](#)
- ・「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.212](#)
- ・「Screen Mirroringで接続できない」 [p.212](#)
- ・「Screen Mirroringの映像・音声乱れる」 [p.212](#)

## 無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください。

- ・無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[拡張設定]メニューで[日付&時刻]を設定し直してください。
  - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- ・[ネットワーク]メニューで[セキュリティー]の設定を確認します。
  - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]

## ▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.163](#)
- ・「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 [p.172](#)

## Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ・ユーザー名には**EPSONWEB**と入力します。(ユーザー名は変更できません。)

- ・パスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**admin**です。
- ・プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- ・お使いのWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control]画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

## ▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.170](#)

## 異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
- ・[通知]メニューまたはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- ・本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[待機モード]を[通信オン]に設定します。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [待機モード]
- ・お使いのネットワーク環境に応じて、[通信ポート]の設定を変更します。
  - ☛ [拡張設定] > [待機モード] > [通信ポート]

## ▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - 通知メニュー」 p.176

## ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- ・アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
- ・Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- ・映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

## Screen Mirroringで接続できない

Screen Mirroringでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください（EB-L615U/EB-L610U）。

- ・プロジェクターの設定を確認します。
  - ・[ネットワーク] メニューで [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。
  - ・Screen Mirroring設定で [ディスプレイ名] を「-」が含まれない名前に変更します。「-」が含まれていると、モバイルデバイスでプロジェクターのディスプレイ名が正しく表示されないことがあります。

- [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [ディスプレイ名]
- ・ [ネットワーク] メニューで [Screen Mirroring] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。
- ・ [動作モード] を切り替えて、接続します。
  - [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [動作モード]
- ・他のモバイルデバイスが [割り込み接続不可] の設定で接続していないことを確認します。
  - [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設定] > [会議モード]
- ・周囲の無線LAN状況に応じて、[チャンネル] の設定を変更します。
  - [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設定] > [チャンネル]
- ・モバイルデバイスの設定を確認します。
  - ・モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
  - ・接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
  - ・モバイルデバイスを再起動します。
  - ・一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。

## ▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー」 p.168
- ・「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 p.169

## Screen Mirroringの映像・音声が乱れる

Screen Mirroringでモバイルデバイスから投写した映像・音声が乱れるときは、次の対処方法を確認してください（EB-L615U/EB-L610U）。

- モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- Screen Mirroringで投写できるコンテンツであることを確認します。
- モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。
- モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

## ▶ 関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」  
[p.120](#)

プレイリストを再生できないときは、次の対処法を確認してください。

- [コンテンツ再生] を [オン] に設定します。
  - ☛ [設定] > [コンテンツ再生] > [コンテンツ再生]
- プレイリストがUSBメモリーに保存されていることを確認します。プレイリストの作成方法は、『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。
- USBメモリーが直接本機に接続されていることを確認します。マルチカードリーダーやUSBハブを使用しないでください。
- お使いのUSBメモリーに複数のパーティションが作成されていると、プレイリストが正しく再生されないことがあります。パーティションをひとつにしてからプレイリストを保存してください。
- 解像度の異なるプロジェクターで同じプレイリストを再生しないでください。[エフェクト] 機能を使って追加された色や形の装飾が正しく再生されないことがあります。
  - ☛ [設定] > [コンテンツ再生] > [エフェクト]

# 付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.216](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.218](#)
- 「対応解像度」 [p.221](#)
- 「本機仕様」 [p.223](#)
- 「外形寸法図」 [p.225](#)
- 「IEC60950-1 A2対応 安全規格対応シンボルマーク」 [p.226](#)
- 「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 [p.228](#)
- 「用語解説」 [p.230](#)
- 「一般のご注意」 [p.232](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2018年4月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

#### ▶ 関連項目

- ・「スクリーン」 [p.216](#)
- ・「ケーブル」 [p.216](#)
- ・「設置用金具」 [p.216](#)
- ・「無線LAN用オプション」 [p.216](#)
- ・「外付けオプション」 [p.217](#)
- ・「消耗品」 [p.217](#)

## スクリーン

**60型スクリーン ELPSC27**

**80型スクリーン ELPSC28**

**100型スクリーン ELPSC29**

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比4:3）

**70型スクリーン ELPSC23**

**80型スクリーン ELPSC24**

**90型スクリーン ELPSC25**

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比16:10）

**64型スクリーン ELPSC31**

携帯型マグネットスクリーンです。（アスペクト比4:3）

**50型スクリーン ELPSC32**

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。（アスペクト比4:3）

## ケーブル

コンピューターケーブル ELPKC02（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m）

コンピューターケーブル ELPKC09（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用3m）

コンピューターケーブル ELPKC10（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用20m）

Computer端子に接続するときに使います。

## 設置用金具

天吊金具 ELPMB22

薄型天吊金具 ELPMB30

天井に取り付けるときに使います。

パイプ450（450mm）ELPFP13

パイプ700（700mm）ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

## 無線LAN用オプション

無線LANユニット ELPAP10（EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U）

無線LAN接続で投写するときに使います。（使用周波数帯：2.4GHz帯）

---

## 外付けオプション

### 書画カメラ **ELPDC21/ELPDC07**

書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。

### スピーカー **ELPSP02**

電源内蔵の外付けスピーカーです。

### HDBaseTトランスミッター

#### **ELPHD01 (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)**

HDMI信号や制御用信号を、LANケーブル1本で長距離伝送するためのトランスミッターです。(HDCP2.2には対応していません。)

---

## 消耗品

### エアフィルター **ELPAF56**

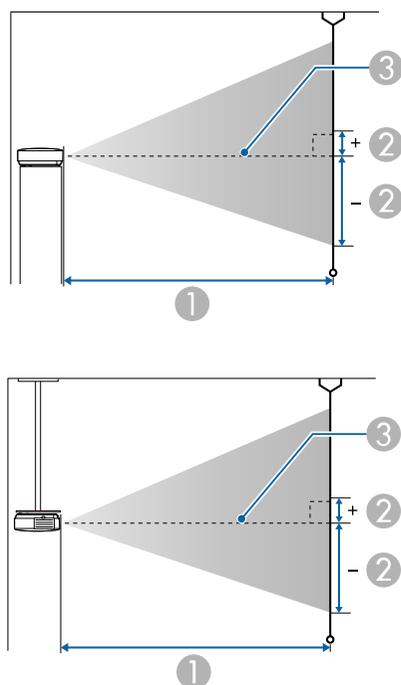
使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。

## ▶ 関連項目

- ・ 「EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W」 p.218
- ・ 「EB-L400U」 p.219

## EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端までの高さ (上下レンズシフトの設定により変わります) (cm)

## ③ レンズ中心

### WUXGA (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U) /WXGA (EB-L610W)

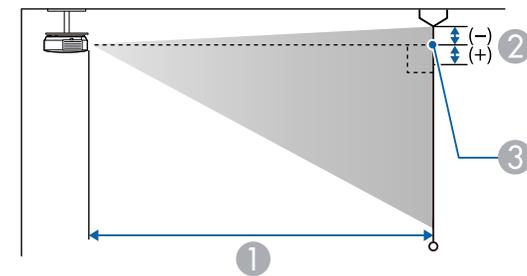
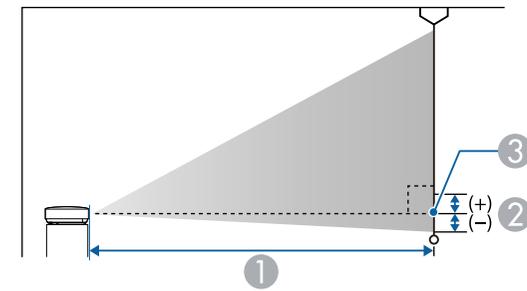
16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	上下レンズシフト 最下~最上
50型	108 × 67	144 - 235	-67 - 0
60型	129 × 81	174 - 283	-81 - 0
70型	151 × 94	204 - 331	-94 - 0
80型	172 × 108	233 - 378	-108 - 0
100型	215 × 135	292 - 474	-135 - 0
120型	258 × 162	351 - 569	-162 - 0
150型	323 × 202	440 - 713	-202 - 0
200型	431 × 269	588 - 951	-269 - 0
300型	646 × 404	884 - 1429	-404 - 0
500型	1077 × 673	1476 - 2384	-673 - 0

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	上下レンズシフト 最下~最上
45型	91 × 69	147 - 240	-69 - 0
50型	102 × 76	164 - 267	-76 - 0
60型	122 × 91	197 - 321	-91 - 0
80型	163 × 122	264 - 429	-122 - 0
100型	203 × 152	331 - 537	-152 - 0
110型	224 × 168	365 - 591	-168 - 0

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	上下レンズシフト 最下~最上
120型	244 × 183	398 - 645	-183 - 0
150型	305 × 229	499 - 807	-229 - 0
200型	406 × 305	666 - 1077	-305 - 0
300型	610 × 457	1001 - 1618	-457 - 0
440型	894 × 671	1470 - 2375	-671 - 0

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	上下レンズシフト 最下~最上
49型	109 × 61	145 - 237	-64 - 3
50型	111 × 62	148 - 242	-66 - 3
60型	133 × 75	179 - 291	-79 - 4
80型	177 × 100	240 - 389	-105 - 6
100型	221 × 125	301 - 487	-131 - 7
110型	244 × 137	331 - 536	-145 - 8
120型	266 × 149	361 - 585	-158 - 8
150型	332 × 187	453 - 733	-197 - 10
200型	443 × 249	605 - 978	-263 - 14
300型	664 × 374	909 - 1469	-394 - 21
480型	1063 × 598	1456 - 2352	-631 - 33

## EB-L400U



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端 (天吊りの場合はスクリーン上端) までの高さ (cm)
- ③ レンズ中心

## WUXGA (EB-L400U)

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
50型	108 × 67	144 - 235	-2
60型	129 × 81	174 - 283	-3
70型	151 × 94	204 - 331	-3
80型	172 × 108	233 - 378	-4
100型	215 × 135	292 - 474	-5
120型	258 × 162	351 - 569	-6
150型	323 × 202	440 - 713	-7
200型	431 × 269	588 - 951	-10
300型	646 × 404	884 - 1429	-14
500型	1077 × 673	1476 - 2384	-24

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
45型	91 × 69	147 - 240	-2
50型	102 × 76	164 - 267	-3
60型	122 × 91	197 - 321	-3
70型	142 × 107	231 - 375	-4
80型	163 × 122	264 - 429	-4
100型	203 × 152	331 - 537	-5
120型	244 × 183	398 - 645	-7
150型	305 × 229	499 - 807	-8

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
200型	406 × 305	666 - 1077	-11
300型	610 × 457	1001 - 1618	-16
440型	894 × 671	1470 - 2375	-24

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
49型	109 × 61	145 - 237	1
50型	111 × 62	148 - 242	1
60型	133 × 75	179 - 291	1
70型	155 × 87	209 - 340	1
80型	177 × 100	240 - 389	2
100型	221 × 125	301 - 487	2
120型	266 × 149	361 - 585	2
150型	332 × 187	453 - 733	3
200型	443 × 249	605 - 978	4
300型	664 × 374	909 - 1469	6
480型	1063 × 598	1456 - 2352	9

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。

## コンピューター映像（アナログRGB）

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60/72/75/85	640 × 480
SVGA	60/72/75/85	800 × 600
XGA	60/70/75/85	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 768
	60	1366 × 768
	60/75/85	1280 × 800
WXGA+	60/75/85	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
SXGA	70/75/85	1152 × 864
	60/75/85	1280 × 960
	60/75/85	1280 × 1024
SXGA+	60/75	1400 × 1050
WSXGA+ *	60	1680 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200
WUXGA (Reduced Blanking) **	60	1920 × 1200

\* [映像] メニューの [入力解像度] で [ワイド] を選択しているときのみ (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U)

\*\* EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L400Uのみ

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、機能が制限されることがあります。

## コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080

## HDMIおよびHDBaseT端子\*からの入力

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 × 480
SVGA	60	800 × 600
XGA	60	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 800
	60	1366 × 768
WXGA+	60	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
UXGA	60	1600 × 1200
WSXGA+	60	1680 × 1050
SXGA	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050
1920 × 1080	50/60	1920 × 1080
WUXGA (Reduced Blanking) **	60	1920 × 1200
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 × 1080

\* EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610WのオプションのHDBaseTトランスミッターを経由してHDMI接続した場合。

\*\* EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L400Uのみ

商品名	EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U
外形サイズ	幅440 × 高さ120 × 奥行き304 mm (突起部を含まず)
液晶パネルサイズ	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W/EB-L400U :</b> 0.67型
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス
解像度	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L400U :</b> 2,304,000 ピクセル WUXGA (横1,920 × 縦1,200ドット) × 3 <b>EB-L610W :</b> 1,024,000 ピクセル WXGA (横1,280 × 縦800ドット) × 3
フォーカス調整	手動
ズーム調整	1.0 - 1.6 (手動)
レンズシフト	手動
	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W :</b> 上下方向最大約±50% 左右方向最大約±20%
光源	レーザーダイオード
光源出力	最大104.5 W
波長	449 - 461nm
光源寿命 *	光源モードがノーマルまたは静音の場合 : 約20,000時間 光源モードがロングの場合 : 約30,000時間
音声最大出力	10 W
スピーカー	1個

電源	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W :</b> 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.8 - 1.7 A <b>EB-L400U :</b> 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.3 - 1.5 A
消費電力 (100-120V エリア)	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L610W :</b> 370 W <b>EB-L510U :</b> 337 W <b>EB-L400U :</b> 324 W
消費電力 (220-240V エリア)	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L610W :</b> 353 W <b>EB-L510U :</b> 322 W <b>EB-L400U :</b> 310 W
待機時消費電力	通信オン : 2.0 W 通信オフ : 0.3 W
動作高度	標高 0~3,048 m
動作温度範囲	0~+45°C (結露しないこと) (標高 0~1,500m) 0~+40°C (結露しないこと) (標高 1,501~3,048m)
保存温度範囲	-10~+60°C (結露しないこと)
質量	<b>EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W :</b> 約8.5kg <b>EB-L400U :</b> 約7.8kg

\* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。

## ▶ 関連項目

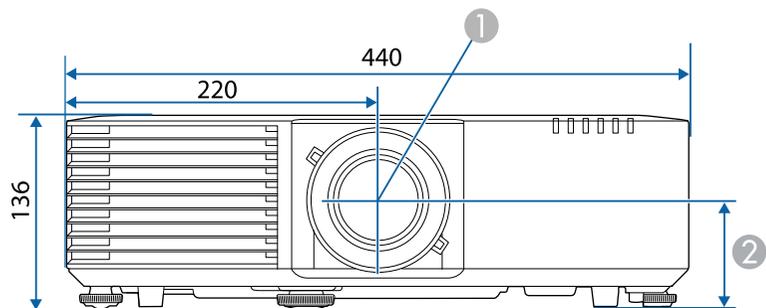
- ・「接続端子」 p.224



USB-A端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

## 接続端子

Computer1端子	1系統	ミニD-Sub 15pin (メス)
Computer2/Monitor Out端子	1系統	ミニD-Sub 15pin (メス)
Audio 1 端子	1系統	ステレオミニピンジャック
Audio 2端子	1系統	ステレオミニピンジャック
Audio Out端子	1系統	ステレオミニピンジャック
HDMI1端子	1系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
HDMI2端子	1系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
USB-A端子	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)
Service端子	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)
LAN端子	1系統	RJ-45
HDBaseT端子 (EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W)	1系統	RJ-45
RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin (オス)



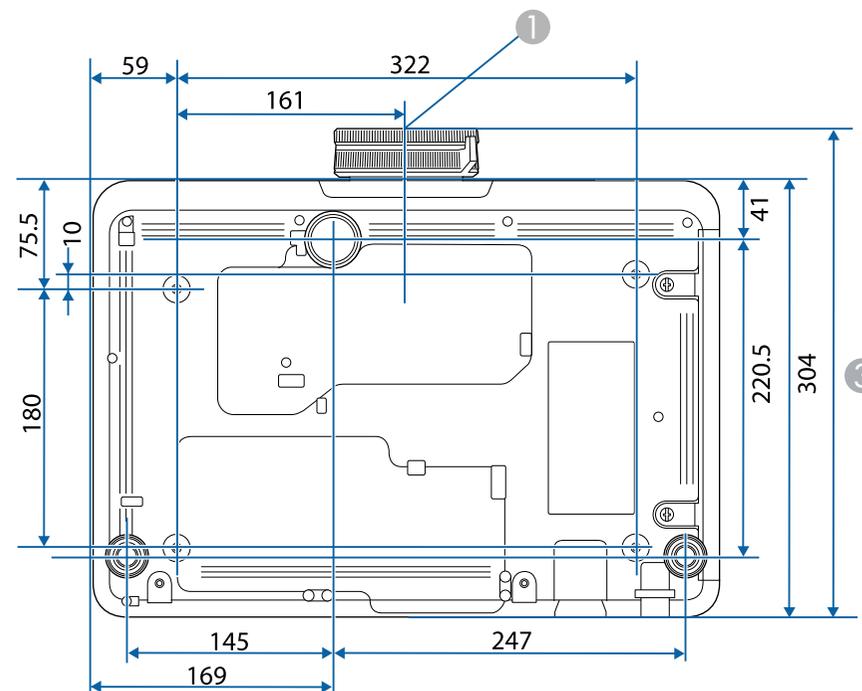
① レンズ中心

② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法

EB-L615U/EB-L610U/EB-L510U/EB-L610W : 74 mm

EB-L400U : 78.2 mm

③ 339 mm

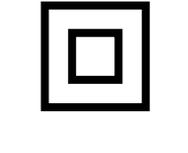
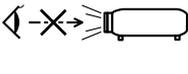


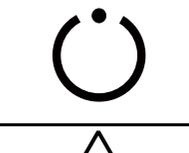
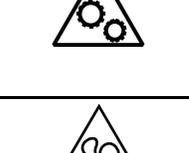
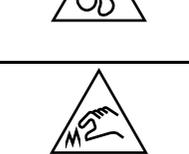
単位 : mm

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No.5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No.5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No.0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No.5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No.8と同じ
⑩		IEC60417 No.5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No.11と同じ
⑬		IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No.5017	アース No.13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No.5172	クラスII 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスII 機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗き込み禁止。

本機はJIS C 6802:2014に適合したクラス1レーザー製品です。以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

## ⚠ 警告

- ・本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- ・本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

## ⚠ 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



- ・本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。
- ・使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- ・使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。
- ・光源キャリブレーションについては以下の内容についてご注意ください。
- ・使用時間が100時間を経過する度に、電源オフと同時に自動で光源キャリブレーションが開始します。  
ただし、以下の場合には自動的に開始しません。
  - ・一定モードで本機を24時間以上連続して使用する場合
  - ・常にダイレクトシャットダウンで本機の電源を切る場合  
[拡張設定]メニューで[光源キャリブレーション]を設定してください。
- ・光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスや明るさレベルのずれが補正されます。

## ▶ 関連項目

- ・「レーザー警告ラベル」 p.228

## レーザー警告ラベル

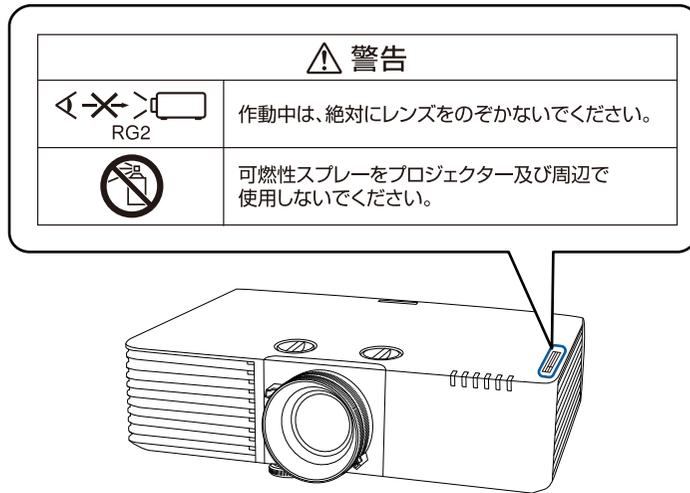
本機の内部および側面にはレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



## 上面

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。（RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠）



本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。 エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効（ON）にできる設定を用意しました。 詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL： <a href="http://www.amx.com/">http://www.amx.com/</a>
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といえます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号（Y）や青色差信号（CbまたはPb）と赤色差信号（CrまたはPr）に分離して伝送する方式です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といえます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。 医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。

ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・ 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） ・ 画面のアスペクト比は16：9
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。

プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューターなどネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に扱うために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク (サブネット) のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのことを呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのことを呼びます。

同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相 (山のずれ) を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の周波数 (山の数) を合わせることを「トラッキングを合わせる」といいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレスのことです。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのことを呼びます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのことを呼びます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのことを呼びます。
WUXGA	画面サイズの規格で、横1,920ドット×縦1,200ドットのことを呼びます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

## ▶ 関連項目

- ・「使用限定について」 [p.232](#)
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.232](#)
- ・「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.232](#)
- ・「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.232](#)
- ・「表記について」 [p.232](#)
- ・「商標について」 [p.233](#)
- ・「ご注意」 [p.233](#)
- ・「著作権について」 [p.234](#)

## 使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

## 本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- ・日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるた

め、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- ・電源コードは日本国内向けの電源仕様に基づき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地ににてお求めください。

## 瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

## JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

## 表記について

- ・ Microsoft® Windows Vista® operating system
- ・ Microsoft® Windows® 7 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 8 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 10 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- OS X 10.7.x
- OS X 10.8.x
- OS X 10.9.x
- OS X 10.10.x
- OS X 10.11.x
- macOS 10.12.x
- macOS 10.13.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」、「OS X 10.10.x」、「OS X 10.11.x」、「macOS 10.12.x」、「macOS 10.13.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac」と表記します。

## 商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright ©2011, Foxit Software Company  
www.foxitsoftware.com, All rights reserved.

Crestron®およびCrestron Connected®は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Miracast™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

Extron®およびXTP®は、Extron Electronicsの登録商標です。

HDBaseT®およびHDBaseT Allianceロゴは、HDBaseT Allianceの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因

して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

---

## 著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2018. All rights reserved.

2018.4 413602900JA